# 北大時報

令和3年

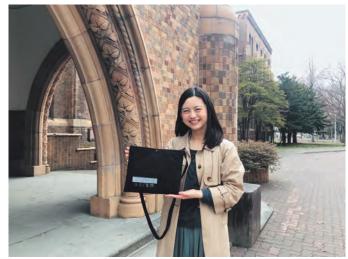
11

No. 812 November 2021

## 秋の叙勲に本学から5氏 BioJapan2021地域バイオコミュニティ認定授与式にて内閣府より 本学に認定証トロフィーが授与









## 目 次

## 11



第6回 定例記者会見を開催



高大連携による「Hokkaido Study Abroad Program! を開催

#### ■ 全学ニュース

- 1 秋の叙勲に本学から5氏
- 8 第6回 定例記者会見を開催
- 9 「国民との科学・技術対話」支援事業 アカデミックファンタジスタ 札幌開成中等教育学校に向けて5名の研究者が講義を実施
- 11 北大フロンティア基金
- 13 アジア航測株式会社に紺綬褒章が授与
- 13 谷澤敏允氏と谷澤和子氏に紺綬褒章が授与
- 14 衛生管理者連絡会を開催
- 15 寳金清博総長が新渡戸カレッジで特別講演
- 16 令和3年度オープンキャンパスをオンラインにて開催
- 17 令和3年度北海道大学進学相談会をオンラインにて開催
- 17 高大連携による「Hokkaido Study Abroad Program」を開催
- 18 2021年度夏季国際インターンシップ全学成果報告会を開催
- 19 BioJapan2021地域バイオコミュニティ認定授与式にて内 閣府より本学に認定証トロフィーが授与
- 20 ウェビナー「日本研究オープンハウス」を開催
- 21 ICReDD新棟 利用者への設計概要説明会をオンラインにて開催
- 22 異分野meetup 2021を開催

## ■部局ニュース

- 23 文学研究院FD「アイヌ民族に関する理解と差別・ハラスメントの予防 のために~マイノリティー・抑圧・差別を見える化する~」を開催
- 24 教育学院・教育学部でESDキャンパスアジア・パシフィックプログラム2021 I及びⅡを開催
- 25 理学研究院が上富良野町と「相互協力協定」を締結
- 26 北海道大学物質科学フロンティアを開拓するAmbitious リーダー育成プログラム8期生採用式を開催
- 27 医学研究院・化学反応創成研究拠点(WPI-ICReDD)合 同シンポジウムを開催
- 28 保健科学研究院公開講座「ようこそ! ヘルスサイエンスの世界へ」を開催
- 29 令和3年度水産学部公開講座「海をまるごとサイエンス!」が終了
- 30 国際広報メディア・観光学院が教育・研究交流を目的に 「TLLPスタディセッション」を開催
- 30 メディア・コミュニケーション研究院で公開講座「教育者・富所広吉の事蹟を追う」を開催
- 31 防火・防災訓練を実施

- 32 獣医学研究院及び人獣共通感染症国際共同研究所で動物 慰霊式を挙行
- 32 動物慰霊式を挙行
- 33 総合博物館による動画制作と公開(1)
- 34 総合博物館による動画制作と公開(2)
- 35 学生によるミュージアムグッズの企画開発 トートバッグ, サコッシュ 2 点, 豆皿—
- 36 スラブ・ユーラシア研究センターで2021年度公開講座 「メロドラマするロシア:アジアとの比較から考える大 衆文化の想像力」を開催
- 37 低温科学研究所が「サイエンスレクチャー2021 宇宙にも氷があるって知ってた?~暗黒星雲に浮かぶ氷微粒子とその役割~」を開催
- 38 低温科学研究所が山口大学中高温微生物研究センターと 連携協定を締結
- 38 人獣共通感染症国際共同研究所が山口大学中高温微生物 研究センターと連携協定を締結
- 39 第19回 脳科学研究教育センターシンポジウム「記憶・ 睡眠研究の最前線」を開催

#### ■諸会議の開催状況 40

#### **学内規定** 41

#### 研修

42 高等教育研修センターにて研修会を開催

#### ■ 表敬訪問 43

#### ▲ 人事 44

45 新任教授紹介

### ▮訃報

46 特任准教授 久保 直樹 氏

#### 資料

- 47 在籍学生数(令和3年10月1日現在)
- 49 広報誌等一覧(令和3年10月調査)



BioJapan2021地域バイオコミュニティ 認定授与式にて内閣府より本学に認定証



文学研究院FD「アイヌ民族に関する理解と差別・ハラスメントの予防のために~マイノリティー・抑圧・差別を見える化する~」を開催



理学研究院が上富良野町と「相互協力協定」



低温科学研究所が「サイエンスレクチャー2021 宇宙にも氷があるって知ってた?~暗黒星雲に 浮かぶ氷微粒子とその役割~」を開催

表紙: 学生によるミュージアムグッズの企画開発 -サコッシュ2点, トートバッグ, 豆皿- (関連記事35頁に記載)

裏表紙:キャンパス風景図 イチョウ並木(北区北13条西5~7丁目)

## ■全学ニュース

## 秋の叙勲に本学から5氏

この庶	大学関係老の次の5氏が	令和3年秋の叙勲を受けることについて.	11日 3 日 (水) に発表となりました
<b>└</b> <i>∨ / / / ?</i> .	平子   第11   11   11   11   11   11   11	つれる 生外の救恕を マけることに フいし	11月3日(水)に無衣となりました。

	Ŋ.	章		経 歴	氏 名
瑞	宦 中	綬	章	北海道大学名誉教授	前 野 紀 一
瑞	宦 中	綬	章	北海道大学名誉教授	青 木 由 直
瑞	宦 中	綬	章	北海道大学名誉教授	藤田睦博
瑞	宦 中	綬	章	北海道大学名誉教授	長谷川 英 機
瑞	定 単	光	章	元 北海道大学病院看護部看護師長	蓮 池 清 美

各氏の長年にわたる教育・研究等への功績と我が国の学術振興の発展に寄与された功績に対し、授与されたものです。 各氏の受章にあたっての感想、功績等を紹介します。

(総務企画部広報課)



## 紀一 氏

感 想

この度、瑞宝中綬章授与の栄に 浴することになり誠に光栄に存じ ます。これもひとえにご指導頂い た諸先輩,同僚,後輩,そしてお

付き合い頂いた多くの皆様のご支援、ご協力の賜物であり 感謝の念に堪えません。

私は、これまでほぼ一貫して雪と氷の研究と教育に従事 してきましたが、そのきっかけは低温科学研究所にありま す。北大理学部地球物理学科で卒業研究テーマが雲と決ま りいろいろな研究論文を読みました。ところが、雲内部の 物理現象の主役である筈の雪と氷に関しては情報がまだま だ乏しいことを知り、驚くと同時に将来この分野の研究を したいと考えるようになりました。そのようなとき、低温 科学研究所が大学院生をとることになったことを知り、早 速アメリカから帰国したばかりの黒岩大助先生を訪ね、昭 和38年(1963年) 4月から低温研で研究生活を始めること になりました。

初めての大学院生のためか、当時の低温研には、例えば 学生は複写室入室禁止、というような今では考えられない 規則や不便もありましたが、研究環境は素晴らしくここで の経験はその後の研究・教育の原点となっています。調 査・研究に対する周囲の人達の意欲的な姿勢や、学界をよ り活発にしようとする創造的で自由な雰囲気に刺激を受け たのは勿論ですが、地球物理の分野だけでなく、化学、植 物、動物等の他分野の研究者たちとも毎日議論や雑談がで きたことは、私にとって貴重な経験であり以後の研究の重 要な糧となりました。

私の初期の研究テーマは氷の基礎物性で、氷の電気や力 学物性が2種類の格子欠陥(配向欠陥とイオン欠陥)で支 配されることなどを調べていました。そして、上記の多分 野の人たちとの交流の中で、氷の基礎物性が、日常生活で 見慣れた雪と氷の自然現象に重要な働きをしていることを 知り、降雪や雪崩や吹雪の観測、実験、理論研究を進める ことになりました。雪の流動化実験、雪氷混相流、宇宙雪 氷学の概念もこのような研究環境だからこそ生まれたもの です。

海外の幾つかの研究機関における研究や交流も貴重な経 験でした。このお陰で研究分野が格段に広がりました。氷 表面に存在する疑似液体層、氷の摩擦メカニズム、雪圧密 の粒子充填と焼結,鳴き雪,木星や土星等の氷衛星, 等々. すべてその時々の研究環境と無縁ではありません。

私は石狩市に住んでいますが、大学を退職してからは近 所に住む北大名誉教授6名とサイエンスアイというグルー プをつくり、市民や子ども達と「科学」を楽しんでいます。 単なる科学啓蒙ではなく自分達の勉強のためでもありま す。ただ、雪と氷の研究は止めることができず、現在でも 続けており、最近はカーリング・ストーンがなぜ曲がるか を説明するエッジ切削モデルの理論を組み立てております。

終わりに、お世話になった数多くの皆様に改めて御礼申 し上げますとともに、充実した学究生活を送らせていただ いた北海道大学の一層の発展をお祈りいたします。

#### 功績等

前野紀一氏は、昭和15年9月1日に北海道に生まれ、昭 和38年3月北海道大学理学部卒業,昭和40年3月同大学大 学院理学研究科地球物理学専攻修士課程修了,同年4月北 海道大学低温科学研究所助手, 昭和49年4月助教授, 昭和 59年4月教授となり、雪氷学の研究・指導に尽力されまし た。この間, 北海道大学大学院理学研究科地球物理学専攻 及び北海道大学大学院地球環境科学研究科地圏環境科学専 攻を担当、大学院生の教育と指導に尽力され、平成16年3 月定年により退職、同年4月北海道大学名誉教授となられ ました。

同氏は、氷の誘電的性質を氷結晶格子に塩素が置換型で 入る際形成される格子欠陥の配向欠陥とイオン欠陥の動き から明らかにされました。誘電測定は、南極や北極の氷に も拡張され、雪の圧密過程に新しい段階、すなわち加圧焼 結の極限状態の存在を見出し、結果を宇宙の木星や土星の 氷衛星の構造と進化に適用されております。氷の力学的性 質と氷表面の擬似液体層、付着、焼結、摩擦等に関しても 研究を進め、氷の低速度摩擦に関して、それまでの古典的 凝着理論を修正し、圧力下での焼結の効果を組み入れた新 しいモデルを組み立てられました。

同氏の氷物性研究は、雪の構造及び種々の雪氷現象の物 理メカニズムにも適用され、吹雪や雪崩に関して「雪氷混 相流」の新概念を提唱されました。雪の流動化実験及び理 論考察を進め、黒部峡谷の巨大雪崩「ほう」の詳細な観測 も実施し、黒部峡谷における人工雪崩実験を日本放送協会 と協力して行われました。人工雪崩の研究は海外にも拡張 され、ノルウエー・リグフォンにおける人工雪崩実験を実 施し、 雪崩の運動機構の解明に貢献されました。

同氏は氷物性研究を宇宙の氷に拡張し、新しい概念「宇 宙雪氷学」を組み立てられました。宇宙雪氷学では、雪と 氷は六方晶系の氷 Ⅰ。のみでなく、氷 Ⅱ、氷 Ⅲ、等の多種 類の氷も含むことになり、更に、宇宙に広く存在する種々 の揮発性物質の固相も包含することとなりました。

学外活動においては、日本雪氷学会、日本気象学会、日 本自然災害科学会, 混相流学会, 日本物理学会, 等で, 理 事,支部長として活躍され,特に国際雪氷学会(英国ケン ブリッジ) では日本人初の会長に就任し雪氷学の進展に貢 献されました。

以上のように、同氏は永年にわたり北海道大学及び国内 外の研究機関において教育者、研究者として多くの業績を 挙げ、学術研究の発展、後進の啓発及び斯界の発展に尽く した功績は極めて顕著であります。

#### 略歴

生年月日昭和15年9月1日

昭和40年4月 北海道大学低温科学研究所助手

49年4月 北海道大学低温科学研究所助教授

北海道大学低温科学研究所教授 59年4月

平成16年3月 定年退職

16年4月 北海道大学名誉教授



#### 青木 由直氏

#### 感 想

叙勲にあたり思うこと

工学の研究と教育に携わって来 て、世の中にどんな技術が出現し て、かつその黎明期の段階で関わ

りが持てるかどうかが、研究者や教育者のその後を決定づ ける、と経験から強く感じています。研究者として出発し た1960年代中頃急速に発展し出した光ホログラフィー技術 を電波や音波領域に取り込もうとして、奮闘の末幾編かの 論文を学術誌にも発表できるようになりました。その後大 学で教職に就き、博士課程の学生のテーマにも採用し、か なりの学生がこのテーマで博士号を取得しました。

1970年前後のカナダでの留学から戻り70年代の中頃にマ イクロコンピュータ (マイコン) 技術の出現と向かい合う ことができました。手作りコンピュータを前述のホログラ フィー技術に利用できると考え、コンピュータの専門家で ないにも関わらず1からコンピュータを組み立てる勉強を 始めました。同じくマイコン技術取得を目的とした学生や 学外の技術者経達と「北海道マイクロコンピュータ研究 会」を立ち上げました。これが後に米国シリコンバレーの 名前を拝借した情報産業集積地「サッポロバレー」の源流 になりました。

研究会に出入りしていた北大の学生達の起業の成功譚が 世間に広まりました。それを参考に札幌市はテクノパーク を造成し、情報産業を産業政策の柱にするようになりま す。このような世の中の流れの中で、マイコン技術の伝道 師の役目を果たすことができました。

海外、特に中国に行動範囲を広げ、中国科学院での手作 りマイコンの指導、瀋陽機電学院(現瀋陽工業大学)での 中日計算機学院の創設と、現在の中国の躍進ぶりを想像で きない時代に中国を相手にマイコン伝道師を続けた時期も ありました。それはその後「eシルクロード」の名称で札 幌市の産業政策にも生かされました。

マイコン技術と出合ってからほぼ半世紀が経って振り返 ると、地方に興った情報産業の歴史を創る側に身を置くこ とが出来たと思っています。歴史のページは固定され残る ことになり、そのページを共同執筆した多くの方々がおら れます。これらの方々、そのうちの幾人かは既に鬼籍に入 られていますが、と仕事をした思い出は自分の個人史にも しっかりと刻まれています。

技術はどんどん新しい領域を拡大しています。この新し い領域に挑戦する若い人たちを見ていると、かつての自分 を見る思いです。時代を創る側から眺める側に立つように なったのだと実感します。自分への叙勲はその思いを強め ます。

人生の仕上げはこれまでかかわった仕事や人々を少しで も記録に残そうと「語り部」の役に徹しようかと思ってい ます。「爪句」なる造語のタイトルの豆本を出版してきて

叙勲とほぼ同じくして50巻の完成が日の目を見るところま で来ています。人生の締めくくりに適しているこの仕事を 後しばらく続けていこうと思っています。

#### 功績等

青木由直氏は、昭和41年3月北海道大学大学院工学研究 科修士課程を修了,同年4月北海道大学工学部講師として 採用され、同42年4月に助教授に昇任された後、同54年4 月北海道大学工学部教授に昇任され、平成9年4月北海道 大学大学院工学研究科教授に配置換となった。平成17年3 月31日限り定年により退職されるまで、情報メディア工 学, 画像・信号処理工学, 衛星通信工学, 電波応用工学な どの分野の発展につくされ、平成17年4月1日に北海道大 学名誉教授の称号を授与された。

研究面では不可視波動による長波長ホログラフィ法の草 分け的研究者として世界的に著名であり、コンピュータ処 理によるデジタル像再生法に関しては世界初の研究成果を 発表され、特に、1970年代にこの分野にマイクロコンピュ ータを応用する着想と実績は先進的なものであった。

情報メディア学分野において、コンピュータグラフィッ クス, 画像処理などの研究に早期から取り組み, 研究成果 を地域産業の活性化することを目的として北海道コンピュ ータグラフィックス協会の設立に尽力した。また、波動信 号処理, 化身話(けしんわ)通信という新しい概念を打ち 出すとともに、特色ある研究成果を上げた。通信衛星の利 用研究にも早くから取り組み、北大で最初の通信衛星実験 地球局を開局し、この方面のインフラを整備するととも に、道内外の大学と通信衛星による共同研究を推進した。

これらの研究過程において、1970年代からマイクロコン ピュータ技術を導入し、その成果は札幌における情報処理 産業の源流企業を育てるきっかけとなっており、「サッポ ロバレーの生みの親」と称されるほどにその影響が大きい ものがある。文部科学省の知的クラスター創成事業として 札幌地区が選ばれたのも、このサッポロバレーの実績が高 く評価されたものであった。

国際交流においても中国・瀋陽市での教育・研究支援活 動を精力的に行い, アジアの情報産業先進都市を結ぶ交易 路開拓の「e-シルクロード構想」を提唱し、札幌市や札幌 情報産業の国際戦略として大きく発展することに貢献した。

学会活動等では電子通信学会米澤記念学術奨励賞などを 受賞するとともに、電子情報通信学会の北海道支部長など を歴任した実績により、電子情報通信学会ならびに情報処 理学会からはフェローの称号を与えられ、北海道総合通信 局長表彰, 北海道新聞文化賞, 北海道文化賞, 北海道科学 技術賞、経済産業大臣表彰、北海道功労賞を受賞し、その 功績は誠に顕著である。

#### 略歴

生 年 月 日 昭和16年9月2日

昭和41年4月 北海道大学工学部講師 42年4月 北海道大学工学部助教授 54年4月 北海道大学工学部教授

平成8年4月7北海道大学工学部情報工学科長 9年3月

9年4月 北海道大学大学院工学研究科教授

16年4月 北海道大学大学院情報科学研究科教授

17年3月 同上退職

17年4月 北海道大学名誉教授(称号付与)

27年4月 令和3年3月 北海道科学大学 客員教授

(情報科学研究院)



#### 藤田 睦博 氏

この度は図らずも叙勲の栄誉を 賜り、身に余る光栄と感激いたし ております。これも良き師、良き 先輩, 良き同僚, 良き学生に恵ま

れ、そして北海道大学というすばらしい環境に恵まれた結 果だと思います。関係の皆様のご尽力の賜物と深く感謝致 します。

思えば、昭和36年(1961年)に北海道大学に入学しまし た。今でも入学時の学生番号を覚えております。1番違う と通し番号になったのにと残念に思っておりました。昭和 42年(1967年)に北海道大学大学院工学研究科土木工学専 攻を修了後、同大学工学部の講師に採用されました。それ から退官までの40年間を北海道大学で過ごすことになりま した。入学時には思いもしなかった人生を送ることになり ました。40年間大学で教育と研究の日々でしたが、今でも 強烈に記憶に残っていることを述べたいと思います。

大学では工学部土木工学科防災工学講座に所属し、主と して水災害の解析、防災、減災等の研究に従事しました。 最も記憶に残っている災害は昭和56年の水害です。8月の 1ヶ月間に石狩川流域のほぼ全域で700mm以上の降雨が ありました。札幌の年降水量は1200mmなのでこの1ケ月 に年間降水量の6割が降ったことになります。今では1時 間降雨量が100mmと言っても珍しくないですが、当時は 大豪雨だったのです。この降雨により石狩川流域で8月上 旬 (3~8日) と下旬 (22~24日) に大洪水が発生したの です。被害総額は石狩川流域全体で当時の価格で1,000億 円にも達しました。災害調査に参加しましたが、各地で冠 水し自由に移動できませんでした。石狩川右岸の美原地区 に行った時のことです。田畑は全て冠水し、一面の湖。そ の中に送電線の鉄塔が見えるだけでした。石狩川の堤防の 上には付近の住民が車、トラクター等の農機具、更には牛 やヤギなどの家畜類を運び込み、ひどい混雑状況でした。 その中で牛の鳴き声を聞きながら調査をしたことを覚えて おります。この洪水を契機に石狩川流域の洪水対策が強化

されることになり、その対策会議が連日のように開催さ れ、講義の合間に参加しました。その後の研究に大いに役 立つことになりました。

永いようであっという間に過ぎたこの40年、さまざまな 事がありました。失敗したことも度々ありました。しか し、なんとか大過なく勤めることができたのも関係者一同 のご支援の賜物と思います。改めて御礼申し上げます。ま た、北海道大学の発展をご祈念申し上げ、御礼の言葉と致 します。

#### 功績等

藤田睦博氏は、昭和42年3月に北海道大学大学院工学研 究科土木工学専攻修士課程を修了し、同年4月に北海道大 学工学部土木工学科講師に採用され、昭和43年4月に同助 教授に、昭和60年4月には同教授に昇任され、土木工学科 防災工学講座を担当されました。平成9年4月には北海道 大学大学院工学研究科教授に配置換になっています。平成 17年3月31日限り定年により退官されるまで、水文学、水 工学の研究分野の発展に尽力されました。

教育面では、昭和42年以降の本学在任中、学部において は水理学Ⅰ, 水理学演習, 応用数学Ⅱ, 応用数学演習Ⅱ, 水文・水資源工学など、また大学院においては水文解析学 特論, 水圈工学特別演習, 水圈工学特別研究, Hydrology and Hydraulics (英語特別コース) などの講義, 演習, 実 験を担当されるとともに、学部学生、ならびに大学院学生 の研究指導にあたられ、多くの技術者や研究者の育成に貢 献されました。

研究面では、流出予測に関する研究、及び流出解析に関 する研究に取り組まれ, 主に水文学, 水工学の研究分野に おいて顕著な業績を挙げられており、これらの分野の多大 なる発展に貢献をされました。特に, 人間の経験を数値的 に推論の過程に取り入れたファジー推論の枠組みを初めて 降雨流出システムに適用し、流出予測の問題に取り組まれ た研究は、今日までに至る洪水予測を中心とした水工学研 究の展開に寄与をされ、その成果は高く評価されています。

また. 流出解析に関する研究では. 降雨流出の時空間変 動を表現する非線形分布定数系モデルの集中化の問題にも 取り組まれました。周波数伝達関数の概念を拡張させてこ の非線形分布定数系モデルに導入し、そこで導出された等 価周波数伝達関数に基づきハイドログラフ(流量~時間関 係)の形成過程を明らかにされました。降雨流出の空間変 動の特性が集約化された結果として河川流量になる過程 (降雨流出過程の集中化の問題) を解明したこの研究の成 果は、流出解析に関する研究分野の発展とともに、洪水予 測システムの開発研究にも繋がるものであり、流出予測の 研究分野に対しても多大なる貢献をされました。昭和46年 には、この周波数伝達関数の概念に基づく研究が学術及び 技術の進歩発展に寄与するとして、土木学会北海道支部か ら「土木学会北海道支部奨励賞」が授与されています。

以上, 学生の教育, 学術研究の発展, 本学の運営, 並び に水文学、水工学の分野の発展に対する貢献は、極めて大 なるものがあります。

#### 略歴

生年月日昭和16年5月7日

昭和42年4月 北海道大学工学部講師

43年4月 北海道大学工学部助教授

60年4月 北海道大学工学部教授

62年6月 アメリカ合衆国コーネル大学工学部土木工学科客員教授

平成14年4月-

一北海道大学工学部土木工学科長 15年3月-

17年3月 定年退職

17年4月 北海道大学名誉教授

(工学院・工学研究院・工学部)



## 長谷川

#### 感 想

この度は、令和3年度秋の叙勲 の栄誉を賜り、身に余る光栄に存 じます。

この栄誉ある機会に、私の研究・

教育の流れを振り返り、感想を述べさせていただきます。

私は東京大学の大学院で、半導体物性やデバイス (素 子) に関する研究を行い、博士号取得後、憧れていた北海 道大学の工学部講師として着任し、半導体物性・デバイス に関する教育・研究を担当しました。材料としては、基礎 が工業的規模で既に確立している「半導体の巨人」シリコ ンは避け、当時好奇心をそそる高速電子材料だったガリウ ム砒素等の「化合物半導体」を取り上げ、そのナノ界面構 造の電子物性の解明と制御を目指しました。そこに「知的 な冒険の連鎖」を期待していたのです。

しかし、クリーンルームや半導体測定設備が皆無だった 当時の北大では、実験研究の実績を積み重ねるのは、困難 でした。プラスチック板やペンキ、ダスト・フィルタ等を 用い、学生と一緒に、「クリーンルームもどき」を作った のが、出発点でした。

次の進展は、私が実験研究の場を求め、英国に2年間留 学した折に起きました。大変な苦労の末、ガリウム砒素を 安定かつ均一に電気化学的に酸化し、MOS界面構造を形 成する新しい方法を発見したのです。この研究は、世界的 に注目され、ドイツ連邦からは、マックス・プランク賞を 与えられ、また、日本では科学研究費補助金「特別推進研 究」の対象に選定されました。

私はこれらの研究を通じて、化合物半導体界面が示す異 常な「フェルミ準位ピンニング現象」の基礎的理解や制御 法を確立できました。一方、当初人気のなかった講座にも 優秀な学生、留学生、ポスドク研究員が多く来るようにな

り、人的な充実も起きてきました。

そこで、北海道大学に、第一線の研究設備を持ち、化合 物半導体ナノ構造形成、表面・界面制御、デバイス応用の 研究を強力に推進する「量子界面(後に量子集積)エレク トロニクス研究センター」を設立することを提案しまし た。幸いにも関係各位の替同が得られ、平成3年センター が実現しました。私は14年間そのセンター長を務め、セン ターの円滑な運営をはかるとともに、自分自身のテーマの 新しい発展を目指しました。「単電子デバイスの量子集積 化」や「窒化物半導体の界面制御」などです。

多くの学生に修士・博士の学位を与えましたが、その多 くが、後に他研究機関や実業界の最先端で活躍しているの を知るのは、大変うれしいことでした。また論文発表のた め多くの海外出張をし、欧米の優秀な研究者多くと親しく 有益な討論が出来ましたが、それと同時に彼らの基礎研究 に対する信念の強さには深い感銘を受けました。

多くの学術論文を書き、科学研究費の「特別推進研究」 や「重点領域研究 | など学者仲間では栄誉とされる研究の 代表者や, 重要な関連国際会議の議長を多数務めるなど, 自分としては最後まで思う存分に, 知的冒険に挑み続ける ことができたと満足しております。

お世話になったセンターの先生方や職員、関連学科の先 生方に感謝しつつ、センター及び北海道大学の更なる発展 を祈念する次第です。

#### 功績等

長谷川英機氏は、昭和45年3月東京大学大学院工学系研 究科博士課程を修了. 同年4月北海道大学工学部講師とし て採用され、同46年4月助教授に昇任の後、同55年4月教 授に昇任され、北海道大学大学院工学研究科教授に配置換 になった。この間、北海道大学量子界面エレクトロニクス 研究センター長及び、北海道大学量子集積エレクトロニク ス研究センター長を併任された。

平成17年3月31日定年により退職されるまで、電気電子 工学, 半導体物性工学, 半導体デバイス学の分野の発展, 関連分野の後進の指導に尽くされ、平成17年4月1日に北 海道大学名誉教授の称号を授与された。

研究面では、化合物半導体の界面物性の解明と制御およ びそのデバイス応用に関する研究, 特に界面の物性と制御 に関し、独自のモデルやアプローチにより研究を展開し、 国内外において先導的な役割を果たされてきた。その代表 の例が文部省科学研究費補助金特別推進研究「化合物半導 体 - 絶縁体界面の物性と応用に関する研究」を通じた研究 であり、化合物半導体の界面物性制御とデバイス応用に関 する研究を強力に推進した。1990年には、化合物半導体の 表面パッシベーションに関する功績により、ドイツ連邦共 和国よりマックスプランク研究賞を、1982年には応用物理 学会より学会賞(会誌賞)を受賞され、2000年には電子情 報通信学会からフェロー称号、2007年には応用物理学会か らフェロー称号が授与されている。

教育面では、工学部電気工学科において新設間もない電

気物性工学講座において学生の教育と講座の運営に尽力 し、講座・分野の出身者は、現在、半導体エレクトロニク ス分野を中心に、最先端の研究開発をリードする人材とし て多数活躍している。さらに、先駆的研究活動と重要な研 究成果を母胎として, 「北海道大学量子界面エレクトロニ クス研究センター | の設立 (平成3年) に大きく貢献し、 以来センター長として、化合物半導体界面制御技術を量子 デバイスに応用する研究を積極的に展開されてきた。ま た、同センターの改組・拡充に尽力し、平成13年4月「北 海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター」を設立 し、引き続き、同センター長として、量子力学的動作原理 に基づく次世代電子デバイスとその集積回路を創造する研 究の進展に大きく貢献された。

学会活動等の面では, 文部省学術審議会理工系分科会 (科学研究費分科会) 専門委員などを歴任し、数多くの国 際会議においても国際諮問委員などを務め「インジウムリ ンと関連材料に関する国際会議」から、2003年にマイケル・ ラン功績賞が授与されるなど、その功績は誠に顕著である。

#### 略歴

生年月日昭和16年6月22日

昭和45年4月 北海道大学工学部講師

46年4月 北海道大学工学部助教授

55年4月 北海道大学工学部教授

平成3年4月 - 北海道大学量子界面エレクトロニクス研究センター長 13年 3 月 5

13年4月 17年3月 北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター長

9年4月 北海道大学大学院工学研究科教授

16年4月 北海道大学大学院情報科学研究科教授

17年3月 同上退職

17年4月 北海道大学名誉教授(称号付与)

17年4月 17年4月 17年4月 17年4月 17年4月 17年4月 17年1 18年3月-

(情報科学研究院)



## 蓮池 清美 氏

#### 感想

この度, 図らずも秋の叙勲を賜 り、身に余る栄誉と深く感謝申し 上げます。これもひとえに関係す る皆様のご尽力の賜物と心より厚

くお礼申し上げます。

私は、昭和57年に天使女子短期大学専攻科衛生看護学専 攻を修了し助産師免許と保健師免許を取得した後、北海道 大学医学部附属病院に入職し、38年間勤務させていただき ました。

産科病棟では、助産師として100例の分娩介助、妊産婦 の妊娠中毒症や多胎分娩、極小未熟児等の看護に携わりま した。昼夜なく母児双方の生命を守る責任の重さと生命の 尊さを実感する毎日でした。看護実践能力を高めたいと異 動した第二外科病棟では心臓・血管・肺・消化器疾患を持 つ小児から高齢までの患者さんが生死を賭けた難しい手術 を受けており、循環動態の観察や人工呼吸管理等、術後の 全身管理を学ばせていただきました。さらにQOL向上を 意識した看護展開に感銘し、看護実践の励みとなりまし た。第二内科病棟にて副看護婦長となり、末梢血幹細胞移 植の開始、糖尿病教室の開設を通じ、一から医療体制を作 り上げていくチーム連携の醍醐味を実感しました。平成9 年継続医療部にて看護婦長となり、訪問看護に携わりまし た。在宅で最期まで家族と暮らしたいという終末期患者さ んの希望を叶えるため、医師や薬剤師等と連携を取りなが ら処置や点滴の施行、入院時期の判断や在宅での看取りを 行いました。患者さんの意思を尊重した関わりの必要性. 介護する家族への支援、患者さんの望む在宅での終焉につ いて多くを学び、深く考える機会となりました。眼科病棟 では術後管理だけでなく、視覚障害患者さんが生活上の困 難や不便な点を克服していけるよう、退院後の生活を見据 え、患者さんの気持ちに寄り添う配慮や丁寧な指導が出来 ているかを調査研究し、看護の質向上に取り組みました。

平成16年国立大学法人化以降,病院専任衛生管理者とし て病院職員の安全や衛生をいかに守るかを念頭に病院内を 巡視しました。病院長を筆頭に看護部長、産業医、感染制 御部, 医療安全管理部, 大学安全衛生本部等より多大な支 援を頂きながら対策を講じました。労災対応や職業感染防 止, 職員健診の事後対応, メンタルヘルスケア相談, 敷地 内禁煙, 院内暴言暴力対策, 接遇研修等, 他病院の先駆け や模範となる労働安全衛生の体制作りの一端を担う貴重な 経験でした。そして、将来を託する院内認定指導看護師や 訪問看護師の育成、学会論文の査読と指導に携わらせてい ただきました。

大学病院の使命である最先端医療や教育、研究機関とい う最高の環境のなかで、自己を成長させ、充実した職業人 生を送ることが出来ました。これもひとえに諸先輩や同 僚、後輩、多くの職種の皆様方のご指導、ご支援のおかげ

と深く感謝申し上げます。今後は、この栄誉に恥じること がないよう過ごしてまいりたいと思います。

最後になりますが、北海道大学、北海道大学病院、看護 部の発展をご祈念申し上げ、お礼の言葉とさせていただき ます。

#### 功績等

蓮池清美氏は、昭和34年8月30日に北海道旭川市に生ま れ、同56年3月に北海道大学医学部附属看護学校を、同57 年3月に天使女子短期大学専攻科衛生看護学専攻を修了さ れました。昭和57年4月より北海道大学医学部附属病院に 採用され、平成4年に副看護婦長、同9年に看護婦長を歴 任し、令和2年3月に北海道大学病院を定年にて退職され ました。

同氏は採用後,産科病棟、第二外科病棟で勤務され、第 二内科病棟配属時に副看護婦長に昇任されました。その 間、糖尿病の患者への看護に取り組み、生活・セルフケア の支援に力を注がれました。平成6年にはアメリカ合衆国 ボストンのジョスリン糖尿病センターで糖尿病教育に関す る研修を受け、同7年から糖尿病教育入院開設担当者とし て役割を発揮されました。また、平成6年には日本看護協 会認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修を受講 し、看護管理者としての能力開発に努められました。

平成9年には、優れた管理能力が認められ看護婦長に昇 任し継続医療部に異動,同12年4月には眼科病棟に異動 し、看護の質向上に努められました。

平成16年には、国立大学法人化に伴い当院に初めて設置 された安全衛生管理室に専任衛生管理者として異動し、看 護部にとどまらず、病院全体の労働安全衛生に取り組まれ ました。その取り組みは広く、職員の身体の健康管理、メ ンタルヘルス対策を始め、院内暴力対策から警察OBを院 内の保安に導入, 職員の接遇研修の導入, 職場環境の視点 での労働安全衛生パトロールを開始、職業感染予防の講習 会実施、ストレスチェック制度の導入などに尽力されまし た。また、平成28年には、雑誌ナースマネジャーに「スタ ッフの心身の健康の守り手として看護師長にできること・ すべきこと」を投稿されました。平成27年には、病院とし て接遇研修を長年実施したことが評価され、日総研接遇大 賞を受賞したことに大きく貢献されました。

病院全体の活動では、キャリアシステムプラン開発・評 価部門において、教育プログラムの開発、院内認定看護師 の養成を実施されました。その成果として、平成28年に日 本看護管理学会で「部署内教育の統括的役割を担う指導看 護師の実践状況の実態」を、同30年には同学会において 「部署内教育の統括的役割を担う指導看護師の役割発揮と 行動変容に関する自己評価の実態」を発表されました。

同氏は、社会貢献活動も積極的に行い、阪神・淡路大震 災, 有珠山噴火, 新潟県中越沖地震の際の支援活動に参加 されました。また、北海道大学医学部保健学科及び保健科 学院の臨床指導講師,公益社団法人北海道看護協会の広報 出版委員及び学会委員を務められました。

以上のように同氏は、38年の永きにわたり看護管理、継 続教育, 労働安全衛生管理を主として看護の質向上に尽力 し、その功績は誠に顕著であります。

#### 略歴

生年月日昭和34年8月30日

昭和57年4月 北海道大学医学部附属病院看護部

平成4年4月 北海道大学医学部附属病院看護部副看護婦長

9年4月 北海道大学医学部附属病院看護部看護婦長 15年10月 北海道大学医学部·歯学部附属病院看護部看護師長

16年4月 北海道大学病院看護部看護師長

令和2年3月 北海道大学定年退職

(北海道大学病院)

## 第6回 定例記者会見を開催

10月21日 (木), 本学の特色ある教 育研究活動や運営状況等を社会に向け てわかりやすく発信することを目的と した「定例記者会見」を開催しました。 吉見 宏理事・副学長(広報室長)の 進行のもと, 獣医学研究院の坪田敏男 教授と下鶴倫人准教授, 環境科学院博 士後期課程の富田幹次氏,文学院修士 課程の伊藤泰幹氏が発表し、北海道教 育庁記者クラブ加盟社等から8名の参

加がありました。発表内容は以下の通 りです。

(総務企画部広報課)

#### 発表事項 (発表者)

・人里に出没するヒグマ 獣医学研究院 教授 坪田敏男 ・山と海が育むヒグマのくらし 准教授 下鶴倫人 ・ヒグマの生態研究の成果紹介 環境科学院 博士後期課程 富田幹次 ・北大ヒグマ研究グループについて 文学院 修士課程 伊藤泰幹



定例記者会見の様子



当日の発表者と吉見理事・副学長(左から坪田教授、 富田氏、吉見理事・副学長、伊藤氏、下鶴准教授)



発表を行う下鶴准教授



会見後の追加取材の様子

## 「国民との科学・技術対話」支援事業 アカデミックファンタジスタ 札幌開成中等教育学校に向けて5名の研究者が講義を実施

9月10日(金), 市立札幌開成中等 教育学校に向けて、5名の研究者がオ ンライン講義を実施しました。当日 は、中学3年生と高校1年生の189名 が参加し、盛況のうちに終了しまし

※今回の講義は、本学の技術支援・設 備共用コアステーションと札幌開成中

等教育学校が協力して実施している. インターンプロジェクトとの連携で開 催しました。

#### 糖と生命 先端生命科学研究院 教授 比能 洋

光合成をはじめとして糖がエネルギ -循環に大きく関わっていること、細 胞の外側にある糖鎖はウイルスや毒素

の標的にもなるため、人々の健康にと って糖鎖情報が重要であることなどを 解説しました。



糖とエネルギーの関係について説明する比能教授

#### 医者はAIに勝てるのか? 医学研究院 准教授 平田健司

いくプロセス、実際の医療現場での ておくべきことについてアドバイスし AI技術の活用方法や、医師とAIの役

AIがデータからルールを見つけて 割分担などを紹介し、AI時代に考え ました。



講義の最後にメッセージを伝える平田准教授

#### 再生医療で脳を治す 医学研究院 助教 川堀真人

患者の間葉系幹細胞を体外で培養・ 増殖し、それを脳に直接投与すること で改善を図る治療法とその臨床研究に ついて説明しました。



進行役の開成の先生と挨拶を交わす川堀助教

#### いま学ぶアイヌ民族の歴史ー先住民研究で世界をつなぐー アイヌ・先住民研究センター 教授 加藤博文

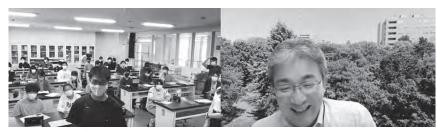
先住民族としてのアイヌの歴史と文 化を学ぶことが、多様性を尊重する社 会や国際関係の実現に繋がることを説 明しました。



北海道の歴史を伝える加藤教授

#### エネルギー・資源 そして放射線 工学研究院 教授 小崎 完

エネルギーの重要性、発電の種類や それぞれのメリット・デメリットを解 説し, 放射線の歴史と特徴を語りまし た。小崎教授が事前に届けた放射線測 定器を貸し出し, 「身近なものに含ま れる放射性物質を測定してみよう」と 呼びかけました。



生徒からの質問に答える小崎教授

#### アカデミックファンタジスタとは?

本学の第一線の研究者が、出張講義 やオンライン講義などを通じて高校生 に研究を伝える「アカデミックファン タジスタ (Academic Fantasista)」。 今年度はコロナ対策を十分に行って, 札幌近郊の高校等を対象に17名の教員 が講義を実施しています。当事業は, 内閣府が推進する「国民との科学・技 術対話」の一環として, 北海道新聞社 の協力のもと、平成24年度より実施し ています。

研究広報特設サイト「リサーチタイ

ムズ」やFacebookでも講義レポート 等を随時更新中です。こちらもぜひご 覧ください。

https://www.hokudai.ac.jp/researchtimes/ @Hokkaido.univ.taiwa

(総務企画部広報課)

## 北大フロンティア基金

北大フロンティア基金は、本学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を発 揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限 を付さない、息の長い募金活動をすることとしています。

皆様には基金の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

北大フロンティア基金情報 基金累計額(10月31日現在)

31,467件 5,651,974,729円

#### 10月のご寄附状況

法人等17社,個人266名の方々から28,566,160円のご寄附を賜りました。

そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、同意をいただいている方々のご芳名、銘板の掲示について掲載さ せていただきます。(五十音別・敬称略)

#### 寄附者ご芳名 (法人等)

有限会社市原ぞうの国、医療法人社団 北浜胃腸科・内科、株式会社木村工務店、株式会社クボタ、株式会社正文舎、株式会社竹山、 町立上ノ国診療所、とびせ小児科内科医院、中村クリニック、学校法人白水学園 認定こども園新琴似幼稚園、 株式会社ニンニンドットコム, 一般財団法人 北海道河川財団, 公益財団法人 北海道結核予防会, 北海道大学宮城県同窓会, 北海道和光純薬株式会社,六花亭製菓株式会社

#### 寄附者ご芳名(個 人)

合川 正幸         青木 俊介         赤石 禎子         秋元 義禮         朝賀 紳介         阿部 雅史         網谷 龍介         栗辻 康博           安藤 孝夫         池田 輝明         石井 哲夫         石井 信行         石川三千雄         石黒書太郎         伊藤 哲         猪股 路子           井原 博         今川かおる         入澤 秀次         白井 茂雄         宇田川禮一 梅本 幸男         縁記 和也         大野 博和           大畑 揮義         大島 敏男         大原 正範         大谷 憲夫         置地 竜一         奥田 英信         小田原一史         中斐由美子           柏川 一男         柏川もと子         梶原 達也         加藤砂都美         鹿取 雅幸         金川 眞行         金子豊三郎         杭島 孝典           亀貝 一義         河谷原知子         連也         加藤砂都美         鹿取 雅幸         金川 眞行         金子豊三郎         桃島 孝典           九川 一男         柏川もと子         梶原 達也         加藤砂都美         鹿取 雅幸         金川 眞行         金子豊三郎         桃島 孝典         人保田幸子           龍具 一美         瀬本 野本         東加 眞行         金子豊三郎         桃島 孝典         小林 勇樹         大原 報彦         大原 報彦         人保田 李男         本 大介 桜田 東子         佐本木 充力         藤木 野子         株本 茂の 一本 大介 桜田 恵子         本 五 高橋 清之         高林 秀樹         本 五 高橋 清之         市本 大			1	i	1			
井原         博         今川かおる         入澤 秀次         白井 茂雄         宇田川禮一         梅本 幸男         縁記 和也         大野 博和           大畑 揮義         大島 敏男         大原 正範         大谷 憲夫         置地 竜一         奥田 英信         小田原一史         甲斐由美子           柏川 - 男         柏川もと子         梶原 達也         加藤砂都美         鹿取 雅幸         金川 眞行         金子豊三郎         椛島 孝典           亀貝 一義         河谷眞知子         河本 充司         橘内 哲也         衣川 暢子         木村 暢夫         清塚 雅彦         久保田幸一           熊谷 正樹         栗本 完         黒澤 徹         小砂 憲一         小平 鉱之         後藤 普         小林 賢人         小林 勇樹           齊藤 晋         香藤 文志郎         斎藤瑠衣子         坂井 洋一         坂本 大介         桜田 厚子         佐々木亮子           佐藤 孝雄         佐藤 裕二         三升畑元基         塩滴 正哉         正済 聡子         柴田 祐次         嶋田 誠           烏村 和夫         下沢 英二         曾原 新也         杉江 和男         鈴木 耕平         鈴木 戴一         鈴木 貴之         高林 秀樹           高室 晩年         高柳 義和         相上 至 立野 正敏         田中 享         干歳 和範         十代 貴大         青田 成常         高林 秀樹           市工家 琢磨         土屋 務         中塚 華藤 藤 藤 藤 藤 藤 藤 中村 和正         西田 実弘         福田 哲男         野呂 雅之 表原         慶田 厳報         本原         新田 五 本原	合川 正幸	青木 俊介	赤石 禎子	秋元 義禮	朝賀 紳介	阿部 雅史	網谷 龍介	粟辻 康博
大畑 揮義         大島 敏男         大原 正範         大谷 憲夫         置地 竜一         奥田 英信         小田原一史         甲斐由美子 机島 孝典           柏川 一男 柏川もと子 亀貝 一義 河谷眞知子 商具 一義 河谷眞知子 液元	安藤 孝夫	池田 輝明	石井 哲夫	石井 信行	石川三千雄	石黒晋太郎	伊藤 哲	猪股 路子
柏川 一男         柏川もと子         梶原 達也         加藤砂都美         鹿取 雅幸         金川 眞行         金子豊三郎         桃島 孝典           亀貝 一義         河谷眞知子         河本 充司         橘内 哲也         衣川 暢子         木村 暢夫         清塚 雅彦         人保田幸一           熊谷 正樹         栗本 完         黒澤 徹         小砂 憲一         小平 絋之         後藤 普         小林 賢人         小林 勇樹           齊藤 晉         齋藤 久         齋藤文志郎         斎藤瑠衣子         坂井 洋一         坂本 大介         桜田 厚子         佐々木亮子           島村 和夫         下沢 英二         菅原 新也         杉江 和男         鈴木 耕平         鈴木 貴之         鈴木 東之         鈴木 東之         鈴木 東之         高林 秀樹         青林 秀樹         青本 秀樹         書田 兄雄         高田 民雄         高橋 清之         高林 秀樹         書田 栄継         土屋 務 青澤 陸         藤内 守         戸田 純子         富田 明子         豊田 威信         書田 栄継         豊田 威信         中田 東京         一成 和華         東田 城里         豊田 威信         本郷 東田 栄継         豊田 城信         本田 野呂 雅之         萩原 寛司         藤瀬 雅社         本田 秀田 田中 享         一成 和華         東田 明子         豊田 広告         富田 明子         豊田 広信         本郷 東田 大都         童田 成信         本級 原瀬 雅之         本級 原本         本級 原         本級 原本         本級 原	井原 博	今川かおる	入澤 秀次	臼井 茂雄	宇田川禮一	梅本 幸男	縁記 和也	大野 博和
亀貝 一義         河谷眞知子         河本 充司         橘内 哲也         衣川 暢子         木村 暢夫         清塚 雅彦         久保田幸一           熊谷 正樹         栗本 完         黒澤 徹         小砂 憲一         小平 絋之         後藤 普         小林 賢人         小林 野子         佐々 木亮子         佐藤 常         上屋         第本 王二         五川 北 美         第本 王二         第二 五         第本 王二         第本 王二 </td <td>大畑 揮義</td> <td>大畠 敏男</td> <td>大原 正範</td> <td>大谷 憲夫</td> <td>置地 竜一</td> <td>奥田 英信</td> <td>小田原一史</td> <td>甲斐由美子</td>	大畑 揮義	大畠 敏男	大原 正範	大谷 憲夫	置地 竜一	奥田 英信	小田原一史	甲斐由美子
熊谷 正樹         栗本         完         黒澤         徹         小砂 憲一         小平 絋之         後藤         普         小林         賢人         小林         勇樹           齊藤         百         齋藤文志郎         斎藤瑠衣子         坂井         坂本         大介         桜田         厚子         佐々々木完子         佐藤         藤田         大介         桜田         厚子         佐本々木完子         佐藤         春田         本方         佐藤         春日         本方         大名         本方         金井         本方         二十         二十         一十         本方         一十         一十         本方         一十<	柏川 一男	柏川もと子	梶原 達也	加藤砂都美	鹿取 雅幸	金川 眞行	金子豊三郎	椛島 孝典
齊藤         人         齋藤文志郎         斎藤瑠衣子         坂井 洋一         坂本 大介         桜田 厚子         佐々木完子           佐藤         李雄         佐藤         梅二         三升畑元基         塩満 正哉         志済 聡子         柴田 祐次         嶋田 誠           島村 和夫         下沢 英二         菅原 新也         杉江 和男         鈴木 耕平         鈴木 誠一         鈴木 貴之         鈴木 克           鈴木里津子         須藤 和昌         瀬田石瑠枝子         瀬名波栄潤         高尾 英男         高田 民雄         千代 貴大         津田 栄継           土家 琢磨         土屋 努         土屋 裕         寺澤 睦         藤内 守         戸田 純子         冨田 明子         豊田 威信           内藤 直樹         中田 忠         中塚 英俊         中村 和正         西田 実弘         邓田 哲男         野呂 雅之         萩原 寛司         藤瀬 曜         谷子         福田 広信         本原 原綱         不品         本原 原綱         不品         本原 原綱         本別 原列 原	亀貝 一義	河谷眞知子	河本 充司	橘内 哲也	衣川 暢子	木村 暢夫	清塚 雅彦	久保田幸一
佐藤 孝雄         佐藤 康訓         佐藤 裕二         三升畑元基         塩満 正哉         志済 聡子         柴田 祐次         嶋田 誠           島村 和夫         下沢 英二         菅原 新也         杉江 和男         鈴木 耕平         鈴木 誠一         鈴木 貴之         鈴木 充           鈴木里津子         須藤 和昌         瀬田石瑠枝子         瀬名波栄潤         高尾 英男         高田 民雄         高橋 清之         高林 秀樹           高室 暁         高柳 義伸         楯 裕史         立野 正敏         田中 享         千歳 和範         千代 貴大         津田 栄継           土家 琢磨         土屋 努         土屋 裕         寺澤 睦         藤内 守         戸田 純子         富田 明子         豊田 威信           内藤 直樹         中田 忠         中塚 英俊         中村 和正         西田 実弘         沼田 哲男         野呂 雅之         萩原 寛司         藤瀬 雅哉           福野 聡         長谷川 淳         花田 滋雄         花田 秀一         林 寛之         原澤 辰明         番場 堅         廣瀬 雅哉           福井 滋         福島 善司         福田ちはる         福士 幸治         福田 正晴         福水 悟郎         福安 淳也         藤澤 裕子           船津 定見         漁見 勝克         細木 功一         松田 健一         松原 謙一         松市 一         大元 和幸         本子         全         大元 和幸         本子         本子         上屋 本子         田田 中         本子         本子         田田 正常         本子         <	熊谷 正樹	栗本 完	黒澤 徹	小砂 憲一	小平 絋之	後藤 普	小林 賢人	小林 勇樹
島村 和夫         下沢 英二         菅原 新也         杉江 和男         鈴木 耕平         鈴木 誠一         鈴木 貴之         鈴木 充           鈴木里津子         須藤 和昌         瀬田石瑠枝子         瀬名波栄潤         高尾 英男         高田 民雄         高橋 清之         高林 秀樹           高室 暁         高柳 義伸         楯 裕史         立野 正敏         田中 享         千歳 和範         千代 貴大         津田 栄継           土家 琢磨         土屋 努         土屋 裕         寺澤 睦         藤内 守         戸田 純子         富田 明子         豊田 威信           内藤 直樹         中田 忠         中塚 英俊         中村 和正         西田 実弘         沼田 哲男         野呂 雅之         萩原 寛司           橋野 聡         長谷川 淳         花田 滋雄         花田 秀一         林 寛之         原澤 辰明         番場 堅 廣瀬 雅哉           福井 滋 福島 善司         福田ちはる         福士 幸治         福田 正晴         福永 悟郎         福安 淳也         藤澤 裕子           船津 定見 勝亮         細木 功一         総局 康次         堀 信一郎         松前 元         松元 和幸         真鍋 知已           水内真知子 湊博之         博之         松尾 博朋         松田 健一         松原 謙一         松前 元         松元 和幸         真鍋 知已           水内真紹子	齊藤 晋	齋藤 久	齋藤文志郎	斎藤瑠衣子	坂井 洋一	坂本 大介	桜田 厚子	佐々木亮子
鈴木里津子         須藤 和昌         瀬田石瑠枝子         瀬名波栄潤         高尾 英男         高田 民雄         高橋 清之         高林 秀樹           高室 時         高柳 義伸         楯 裕史         立野 正敏         田中 享         千歳 和範         千代 貴大         津田 栄継           土家 琢磨         土屋 努         土屋 裕         寺澤 睦         藤内 守         戸田 純子         富田 明子         豊田 威信           内藤 直樹         中田 忠         中塚 英俊         中村 和正         西田 実弘         沼田 哲男         野呂 雅之         萩原 寛司           橋野 聡         長谷川 淳         花田 滋雄         花田 秀一         林 寛之         原澤 辰明         番場 堅         廣瀬 雅哉           福井 滋         福島 善司         福田 ちはる         福士 幸治         福田 正晴         福永 悟郎         福安 淳也         藤澤 裕子           船津 定見         勝亮         細木 功一         細谷 康次         堀 信一郎         前田 博         政氏 伸夫 保木 幸三         町田 黄統         松浦 光紀         松尾 博朋         松田 健一         松原 謙一         松市 元         村土 幸夫         村木 吉亘         村土 幸夫         村木 吉亘         村木 吉亘         大嶋 剛建 日         山田 百合子         山中 幹基         山本 雄一         横山 考         吉田 広志	佐藤 孝雄	佐藤 康訓	佐藤 裕二	三升畑元基	塩満 正哉	志済 聡子	柴田 祐次	嶋田 誠
高室         暁         高柳         義伸         楯         裕史         立野 正敏         田中 享         千歳 和範         千代 貴大         津田 栄継           土家         琢磨         土屋         裕         寺澤         睦         藤内         守         戸田 純子         冨田 明子         豊田 威信           内藤         直樹         中田         忠         中材         和正         西田 実弘         沼田 哲男         野呂 雅之         萩原         寛司           橋野         聡         長谷川 淳         花田 滋雄         花田 秀一         林         寛之         原澤 辰明         番場         堅         廣瀬 雅哉           福井         滋         福島         善司         福田 ちはる         福土 幸治         福田 正晴         福永 悟郎         福安 淳也         藤澤 裕子           船津         定見         勝亮         細木 功一         細谷 康次         堀 信一郎         前田 博         政氏 伸夫         保木 幸三           町田 貴裕         松浦 光紀         松尾 博朋         松田 健一         松原 謙平         松前 元         松元 和幸         真鍋 知巳           水内真知子         博之         本崎 賢亮         宮田 信幸         宮森 健司         村上 泰一         村上 奉夫         村木 吉亘           村瀬徳啓充         守屋         洋         午嶋         安井 敬一         安江 正博         安田 美部         田本 建 日         <	島村 和夫	下沢 英二	菅原 新也	杉江 和男	鈴木 耕平	鈴木 誠一	鈴木 貴之	鈴木 充
土家 琢磨     土屋     谷     寺澤     睦     藤内     守     戸田     純子     富田     明子     豊田     威信       内藤 直樹     中田     忠     中塚 英俊     中村     和正     西田     実弘     沼田     哲男     野呂     雅之     萩原     寛司       橋野     聡     長谷川     淳     花田     滋雄     花田     秀一     林     寛之     原澤     辰明     番場     堅     廣瀬     雅哉       福井     滋     福島     善司     福田     正晴     福水     悟郎     福安     淳也     藤澤     裕子       船津     定見     勝亮     細木     功一     細谷     康水     堀     信一郎     前田     博     政氏     伸夫     保木     幸三       町田     貴裕     光紀     地區     世     松原     謙一     松市     和完     村上     泰一     村上     幸夫     村木     吉亘       村瀬徳啓充     守屋     洋     大嶋     四田     安井     弘一     安田     本部     山田     本部     山田     本書田     広志       山崎     夏生     山城     明伸     山田     和奈     山田     本部     山田	鈴木里津子	須藤 和昌	瀬田石瑠枝子	瀬名波栄潤	高尾 英男	高田 民雄	高橋 清之	高林 秀樹
内藤 直樹         中田         忠         中塚 英俊         中村 和正         西田 実弘         沼田 哲男         野呂 雅之         萩原 寛司           橋野 聡         長谷川 淳         花田 滋雄         花田 秀一         林 寛之         原澤 辰明         番場 堅         廣瀬 雅哉           福井 滋         福島 善司         福田ちはる         福士 幸治         福田 正晴         福永 悟郎         福安 淳也         藤澤 裕子           船津 定見 焼見 勝亮         細木 功一         細谷 康次         堀 信一郎         前田 博         政氏 伸夫         保木 幸三           町田 貴裕         松浦 光紀         松尾 博朋         松田 健一         松原 謙一         松前 元         松元 和幸         真鍋 知巳           水内真知子         湊 博之         峯崎 賢亮         宮田 信幸         宮森 健司         村上 泰一         村上 幸夫         村木 吉亘           村瀬徳啓充         守屋 洋         矢嶋 剛         安井 敬一         安江 正博         安田美津子         矢部 輝雄         山口 良文           山崎 夏生         山城 明伸         山田 和奈         山田百合子         山中 幹基         山本 雄一         横山         考         吉田 広志	高室 暁	高柳 義伸	楯 裕史	立野 正敏	田中 享	千歳 和範	千代 貴大	津田 栄継
橋野         形         長谷川 淳         花田 滋雄         花田 滋雄         花田 秀一         林 寛之         原澤 辰明         番場         堅 廣瀬 雅哉           福井         滋 福島         善司         福田 ちはる         福土 幸治         福田 正晴         福永 悟郎         福安 淳也         藤澤 裕子           船津         定見         勝克         細木 功一         細谷 康次         堀 信一郎         前田 博         政氏 伸夫         俣木 幸三           町田 貴裕         松浦 光紀         松尾 博朋         松田 健一         松原 謙一         松前 元         松元 和幸         真鍋 知已           水内眞知子         湊         博之         室田 信幸         宮森 健司         村上 泰一         村上 幸夫         村木 吉亘           村瀬徳啓充         守屋         洋         矢嶋         剛         安井 敬一         安江 正博         安田美津子         矢部 輝雄         山口 良文           山崎 夏生         山城 明伸         山田 和奈         山田百合子         山中 幹基         山本 雄一         横山 考         吉田 広志	土家 琢磨	土屋 努	土屋 裕	寺澤 睦	藤内 守	戸田 純子	冨田 明子	豊田 威信
福井 滋 福島 善司 福田ちはる 福士 幸治 福田 正晴 福永 悟郎 福安 淳也 藤澤 裕子 船津 定見 逸見 勝克 細木 功一 細谷 康次 堀 信一郎 前田 博 政氏 伸夫 侯木 幸三 町田 貴裕 松浦 光紀 松尾 博朋 松田 健一 松原 謙一 松前 元 松元 和幸 真鍋 知巳 水内眞知子 湊 博之 峯崎 賢克 宮田 信幸 宮森 健司 村上 泰一 村上 幸夫 村木 吉亘 村瀬徳啓充 守屋 洋 矢嶋 剛 安井 敬一 安江 正博 安田美津子 矢部 輝雄 山口 良文山崎 夏生 山城 明伸 山田 和奈 山田百合子 山中 幹基 山本 雄一 横山 考 吉田 広志	内藤 直樹	中田 忠	中塚 英俊	中村 和正	西田 実弘	沼田 哲男	野呂 雅之	萩原 寛司
船津 定見     逸見 勝亮     細木 功一     細谷 康次     堀 信一郎     前田 博     政氏 伸夫     俣木 幸三       町田 貴裕     松浦 光紀     松尾 博朋     松田 健一     松原 謙一     松市 元     松元 和幸     真鍋 知巳       水内眞知子     湊 博之     峯崎 賢亮     宮田 信幸     宮森 健司     村上 泰一     村上 幸夫     村木 吉亘       村瀬徳啓充     守屋 洋     矢嶋 剛     安井 敬一     安江 正博     安田美津子     矢部 輝雄     山口 良文       山崎 夏生     山城 明伸     山田 和奈     山田百合子     山中 幹基     山本 雄一     横山 考     吉田 広志	橋野 聡	長谷川 淳	花田 滋雄	花田 秀一	林 寛之	原澤 辰明	番場 堅	廣瀬 雅哉
町田 貴裕     松浦     光紀     松尾     博朋     松田     健一     松原     謙一     松前     元     松元     和幸     真鍋     知已       水内真知子     湊     博之     峯崎     賢亮     宮田     信幸     宮森     健司     村上     泰一     村上     幸夫     村木     吉亘       村瀬徳啓充     守屋     洋     矢嶋     剛     安井     敬一     安江     正博     安田美津子     矢部     輝雄     山口     良文       山崎     夏生     山城     明伸     山田     和奈     山田百合子     山中     幹基     山本     雄一     養山     考     吉田     広志	福井 滋	福島 善司	福田ちはる	福士 幸治	福田 正晴	福永 悟郎	福安 淳也	藤澤 裕子
水内真知子     湊     博之     峯崎     賢亮     宮田     信幸     宮森     健司     村上     泰一     村上     幸夫     村木     吉旦       村瀬徳啓充     守屋     洋     矢嶋     剛     安井     敬一     安江     正博     安田美津子     矢部     輝雄     山口     良文       山崎     夏生     山城     明伸     山田     和奈     山田百合子     山中     幹基     山本     雄一     横山     考     吉田     広志	船津 定見	逸見 勝亮	細木 功一	細谷 康次	堀 信一郎	前田 博	政氏 伸夫	俣木 幸三
村瀬徳啓充     守屋     洋     矢嶋     剛     安井     敬一     安江     正博     安田美津子     矢部     輝雄     山口     良文       山崎     夏生     山城     明伸     山田和奈     山田百合子     山中     幹基     山本     雄一     横山     考     吉田     広志	町田 貴裕	松浦 光紀	松尾 博朋	松田 健一	松原 謙一	松前 元	松元 和幸	真鍋 知巳
山﨑 夏生 山城 明伸 山田 和奈 山田百合子 山中 幹基 山本 雄一 横山 考 吉田 広志	水内眞知子	湊 博之	峯崎 賢亮	宮田 信幸	宮森 健司	村上 泰一	村上 幸夫	村木 吉亘
	村瀬徳啓充	守屋 洋	矢嶋 剛	安井 敬一	安江 正博	安田美津子	矢部 輝雄	山口 良文
米山由美子 劉 世龍 和田 隆 渡辺明日香 渡邉 伸司 渡辺 浩行	山﨑 夏生	山城 明伸	山田 和奈	山田百合子	山中 幹基	山本 雄一	横山 考	吉田 広志
	米山由美子	劉世龍	和田 隆	渡辺明日香	渡邉 伸司	渡辺 浩行		

#### 銘板の掲示(20万円以上のご寄附)

#### (法人等)

株式会社ニンニンドットコム、北海道大学宮城県同窓会

#### (個 人)

赤石 禎子,置地 竜一,柏川 一男,柏川もと子,鹿取 雅幸,金子豊三郎,水内眞知子,山本 雄一

#### ご寄附のお申し込み方法

北大フロンティア基金ホームページの「教職員の方によるご寄附について」にアクセスしてください。 https://www.hokudai.ac.jp/fund/howto-staff.html

#### ①給与からの引き落とし

ホームページから「北大フロンティア基金申込書(兼・給与口座からの引落依頼書)」をダウンロードし、ご記入の上、 卒業生・基金室基金事務担当に提出してください。

#### ②郵便局または銀行への振り込み

卒業生・基金室基金事務担当にご連絡ください。払込取扱票をお送りします。

#### ③現金でのご寄附

寄附申込書に現金を添えて、卒業生・基金室基金事務担当にご持参ください。 申込書は、ホームページから「北大フロンティア基金申込書(教職員現金用)」をダウンロードしてご記入いただくか、 卒業生・基金室基金事務担当にもご用意していますので、お越しいただいてからご記入いただくことも可能です。

#### ④ クレジットカード決済・コンビニ決済でのご寄附

北大フロンティア基金ホームページ

(https://www.hokudai.ac.jp/cgi-bin/fund/bin/xRegist.cgi) の寄附申し込みフォームから申込をお願いします。

北大フロンティア基金に関する問い合わせ 卒業生・基金室基金事務担当(学内電話 2017)

(総務企画部広報課)

## アジア航測株式会社に紺綬褒章が授与



寳金総長と小川社長

北大フロンティア基金へ多額の寄附 を賜りましたアジア航測株式会社様へ 紺綬褒章が授与されました。

アジア航測株式会社様は, 防災や環 境をはじめとする国土開発や、ICT技 術を活かした国土情報の分野など、わ が国の持続可能で活力のある国土・地 域づくりに大きく貢献されている企業 です。

近年の自然災害が複雑化しているこ とから、その実態・対応策を研究し、 また対策を実践することが重要とし て、本学の広域複合災害研究センター の設立趣旨をご理解いただき, 昨年度 に続いて, 今年度も北大フロンティア 基金の特定資金として, 学部等支援 (広域複合災害研究センター) に寄附 を賜りました。

伝達式は、10月14日(木)に北海道 大学東京オフィスにて行われ、小川紀 一朗代表取締役社長より、歴代の航空 機に関するお話と、東日本大震災の事 例を元に記録を残すことの意味と難し さについてご説明いただきました。そ の後、寳金清博総長から褒状が伝達さ れました。

※ 紺綬褒章とは、公益のために私財(個人 の場合500万円以上、法人の場合1,000万 円以上)を寄附した者を対象に,表彰さ れるべき事績の生じた都度、各府省等の 推薦に基づき審査され、授与されるもの です。

国, 地方公共団体又は公益団体(公益 を目的とし, 法人格を有し, 公益の増進 に著しく寄与する事業を行う団体であっ て, 当該団体に関係の深い府省等の申請 に基づき賞勲局が認定した団体) に対す る寄附が授与の対象となります。

(総務企画部広報課)

## 谷澤敏允氏と谷澤和子氏に紺綬褒章が授与



寳金総長と谷澤夫妻

北大フロンティア基金へ多額の寄附 を賜りました谷澤敏允氏, 和子氏ご夫 妻へ紺綬褒章が授与されました。

谷澤敏允氏は昭和43年3月に本学工 学部土木工学科を卒業後, 都庁へ入 庁, その後谷沢建設株式会社に入社 し, 代表取締役社長を経て, 現在同社

の取締役会長を務めておられます。

この度は、新型コロナウイルス感染 症拡大に伴い, 生活に困窮する学生を 憂慮し, 研究や学業に専念できるよ う,修学が困難な学生に対して財政的 に支援する「修学支援基金」として谷 澤敏允氏, 和子氏からそれぞれ寄附を

賜りました。

伝達式は、10月14日(木)に北海道 大学東京オフィスにて行われ、本学関 係者が見守る中、寳金清博総長から褒 章. 褒章記が伝達されました。

(総務企画部広報課)

## 衛生管理者連絡会を開催

10月21日 (木), 日頃から部局での 安全衛生業務に従事している衛生管理 者等の教職員を対象として, 衛生管理 者連絡会をオンラインで開催しました。

安全衛生本部の川上貴教教授から は、部局における衛生管理者の役割を 中心に, 本学全体の安全衛生管理体制 における位置づけや総括安全衛生管理 者との関係, 衛生管理者巡視と産業医 巡視の連携体制など、部局の衛生管理 者や安全衛生担当が円滑に活動を推進 するうえで知っておくべき事項が示さ れました。また、事故情報の収集につ 生担当の事務にあたっている方にお願 いしたいことが改めて示されました。

また、同本部の平井克美特定専門職 からは、本学で実施しているチェック シートと入室を併用する巡視が法の定 めに基づくものであること, 労働基準 監督署の指導によりこの方式の巡視を 実施するようになった経緯、そして近 年の巡視でみられる問題点と今後の対 策について説明がありました。

その後, 各部局の参加者から, 自己 紹介と現在担当している業務, 日頃困

いて、その業務フローや部局で安全衛っていることや意見・質問などについ てお話しいただき,種々出された意見 をもとに活発な意見交換が行なわれま した。今回も昨年に引き続きオンライ ン開催となりましたが、有意義な連絡 会となりました。

> 本連絡会は,衛生管理者を始め,安 全衛生業務に携わっている方々の業務 に役立てていただくため、次年度以降 も定期的に開催する予定です。

> > (安全衛生本部)



本学の安全衛生管理体制について説明する川上教授



衛生管理者巡視について説明する平井特定専門職



連絡会の様子

## 審会清博総長が新渡戸カレッジで特別講演

新渡戸カレッジでは、10月2日(土) に特別講演会を開催しました。今回の 講演会は、新渡戸カレッジ基礎プログ ラム学部教育コースの必修科目である 「新渡戸学 (フェローゼミ)」に先立 って. 新渡戸カレッジ校長である寳金 清博総長が「科学と生命倫理」と題し て, 高等教育推進機構大講堂におい て、対面にて講演されました。新渡戸 カレッジ生を対象とした総長の講演会 は、今回が初めてのことです。

講演会には、基礎プログラム学部教 育コースの正式入校生約180名に加え て, フェローゼミ担当フェロー, 支援 教員, ゲスト講師及び新渡戸カレッジ 関係教職員の約30名をあわせて、約 210名が参加しました。なお、会場の ドアや窓を開放し、空調を稼働させて 換気を行うとともに, 座席も前後左右

の間隔を空けて、新型コロナウイルス 感染症予防対策を講じました。

寳金総長の講演は、ご自身の趣味や 特技についてジョークを交えながら話 されることによって、やや緊張気味だ った学生の気持ちを和らげることから 始まり、徐々に本題である「科学と生 命倫理」の世界へと来場者を誘いまし た。主な講演内容は、過去から現在に かけて生まれた格差社会と倫理の問 題、そこに自由と平等が存在し常に衝 突していること、また、自由と平等は 反比例の関係にあるものの, しかし, 正義と平等はイコール (=) の関係に あること、さらに、医療における正義 は常に平等であり、平等な医療提供が 医療資源の公平な分配を得て、基準的 価値としての「生命・健康」が健康の 増進と生命の延長を生んでいるなど,

多方面に及びました。

加えて, 日本あるいは世界で生命倫 理に関する様々な事件の事例について 話され、特に総長の専門分野である医 学界での事例や出来事に対しては、説 明に一段と熱が入られました。その上 で、科学と生命倫理の課題を挙げて、 「新渡戸カレッジはこのための〈知の トレーニング施設〉| であることを強 調されて、講演を結ばれました。

脳神経外科学者、もやもや病治療の 外科医. また元北海道大学病院長とし て,様々な経験を踏まえた上での講演 は、刺激的、かつ含蓄に富んだ内容で あり、その後、学生からは、寳金総長 も感心するほど鋭い質問が次々と寄せ られ、盛会のうちに終了しました。

(学務部教育推進課)



講演を行う寳金総長



会場の様子

## 令和3年度オープンキャンパスをオンラインにて開催

9月19日(日)~22日(水), 北海 道大学オープンキャンパスをオンライ ンにて開催しました。

例年は、8月上旬に開催するとこ ろ, 本年の開催日程は, オリンピック 競技開催予定日の関係で9月下旬と し、また、新型コロナウイルス感染症 の感染拡大防止の観点から、オンライ ン形式での開催となりました。

期間中は、事前収録した動画(オン デマンドコンテンツ) をオンライン オープンキャンパス特設サイト等にて 公開したほか. 各学部等において独自 に企画されたライブ配信プログラムを 9月19日(日)及び20日(月・祝)に 配信しました。

オンデマンドコンテンツの視聴回数 は,延べ15,992回となり,各学部等の ライブ配信コンテンツ参加者数につい ては、延べ3.135名となりました。

開催後の参加者アンケートでは「自 宅からの距離を考慮するとオンライン だと参加しやすかった」、「自宅で集 中して希望する講義を視聴することが でき, 分からない箇所を何回も見直す ことができた |. 「長い日程が設けら

れており、夜間にも動画をゆっくり視 聴できたのがよかった」等、オンライ ン開催の良かった面の意見の一方,

「実際にキャンパスを歩いて, 肌で雰 囲気を感じたい」、「オンラインで質 問はしやすかったが、施設などを目で 確かめたい」、「実際にキャンパスを 見ることで士気を高めたい」等、従来 の対面形式での開催を望む意見もあり ました。

(アドミッションセンター)

#### 令和3年度オープンキャンパス 参加者数等集計表

学部等名		オンデマント (事前収録の学部紹		ライブ配信コンテンツ (学部等の独自企画による当日配信)	部局等別参加者数 合計	
	字前寺名	ページ訪問回数 a	動画再生数 b	参加者数  C	a+c	
文学	<b>全部</b>	407	496	225	632	
教育	学部	356	452	141	497	
法学	<b>全</b> 部	579	705	134	713	
経済	<b>等学</b> 部			333	333	
理学	全部	2,126	2,360	411	2,537	
医岩	学部医学科	1,092	1,297		1,092	
医岩	学部保健学科	878	1,016	61	939	
歯当	<b>全部</b>	84	95	60	144	
薬学	<b>牟</b> 部	379	462	227	606	
工当	单部	1,689	1,804	543	2,232	
農学	全部	1,347	1,512	232	1,579	
獣図	<b>E</b> 学部	794	913	54	848	
水產	<b>E</b> 学部	868	954	234	1,102	
大学	学院環境科学院(R3年度~)	49	53		49	
北カ	t×SDGs(R3年度~)	338	480		338	
	アドミッションセンター		1,371			
	高等教育推進機構CoSTEP			37		
特	新渡戸カレッジ		93			
特設サ	附属図書館(本館・北図書館)	2.591	9		3,071	
リイト	国際交流課(旧 国際連携機構)	2,591 ※特設サイトへの	194		3,071	
'	学生相談総合センター	アクセス数	15	4		
	アクセシビリティ支援室		15	4		
	北大キャンパスビジットプロジェクト		1,711	439		
総合	·····································	13,577	15,992	3,135	16,712	

<sup>※</sup>人数については、延べ数で集計。

<sup>※</sup>ライブ配信コンテンツについては、任意企画。

## 令和3年度北海道大学進学相談会をオンラインにて開催

10月17日(日)に進学相談会をオンラインにて開催しました。

例年は、東京及び大阪の会場にて開催するところ、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、オンライン形式での開催となりました。

今年度は、昨年度の個別相談に代 え、各枠10名までのグループ相談や北 大キャンパスビジットプロジェクトに よる現役北大生への質問ができる相談 会等,趣向を凝らし開催しました。当 日は,延べ436名の参加があり、参加 者からのご質問に各学部等の教職員等 がZoomにより対応しました。

開催後の参加者からのアンケートでは「どの担当者も、親身に話をしてくださったのでとてもためになった」.

「オンラインなので遠方からでも気軽に参加し質問することができた」等, オンライン開催の良かった面の意見の 一方, 「実際にキャンパスを歩いて北 大を感じてみたい」, 「対面の方が話 しやすい」等の従来の対面形式での開 催を望む意見もありました。

(アドミッションセンター)

## 高大連携による「Hokkaido Study Abroad Program」を開催

北海道教育委員会及び北海道大学主催の,高大連携による「Hokkaido Study Abroad Program」を10月18日 (月)及び19日 (火)の2日間にわたって開催しました。

本事業は、国際交流に興味・関心を持ち、大学等に進学し学術研究に意欲的に取り組もうとする道内の高等学校の生徒に対して、留学生との相互交流や講義等の受講の機会を創出することにより、国際理解の促進と進学意欲の向上を図り、将来におけるグローバル人材を育成することを目的としています。9月の「留学生派遣プログラム」及び10月の「高校生受入プログラム」の2部構成となっておりますが、今年度は新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、両プログラムともオンラインでの開催となりました。

9月には北海道大学の留学生14名が 道内の高等学校14校に対し、オンライ ンによる模擬授業を通じて異文化交流 を行い、10月には、道内の高等学校19 校から高校生24名を受け入れ、高等教 育推進機構副機構長の髙橋 彩教授に よる挨拶を皮切りに、以下のようなプログラムを実施しました。

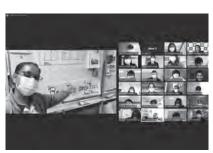
- ■留学生との交流
- ■留学生,留学経験者による留学体験 談及びバーチャル研究室ツアー
- ■道内高等学校教諭によるSDG s 教育 及びディスカッション
- ■高等教育推進機構教員による模擬講義

新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、様々な学校行事が中止となる中、同じ志を持った高校生たちが道内の各高校からZoomを介しオンラインで参加することにより、互いを刺激し学び合う良い機会となりました。また、今回ご協力いただいた留学生や留学経験者等からも、本事業は、異文化理解の促進において有意義であったとの声が寄せられ、本学学生にとって良い経験となりました。

(学務部入試課)



髙橋教授による開会挨拶



バーチャル研究室ツアーで留学生と オンラインで交流



ブレイクアウトルーム機能を活用した 留学生との文化交流

## 2021年度夏季国際インターンシップ全学成果報告会を開催

高等教育推進機構では、10月30日 (土) に、2021年8月から9月にかけ てオンラインで実施した国際インター ンシップの成果報告会を開催しました。

「国際インターンシップ」とは、グ ローバルに事業を展開する企業・組織 等の海外拠点にて, 就業体験型として 研修を行う実践的キャリア教育プログ ラムです。研修を通し学生が、国際性 とリーダーシップ力を醸成するととも に、グローバルな視点で自らのキャリ アや今後の進路について考えることを 目的としています。本プログラムは, 2016年度に3ヶ国・地域, 3拠点, 4 名を派遣することで試行的に開始さ れ、それ以降、多くの受入企業・組織 のご支援の下, 年々プログラムを拡充 してきました。2019年度には14ヶ国・

地域, 48拠点にて実施し, 73名を派遣 しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感 染症拡大の影響により海外派遣は実現 しませんでしたが、7ヶ国・地域にま たがる11企業・組織の研修先と中継 し、初の試みとしてオンラインを活用 したインターンシップを行い、成功さ せることができました。今年度も残念 ながら海外派遣は叶いませんでした が、昨年度よりもさらに多くの19企 業・組織からご協力をいただき、13カ 国・地域にて56名の学生がオンライン 研修に参加しました。本プログラムに ついては, 研修先及び参加学生の双方 から高い評価を得ています。

本報告会では、オンラインインター ンシップに参加した学生が、それぞれ 研修で得た学びについてオンラインで 発表しました。一般参加者の受付は行 いませんでしたが、支援企業のご担当 者や本学学生・教職員など、学内外や 研修先海外拠点から多くの方々がオン ラインで参加しました。学生発表終了 後には,参加企業の方々から本報告会 へのご講評及び発表学生への励ましの お言葉がありました。

高等教育推進機構では、コロナ禍の 環境においても、グローバルな視野を 持ち,変化の激しい社会の多様性に対 応できる学生を育成するため、今後も 国際インターンシップを実施します。

(学務部国際交流課)



開会挨拶を行う山口淳二理事・副学長



研修成果を発表した学生

## BioJapan2021地域バイオコミュニティ認定授与式にて 内閣府より本学に認定証トロフィーが授与

10月14日 (木), パシフィコ横浜に おいてBioJapan2021が開催されまし た。この中で内閣府が主催する地域バ イオコミュニティ認定授与式が行わ れ、寳金清博総長が「北海道プライム バイオコミュニティ」に対する地域バ イオコミュニティ認定証トロフィーを 受け取りました。

内閣府では、「バイオ戦略」に基づ き、バイオ関連市場の拡大に向けて、 国内外から人材・投資を呼び込み、各 市場領域における製品・サービスの提 供体制を強化し、世界市場に進出する ための方策として、「バイオコミュニ ティの形成」を進めています。今回, 本学の取り組みが、地域に応じた特色 あるバイオ分野の取組を展開する「地 域バイオコミュニティ」の認定を受け たため、トロフィーを授与されたもの

です。

認定授与式終了後、各コミュニティ の代表者から講演が行われ、寳金総長 から、一次産業 (Primary Industry) と優れた (Prime) に由来する「北海 道プライムバイオコミュニティ」は、 地域の課題を解決し、世界に競争力の ある市場を開拓することで, 北海道プ ライムバイオコミュニティのブランド を確立することを基本方針としている こと, それを実現するために, 本学, 北海道庁, 北海道科学技術振興センタ - (ノーステック財団)の産学官が 「Hokkaido Cubix」というネットワー ク機関を構成し、37の参画機関が主体 的に「研究・事業化・販路開拓の促 進」、そして「資金や人材の獲得の促 進」をすることについて説明されまし た。講演の最後に、2030年には、「世

界と協調できる持続可能な一次生産シ ステムの構築」(具体的には,「一次 産業のスマート化による労働生産性の 向上」、「鮮度保持・品質保持技術の 研究や事業化の活発化」、「北海道バ イオブランドの確立, 国内外市場への 戦略的展開」、「一次産業従事者を育 成し、海外へ人財派遣」)を目指し、 また、2050年には「誰もが農林水産業 に従事したくなる憧れの北海道」を目 指しているとの力強いメッセージがあ りました。

また, 講演終了後に, 各コミュニテ ィによるパネルディスカッションが行 われ、関係者による活発な議論も行わ れました。

(研究推進部産学連携課)



地域バイオコミュニティ認定授与式 (左: 寳金総長 右: 松尾科学技術・イノベーション推進事務局長)



バイオコミュニティに関するパネルディスカッション (右から2番目: 寳金総長)

## ウェビナー「日本研究オープンハウス」を開催

10月19日 (火), 北米ポートランド オフィスは、日本研究の面白さや魅力 をアメリカの高校生や大学生などの若 い世代に伝えることを目的に、大学間 交流協定校であり、同オフィスを設置 しているポートランド州立大学との共 催により「日本研究オープンハウス」 をオンライン形式で開催しました。

北米ポートランドオフィス所長であ る川野辺創 国際連携機構副機構長が 司会を務めた本ウェビナーには54名が 参加し、ゲストスピーカーとして、ポ ートランド州立大学日本研究センター 所長で本学アンバサダーのKenneth RUOFF教授が「日本の近代史における 皇室の役割」について、また京都大学 大学院経済学研究科のSteven IVINGS 准教授が「地域史及び世界史における

19世紀半ばの北海道・函館」をテーマ に、それぞれの研究やキャリアに基づ いて日本研究の面白さや奥深さを語り ました。

基調講演に続き,本学現代日本学 プログラム課程(Modern Japanese Studies Program, 以下MJSP) の教員 であるSusanne KLIEN准教授とEmma COOK准教授を加え、Jonathan BULL 講師をモデレーターにパネルディスカ ッションを行いました。

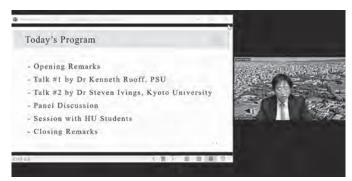
このほか、MJSP副課程長の佐々田 博教教授がファシリテーターとなっ て, MJSP卒業生で現在は本学大学院 修士課程に在籍するJames LETSON さん (文学院), Fernando URSINEさ んとNetta HONGISTOさん(公共政 策学教育部)の3名が、それぞれ日本

留学の背景や動機, 北海道での学生生 活, 現在の研究内容から今後のキャリ アの展望などについて紹介した上で. 参加者からの質問に答えました。

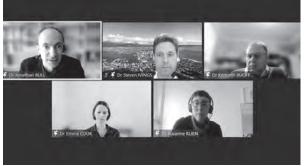
最後に、ポートランド州立大学国際 部エグゼクティブ・ディレクターの Ron WITCZAK氏が今後も日本への留 学と本学との連携強化を後押ししてい く旨挨拶し、閉会しました。

北米ポートランドオフィスでは、引 き続きポートランド州立大学とも協力 しつつ、両国の学生や研究者にとって 魅力的な様々な機会を提供していきま

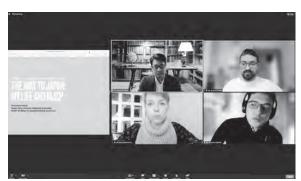
(国際部国際連携課)



司会進行を務める川野辺 北米ポートランドオフィス所長



パネルディスカッションの様子



学生によるMJSPセッションの様子

## ICReDD新棟 利用者への設計概要説明会をオンラインにて開催

サステイナブルキャンパスマネジメ ント本部(以下, SCM本部)では、 全学の施設整備事業への計画支援を行 っています。今回、創成研究機構化学 反応創成研究拠点 (ICReDD/アイク レッド)では、令和5年にアンダーワ ンルーフ型の研究環境を実現する新た な研究拠点として国際化学反応創成拠 点棟(以下、ICReDD新棟という)を 整備する予定で、SCM本部もこの新 棟整備事業に携わっています。本事業 は、施設部及び設計業務受託者である 株式会社石本建築事務所を中心に進め ており, 今秋, 実施設計をまとめたと ころです。

本実施計画を説明するため、施設部 及びSCM本部では、9月28日 (火), ICReDD新棟の利用者を対象とした設

計概要説明会をオンラインにて開催し ました。ICReDDの研究者を始め、株 式会社石本建築事務所の設計者, SCM本部に関わる教職員. 施設部職 員等を合わせて55名が参加しました。

ICReDD新棟は「イノベーションを 共創し、大学・社会へ持続的に貢献す るサステイナブル・ラボ」をテーマ に、「快適性・生産性向上」「環境配 慮」「資産価値向上」「大学・社会へ の貢献」の4つの視点を重視して設計 され、従来施設の50%以上のエネルギ -効率を実現する「ZEB(ネット・ゼ ロ・エネルギー・ビル) Ready」相当 のサステイナブル建築を計画していま す。

説明会において、前田 理ICReDD 拠点長は「念願であったアンダーワン

ルーフの環境の下, 新棟を中心に研究 活動を展開し、将来的にノーベル賞ク ラスの研究に繋がるよう, 全研究者一 丸となって邁進していきたい」と述べ ました。

ICReDD新棟は、北キャンパスの創 成科学研究棟付近への建設を予定して おり、令和5年3月の完成を目指して います。新棟整備が、ICReDDの先端 的研究の飛躍的な推進に繋がるととも に、本学SDGs推進のフラッグシップ となるよう、整備事業を進めてまいり ます。

(施設部・サステイナブルキャンパス マネジメント本部)



ICReDD新棟:外観イメージ



ICReDD新棟: 内観イメージ

※イメージは計画段階における案であり、変更の可能性があります

## 異分野meetup 2021を開催

本学は,室蘭工業大学,帯広畜産大 学, 北見工業大学, 株式会社アミノア ップ、日東電工株式会社と共に、北海 道ダイバーシティ研究環境推進ネット ワーク (通称: KNIT) として, 科学 技術人材育成費補助事業(文部科学 省) 「ダイバーシティ研究環境実現イ ニシアティブ」に採択され、北海道地 域におけるダイバーシティの推進を目 指し. 人材育成本部ダイバーシティ研 究環境推進室が中心となり様々な取組 を行っています。

その一環として、9月13日(月)~ 10月3日(日)に、異分野meetup 2021 をオンラインで開催しました。本イベ ントは、異分野の研究者との交流を促 進し、新たな共同研究の芽を育むこと を目指しています。昨年度の異分野 meetup week 2020に引き続き, 今年度 も新型コロナウイルス感染症の状況を 鑑み、オンラインでの開催となりまし た。

期間中は, KNIT共同研究助成採択 チームによるポスター掲示や交流会, 4つの研究領域をピックアップした研 究サロン. 各連携大学主催のダイバー シティに関連するセミナーや座談会を 開催しました。

イベント終了後、交流会参加者から は、「普段関連のない分野の方々の研 究テーマについて数多く聞くことがで き. 興味深い時間を過ごせました。」 「普段交流の無い方々の研究テーマを 伺う事ができ新鮮でした。」「他の研 究者の研究の進め方や悩みが共有でき ました。」などの声が寄せられました。

異分野meetup 2021オンライン会場 への参加登録者は65名となり、4つの 研究サロンには延べ67名の参加、共同 研究助成採択チームによる交流会には 延べ37名の参加がありました。

なお, 本イベント開催に併せてKNIT 連携大学間の知の交流を目的に、各大 学の研究シーズ集の編集を担当してい

る部門へ取材を行い、紹介記事「研究 シーズ特集」を作成しました。北海道 の様々な地域に拠点を構える, 連携機 関の大学が保有する知の特色や、発信 のために行っていること、知へのアク セス方法について、KNITウェブサイ トに掲載しています。

KNITでは, 今後も様々な分野で活 躍する研究者の交流を図ってまいりま すので、引き続きのご理解とご協力を よろしくお願い申し上げます。

KNIT トップページ:

https://knit.synfoster.hokudai.ac.jp

異分野meetup2021開催報告URL https://knit.synfoster.hokudai.ac.jp/ article/3461

(人材育成本部)



異分野meetup2021広報用ポスター



オンライン開催の様子



開催報告はこちらからご覧ください

#### ■部局ニュース

## 文学研究院FD「アイヌ民族に関する理解と差別・ハラスメントの予防の ために~マイノリティー・抑圧・差別を見える化する~」を開催

文学研究院では、5月に開催された FDに引き続き、10月15日(金)に 「アイヌ民族に関する理解と差別・ハ ラスメントの予防のために~マイノ リティー・抑圧・差別を見える化す る~」を、本年度第2回目のFD研修 としてZoomによるオンライン形式で 約1時間にわたり実施しました。本FD はアイヌに出自をもつ学生や教職員に 対するハラスメント防止 (予防) に係 る知見を得ることを目的としたもので す。講師は、アイヌ・先住民研究セン ターの落合研一准教授と北原モコット

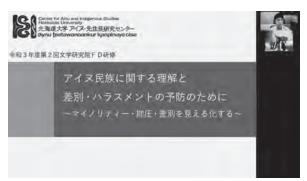
ゥナシ准教授です。

内容は、まず落合准教授から人種・ 民族・国民のそれぞれの概念、さらに 「先住民族の権利に関する国際宣言」 についての説明、アイヌ民族と近代国 家日本との歴史的経緯, アイヌ施策推 進法についての説明がありました。続 いて北原准教授が担当された, 「アイ ヌ民族に対する差別・ハラスメントに ついて | と題する後半では、「レイシ ャル・ハラスメント」の具体的な事例 と予防法について紹介があり、さらに 差別・ハラスメントの不可視性につい

ての詳しい説明がありました。また最 後に今後, 本学が取り組むべき具体的 な提案がなされました。

両先生の講義の後の質疑応答の時間 では、活発な議論がなされ、参加者か らの提案もありました。今回のFDに は研究院内の教職員75名がZoomで参 加し, アイヌ民族に対する差別・ハラ スメントの予防のために必要なことは 何かを改めて認識することができまし

(文学研究院)



FD研修はZoomにより実施



司会の文学研究院の藏田伸雄副研究院長



講師のアイヌ・先住民研究センター 落合准教授



講師のアイヌ・先住民研究センター 北原准教授

## 教育学院・教育学部でESDキャンパスアジア・パシフィック プログラム2021 Ⅰ及びⅡを開催

教育学部では毎年, 双方向型短期 留学支援事業, ESD (Education for Sustainable Development) キャンパ スアジア・パシフィックプログラムを 5か国6大学の間で開催しています。 本プログラムは海外生活をサポートし 合う「バディ・プログラム」を特徴と しています。コロナウィルスの影響に より, バディ・プログラムについては 本年度は未実施ですが、8月17日(火) から19日(木)までリアルタイムオン ライン及び23日(月)までオンデマン ドにて「オリンピズム, 多様性, 社会 変革」をサブテーマとして実施しまし た。さらに,教育学院の授業科目 「ESDキャンパスアジア・パシフィ ックプログラム2021 Ⅱ (ESDリーダ ーズグローバル教育プログラム)」を 新規に開講し、下記の講義を共有して

第1日目は、イギリスのドゥ・モン フォート大学のマーティン・ポリー先 生により、トップアスリートによる競 技中心の近代オリンピックが相対化さ れ、中世の商工業者組合が主要な参加 の担い手となり、現在も英国コッツウ ォルズ地方のチッピングカムデンのお 祭りとして親しまれている「コッツウ ォルズオリンピック | について講義さ れました。肥大化した商業主義、グロ ーバル社会における利益誘導に翻弄さ れる近代オリンピックから, 地域の 人々にとって大切なスポーツ的営みに 回帰するための歴史的視点がもたらさ れました。

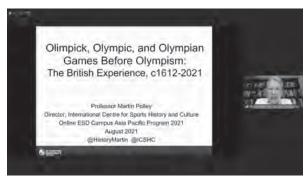
第2日目は、カナダのマニトバ大学 のラッセル・フィールド先生により 「スポーツと社会正義, 平和, 開発と スポーツ」について講義されました。 SDGsの掲げる目標には平和で包括的 な社会の促進が含まれています。スポ ーツを通じた人々の共同は特に紛争地 域における国際問題解決や人権擁護に 貢献する側面があります。同時に国際 的なスポーツがもたらす問題点につい て指摘されました。また、英国のマル コム・マックリーン先生により世界の 先住民族問題を含む, より包括的な SDGsと国際スポーツが抱える諸問題 について講義されました。

オンデマンド講義では北大の柚木孝 敬准教授が,心肺(全身)持久力の向 上と疾病罹患率の関係について講義 し、山崎貴史講師が、オリンピックが もたらす都市空間の改良とそれによる 社会的格差の観点について講義しまし た。これにより、いずれもESDの基本 理念と社会的取り組みの必要性を促 し、社会文化的・歴史的観点を踏まえ た分析的な視野を養っています。

パラレルセッションでは、国籍・民 族の境界を越えて議論できる小グルー プに分け, 実践的な討論の機会を設 け、受講者はその成果を最終日のグル ープ・プレゼンテーションで披露しま した。

このようにコロナ禍にあっても、国 際協働教育を推進し、これまでのESD プログラムの成果を踏襲しつつ、継続 的な学習・研究の促進につながったと 言えます。

(教育学院・教育学研究院・教育学部)



イギリスよりポリー先生の講義



イギリスよりマックリーン先生の講義



カナダよりフィールド先生の講義



最終日のグループプレゼンテーションの様子

## 理学研究院が上富良野町と「相互協力協定」を締結

理学研究院と上富良野町は, 防災, 学術文化, 地域発展, 教育等の各分野 で協力し,成果の共有と利活用を図る ことを目的として、10月1日(金)に 相互協力協定を締結しました。

上富良野町と本研究院との協力関係 は、昭和37年の十勝岳の噴火に際し、 上富良野町内で地球物理学教室(当 時)が臨時観測を行ったことに始まり ます。昭和63年の十勝岳の噴火の際に

は、白銀荘を拠点として全国連携の観 測研究を実施しました。また、平成15 年に十勝岳火山観測に係る通信設備を 上富良野町内に設置し, 長年にわたり 上富良野町で研究観測を継続してきま した。

上富良野町が十勝岳一帯の日本ジオ パークへの登録申請を目指しているこ とを踏まえ、将来の噴火活動に備えた 町民の防災意識向上や火山学的知識の 普及等への協力要請があり、協力関係 をさらに発展させることは研究活動の 観点からも有意義であることから、協 定締結が実現しました。

今後, 本研究院と上富良野町が相互 に協力し、防災、教育等の面で地域貢 献を推進すると共に,火山観測や調査 研究をさらに進めてまいります。

(理学院・理学研究院・理学部)



協定書を手にする橋本武志地震火山研究観測センター長 (左)と網塚 浩理学研究院長(右)

## 北海道大学物質科学フロンティアを開拓する Ambitiousリーダー育成プログラム8期生採用式を開催

9月29日(水), 北海道大学物質科 学フロンティアを開拓するAmbitious リーダー育成プログラム (以下, ALP) 8期生4名の採用式を執り行い ました。ALPとは物質科学を中心に分 野横断的に学び, 社会人として高い能 力を養い、学位取得後には学術・研究 機関だけではなく民間企業など社会の 広い分野で国際的に活躍する人材を育 成するための教育プログラムです。特 に, 数理科学と科学技術コミュニケー ション教育に力を入れています。2020 年3月に文部科学省の補助金事業とし

ての期間は終了しましたが、北大の事 業として継続して活動しています。

会場となったのは90年の歴史がある 理学部本館大会議室です。第8期生と して採用された4名の大学院生に山口 淳二理事・副学長(プログラム責任 者)から「プログラム生認定書」が手 渡され、祝辞の挨拶がありました。続 いて、長谷川晃名誉教授からウェルカ ムセミナーとして「科学の秩序学」と 題してオンラインレクチャーがあり, 法学研究者として研究倫理とは何か, 正義とは何かについて解説がありまし

その後、履修ガイダンスが行われ、 プログラムコーディネーターの石森浩 一郎教授(ALPコーディネーター, 北 海道大学副学長) からプログラムの概 要が説明されました。

詳細はhttps://phdiscover.jp/phd/ article/1193をご覧下さい。

> (総合化学院・理学院・工学院・ 環境科学院・生命科学院)

#### 式次第

- · 8期生採用式
- · Ambitious研究倫理セミナー(長谷川晃 北海道大学名誉教授)
- ・履修ガイダンス (石森浩一郎 理学研究院教授)



山口理事・副学長による祝辞



長谷川名誉教授によるレクチャ-



石森教授による履修ガイダンス



8期生(後列)集合写真

## 医学研究院·化学反応創成研究拠点(WPI-ICReDD) 合同シンポジウムを開催

化学反応創成研究拠点(ICReDD/ アイクレッド)では、昨年12月に開催 した理学研究院との、また、本年4月 に開催した工学研究院・情報科学研究 院との合同シンポジウムに続き, 医学 研究院との合同シンポジウムを10月15 日(金)にオンライン形式により開催 いたしました。本シンポジウムは、化 学反応創成と医学・生命科学の分野間 の相互理解を深め、研究者間の交流を 図ることで,新たな共同研究や連携の 機会とすることを目的としています。

シンポジウムは、寳金清博総長、畠 山鎮次医学研究院長の開会挨拶に続

き, 4つのセッションに12名の講演者 が登壇し, 多分野に及ぶ最先端の研究 発表を行いました。それぞれの講演に 対し、総勢177名 (オンライン登録164 名, 現地参加13名) の様々な分野の研 究者が, 活発な議論や質疑応答を行 い、今後の分野を超えた融合的研究へ の可能性が期待される良い機会となり ました。最後に、前田 理ICReDD拠 点長から閉会挨拶が行われ、シンポジ ウムは盛会裏に終了しました。終了 後、1ヶ月間オンデマンド動画配信を 行いました。

ICReDDでは、様々な分野の研究者

との融合研究を展開するため、今後も このような形で各部局とのシンポジウ ムを開催していく予定です。

(医学研究院・化学反応創成研究拠点 (ICReDD))



講演者とスタッフ

#### 講演一覧

セッション1

- 1. 前田 理 教授 (ICReDD) "Artificial force induced reaction method: A computational approach for exploring chemical reactions based on quantum chemical calculations"
- 講師(北海道大学病院)"Clinical development and commercialization of ultrapurified alginate (UPAL) gel transplantation for articular cartilage injury"
- 教授 (ICReDD) "Chemistry for sensing and utilizing mechanical force"

セッション2

- 4. 龔 剣萍 教授 (ICReDD) "Challenges and opportunities of hydrogel research in ICReDD"
- 5. 田中 伸哉 教授(ICReDD・医学研究院)"Application of multi-functional hydrogel for biomedical research"
- 6. 小松崎 民樹 教授 (ICReDD) "Acceleration of measurements preserving diagnosis accuracy by reinforcement learning: Raman imaging and medical applications"

セッション3

- 7. 長谷川 靖哉 教授(ICReDD) "Cancer-imaging system using luminescent lanthanide complex"
- 8. 平田 健司 准教授(医学研究院) "Artificial intelligence in positron emission tomography"
- 9. 樋田 泰浩 准教授(北海道大学病院) "Expanding the application of near-infrared photoimmunotherapy of cancer"

セッション4

- 10. 谷口 浩二 教授(医学研究院) "Inflammation-induced regeneration and cancer"
- 11. 瀧川 一学 特任准教授 (ICReDD) "Machine learning for molecules"
- 12. 福原 崇介 教授 (医学研究院) "Establishment of a simple high-speed reverse genetics system for SARS-CoV-2"



寳金総長からの挨拶



会場から配信の様子(座長の武次教授)



前田ICReDD拠点長からの挨拶

## 保健科学研究院公開講座 「ようこそ!ヘルスサイエンスの世界へ」を開催

保健科学研究院では11月3日(水・ 祝) に. 「ようこそ! ヘルスサイエン スの世界へ」というテーマのもと、対 面とオンラインによる初のハイブリッ ド形式で公開講座を開催しました。

今年は、保健医療を担う女性講師陣 3名が各々専門とする研究を紹介し, 69名が参加されました。初のハイブリ ッド形式での開催ということもあり. 参加者の皆様へはご迷惑をお掛けして しまい、大変申し訳ない場面もありま したが、皆様のお陰様で何とか盛会の うちに終えることができました。

初めに、田髙悦子教授が「認知症予 防の10か条」と題して、健康的な生活 習慣や食生活のほか、日々の暮らしの

中での楽しみ・生きがいの重要性や人 とのつながりが認知機能へ与える影響 などについて, 最新の知見をもとに講 演しました。

続いて、髙島理沙講師が「好きなこ とをして健康に!?」と題して,「作 業」とは何かという作業療法士ならで はの視点による話から、新型コロナウ イルス禍における社会生活がシニア世 代の日々の生活にどのような影響を与 えているのか, 自身の研究を紹介しな がらわかりやすく講演しました。

最後に、荒木敦子教授が「自宅の生 活環境を見直そう」と題して、ハウス ダストなどによる室内環境の悪化や化 学物質を含む建築材等, さらにはダン

プネス (局所における過度の湿気) が 人体に与える影響やそれらへの対策な どについて, 自身の研究チームによる 調査結果などを交えながら講演しまし

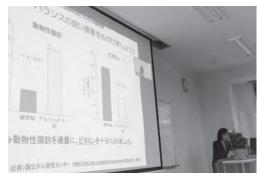
参加者からは大変好評を博し、様々 な質問があり、各講師はわかりやすく 丁寧に解説を行いました。

今後も毎年、その時代を反映するよ うなテーマや、興味を持って参加いた だけるようなテーマを設定して、公開 講座を開催していく予定です。

(保健科学研究院)



伊達広行研究院長からの挨拶



対面での講演の様子



会場の様子



リモートでの講演の様子

## 令和3年度水産学部公開講座「海をまるごとサイエンス! | が終了

水産学部では7月10日(土)から9 月20日 (月・祝) の期間で公開講座 「海をまるごとサイエンス!」(全5 回)を開講しました。今年度は新型コ ロナウイルス感染症の対策のため、前 半3回は函館キャンパス内講義棟大講 義室での対面講義及びオンラインでの 講義を同時開催,後半2回はオンライ ンのみの開催とし、延べ332名が受講 しました。

本講座は今年で35回目の開催となり ました。今年度は、毎年参加されてい

る道南地域の方々だけでなく、オンラ インも同時に開催することで全国から 水産学部に興味のある高校生の参加も 多数見られました。

函館と深い関わりのある水産学につ いて、本学の教員が水産学部で行って いる「海・川・湖を舞台とした総合的 な理科(生物学,化学,物理学,地 学) の教育研究をテーマにした多様 な研究内容について紹介する講義を行 いました。

講義の最後に設けている質問コーナ

ーでは、毎回熱心な質問や意見が寄せ られ、オンライン参加した高校生から も好奇心に満ちた質問が寄せられまし た。

対面とオンラインの同時開催は初め ての試みで、試行錯誤の連続でした が、直接来学できない方々にも多数受 講いただける, 貴重な機会となりまし

(水産科学院・水産科学研究院・水産学部)

#### 各回の講演題目と講師

第1回「プランクトンは海の語り部 変わりゆく極域」 水産科学研究院 助教 松野 孝平

第2回「"鳴音"を利用した水産資源のモニタリング」 水産科学研究院 准教授 安間 洋樹

第3回「魚介類は鮮度が大事!」

水産科学研究院 准教授 埜澤 尚範

第4回「北海道の磯魚たちのグレートジャーニー ~そのルーツとルートを探る~」

北方生物圏フィールド科学センター 教授 宗原 弘幸 水産科学研究院 教授 細川 雅史

第5回「人々の健康を守る水産食品」



オンライン上で開講の挨拶(木村暢夫研究院長)



対面講義の受講風景

## 国際広報メディア・観光学院が教育・研究交流を目的に 「TLLPスタディセッション」を開催

国際広報メディア・観光学院では. 10月21日 (木) に「タンデム・ラン ゲージ・ラーニング・プロジェクト (Tandem Language Learning Project: TLLP) ・スタディセッション2022 | を開催しました。

TLLPとは、国際広報メディア・観 光学院、メディア・コミュニケーショ ン研究院、シェフィールド大学(英 国). リーズ大学(英国). ヘルシンキ 大学(フィンランド),メルボルン大 学(オーストラリア)の間で行われて いる教育・研究交流プログラムです。 このプロジェクトの目的は、①学生・ 教員を含めた双方の研究交流及び研究 ネットワークの構築、②研究遂行(デ ータ収集, インタビュー, 研究発表, 研究討論) のために必要となるアカデ ミックな言語スキルの獲得にあります。 具体的な教育プログラムの内容は, 両 大学の大学院生同士がペアを組み, 互 いに相手の研究のサポートをするタン

デム・ラーニング、またその進展をウ ェブ上で支援する教員のアドバイス・ システムが中心です。さらに、相互に 相手の大学を訪問して研究発表や教育 交流を行う「TLLPスタディセッショ ン」を年に1~2回開催しています。

昨年度に引き続きオンライン開催と なった本年度最初のスタディセッショ ンには、ヘルシンキ大学とメルボルン 大学に加えて、初めてハイデルベルク 大学(ドイツ)からの参加があり、例 年以上に多様な背景をもつ学生・教員 が参加しました。スタディセッション は、ヘルシンキ大学の布施倫英先生に よる講義や、計6名の大学院生による 研究発表など、オンライン開催のメリ ットを生かした活発な研究・教育交流 が行われました。TLLPの趣旨に基づ き、本学の学生は英語で、相手校の学 生は日本語で研究発表を行いました。 数か月にわたり、発表要旨、パワーポ イント、発表原稿などについてお互い の研究をネット上で研鑽してきた成果 が、スタディセッションで発揮されま

2014年以降開催されてきたTLLPス タディセッションも9年目を迎えまし た。今後も国際社会を舞台に活躍する 研究者を育成することを目指し, 海外 諸大学とのより活発な教育・研究交流 を続けていきます。

(国際広報メディア・観光学院, メディア・コミュニケーション研究院)



TLLPスタディセッションの様子

## メディア・コミュニケーション研究院で公開講座 「教育者・富所広吉の事蹟を追う」を開催

メディア・コミュニケーション研究 院では、10月8日(金)、Zoomにて公 開講座「教育者・富所広吉の事蹟を追 う」 (講師 伊藤孝行) を実施しまし た。

講師と参加者全員による簡単な自己 紹介の後、富所広吉(とみどころひろ きち、1859-1932) についての講義を 行いました。まず, 北海道大学附属図 書館に所蔵されている小樽盲唖学校の 同窓会報『北星』という点字による本 の紹介があり、その『北星』を北海道 大学附属図書館に寄贈した人物が当時 小樽盲唖学校第3代校長(兼理事)で あった富所であった話をしました。次 に講師が調査してきた富所の経歴につ

いて紹介をしました。1859年越後国に 生まれ、1888年北海道は江別に移り、 北越殖民社に所属した後、札幌に転居 し私立学校時習館を開校して育英の業 に従事し、貧しい家庭の子どもには無 月謝で教育したこと, トキワ松学園の 創立者として名高い三角錫子と結婚・ 離婚したこと, 私立小樽女子実業学校 や札幌実業女学校を開校したこと. 北 海中学(現北海学園)の前身の創立に 大きく携わったこと、現在の札幌市議 会議員を務めたこと等、富所の事蹟を 詳細に追う内容でした。

オンライン開催により、 札幌や道内 のみならず道外からの参加もあり, 受 講者各位からは富所という人物を初め

て知った, 北海道で活躍した教育者に ついて理解が深まった等々、満足度の 高い評価が寄せられました。

(メディア・コミュニケーション研究院)



授業の様子

## 防火・防災訓練を実施

#### 獣医学研究院で防火訓練を実施

獣医学研究院では、10月12日(火) に防火訓練を実施しました。

今回の訓練は,本研究院自衛消防隊 を主体とした通報、初期消火、避難誘 導等の訓練であり、非常時における学 生, 教職員等の安全確保を図ることを 目的とし、約200名が参加して行われ ました。

避難訓練では出火時における初動体 制の確立を目的として、午前11時30分 に総合研究棟2階の獣医内科実験室1 から出火したとの想定で始まり、 自衛 消防隊各班の訓練計画に基づいた職務 分担に従い, 通報, 初期消火, 避難誘 導等を行い、被害を最小限にくい止め る訓練を実施しました。

昨年度より蔓延している新型コロナ ウイルス感染症の感染拡大防止のため 模擬訓練が中心となりましたが一連の 防火訓練を行うことができました。

(獣医学研究院・獣医学部)



屋内消火栓放水(模擬)



避難集合状況

#### 附属図書館で防災訓練の実施

附属図書館本館では、10月22日(金) に、図書館利用者及び職員78名が参加 して防災訓練を実施しました。午前11 時に地震が発生し、東棟1階空調機械 室から出火したとの想定のもと行われ ました。

英語による館内放送並びに掲示も行

い. 火災発生後. 直ちに通報連絡係. 避難誘導係, 消火係, 防護措置係, 救 護係、搬出係の自衛消防隊の各担当に 分かれ、現場の確認、消防署への通報 (模擬), 非常放送, 避難誘導, 消火 活動等, 実践さながらの訓練を行いま した。

防災訓練に続いて防災設備業者の指 導のもと、避難器具、消火器具の取扱 説明及び実地訓練を実施し、使用方法 についてより一層の理解を深め、一連 の訓練を無事に終了しました。

(附属図書館)



避難する図書館利用者



避難梯子の説明を受ける職員

## 獣医学研究院及び人獣共通感染症国際共同研究所で動物慰霊式を挙行

獣医学研究院及び人獣共通感染症国 際共同研究所では、10月4日(月)に 獣医学研究院講堂において, 動物慰霊 式を執り行いました。慰霊式は研究・ 教育のために提供された動物や附属動 物病院で治療の甲斐なく死亡した動物 の御霊に対し追悼の意を表するととも

に、獣医学発展の陰に多数の動物の尊 い生命が犠牲にあることを厳粛に受け 止め、生命への畏敬と倫理的責任感を 啓発することを目的としたもので、教 職員, 学部・大学院学生のほか, 飼い 主等約60人が参列しました。

はじめに、動物の御霊に対して黙祷

を捧げた後、滝口満喜研究院長の式 辞,参列者による献花,片桐成二附属 動物病院長による講話が行われ、厳粛 のうちに慰霊式を終了しました。

(獣医学系事務部)



式辞を述べる滝口研究院長



講話を行う片桐附属動物病院長

## 動物慰霊式を挙行

遺伝子病制御研究所では、10月12日 (火),遺伝子病制御研究所セミナー 室において昨年9月からの1年間に学 術研究の礎として実験に供せられた動 物の御霊を慰霊するため, 動物慰霊式 を執り行いました。

今年度も昨年度と同様、新型コロナ ウイルス感染症拡大防止のため, 挨拶 をメール配信にて行い、 献花を各自行

っていただく等、式の規模を縮小して 執り行いました。献花には研究所教職 員、大学院生・学生等関係者が参列し ました。また、配信された挨拶では、 田中一馬所長から、生命の尊さを常に 考え、動物福祉に一層配慮した研究態 勢を考えていくことを願う旨の挨拶が ありました。髙岡晃教動物実験施設長 からは、実験に供された動物の数につ

いての報告と共に、動物の命へ感謝を 述べる旨の挨拶がありました。

この動物慰霊式を通して、参列者全 員が生命の尊厳, 倫理観について改め て認識し、厳粛のうちに慰霊式を終了 しました。

(遺伝子病制御研究所)



献花を行う田中所長



献花を行う髙岡施設長

## 総合博物館による動画制作と公開(1)

2020年3月以降のコロナ禍におい て,総合博物館では大学の行動指針と 北海道や札幌市からの要請に基づいて 臨時休館期間を設け、開館時には徹底 したコロナ感染防止対策を講じて運営 しています。さらに、このような社会 状況での博物館活動の展開を検討し, 活動を紹介する動画制作を本格化し,

総合博物館公式YouTubeチャンネル で公開しています。

総合博物館が創立20周年を記念して 出版した『北大総合博物館のすごい標 本』(北海道大学総合博物館編・北海 道新聞出版 2020年) に関連して、小 澤丈夫館長を始めとする執筆者達が, 築90年余りの博物館の建物や、古生物

や考古学など各分野の標本や展示室, 収蔵庫を解説するシリーズ動画もその 一つです。2021年10月末時点で公開さ れたのは次の9分野47編,いずれも2 分から5分程度の短編であり、他分野 の動画制作も検討されています。

(総合博物館)

#### 『北大総合博物館のすごい標本』関連動画

書籍紹介・建築編(小澤丈夫館長)

書籍紹介、博物館の立地、外観、エントランス、中央階段、柱と梁、旧理学部長室、アインシュタインドーム 古生物編 (小林快次教授)

古生物の部屋、ニッポノサウルス、マチカネワニ、タルボサウルス、デスモスチルス

植物編(首藤光太郎助教)

植物標本の世界、植物標本庫、植物標本庫の歴史、植物標本の展示、未整理標本群、 お宝標本、タイプ標本

考古編 (江田真毅准教授)

香深井遺跡とオホーツク文化、香深井遺跡出土のヒグマの頭骨、香深井遺跡出土の針入れ、 考古学ラボと遺物カード、北大キャンパスの土層剥ぎ取り標本

藻類編(阿部剛史准教授)

北大総合博物館の藻類標本、藻類標本収蔵庫、標本棚の秘密、海藻標本庫の歴史、 貴重な標本群

鉱物·岩石編(山本順司准教授(前))

地球環境を四次元的に体感する展示室. 地球環境の化石が詰まった鉱物収蔵庫.

石が記憶している深さを読み取る分析法、石が記録している年代を読み取る分析法 昆虫編(大原昌宏教授)

生物標本展示室、ウスバキチョウ、アリクイエンマムシ、クモフンバエ、ヨトウガ 脊椎動物編(柁原宏(理学研究院准教授),資料部研究員)

無脊椎動物,節足動物~ミズムシ,紐型動物門-シンタヒモムシ,内田教授の標本~ミズダニ 菌類編 (小林孝人資料部研究員)

きのことは何か?, オオキヌハダトマヤタケ, 菌類標本庫, 光学顕微鏡による胞子の観察



『北大総合博物館のすごい標本』関連動画の一部

## 総合博物館による動画制作と公開(2)

『北大総合博物館のすごい標本』関 連動画の他にも,来館前に視聴してい ただくためのガイダンス動画「Museum Guide」(12分59秒)をミュージアム マイスターの遠藤優さん(理学院博士 課程1年)と森本智郎さん(理学院修 士課程1年)と共に制作しました。開 館時間やアクセスなど基本情報と展示 構成を紹介するだけでなく. 日本にお ける大学博物館の設立経緯やその使 命、総合博物館の研究・教育・活動の 特徴を説明し、遠藤さんと森本さんが 考える博物館の魅力を伝えています。

また、大学院の授業「博物館コミュ ケーション特論 学生発案型プロジェ クトの企画・運営・評価」(指導:湯 浅万紀子教授)の受講生14名が制作し た動画「おいでよ、北大総合博物館~ 北大生から見た魅力」も公開していま す。受講生達は、来館できない社会状 況でも多くの方に動画を通して博物館 に親しんでいただきたいと考え. 「学 生が活躍する大学博物館としての一 面」をより強調するスタンスをとり、

彼らが考える博物館の魅力を伝えてい ます。グループに分かれて制作した動 画は次の3テーマ、4編です。

学部展示で見えてくる北大のおもしろ 研究(6分1秒)

#### 文学部展示:

サハ共和国での野生トナカイの移動 ルートに関するフィールドワークに基 づく研究

#### 理学部展示:

サンゴの骨格標本から過去の気候を 明らかに関する喜界島での研究と北大 の苫小牧宇宙電波観測研究所に設置さ れた電波望遠鏡の仕組みと特徴

#### 農学部展示:

イグノーベル賞を受賞した雌雄の交 尾器官が逆転する昆虫トリカヘチャタ テの研究解説と見所

それぞれ担当の立澤史郎助教(文学 研究院), 渡邊剛講師(理学研究院), 徂徠和夫教授(理学研究院), 吉澤和 徳准教授(農学研究院), に監修して いただきました。

「北大 ポプラよみがえり秘話」は 「並木編」(5分1秒)と「チェンバ 口編」(9分43秒)から構成し、2004 年の台風で倒れた北大のポプラ並木の 再生と、ポプラが部材として使用され チェンバロとして甦った経緯. 博物館 で管理しているこのチェンバロの仕組 みと特徴について, 北大大学院にこの 4月から入学した学生を案内するスタ イルで解説しました。博物館ボランテ ィアの新妻美紀さんによる演奏も収録 しました。

「知られざる化石ボランティアの活 動を覗いてみた」(7分4秒)は、博 物館ボランティアの姿を伝えたいと. 化石グループの活動を紹介しました。 ボランティアへのインタビューでは. 探究心と好奇心に満ちた活動への思 い、日常生活とは別の場で活動するこ との意味, グループ担当の小林快次教 授やさまざまな年代のメンバーや学生 との交流の喜びが語られました。

総合博物館の公式YouTubeチャン ネルをぜひご覧下さい。

(総合博物館)





学部展示で見えてくる北大の おもしろ研究 / 2021学生企...



北大 ポプラ よみがえり秘話 2~チェンパロ編~ / 2021...



北大 ポプラよみがえり秘話1 ~並木編~ / 2021学生企...



の活動を覗いてみよう /\_

博物館ガイダンス動画と、学生企画動画「おいでよ、北大総合博物館~北大生から見た魅力」

# 学生によるミュージアムグッズの企画開発 ートートバッグ、サコッシュ2点、豆皿--

大学院の授業「博物館コミュニケー ション特論 ミュージアムグッズの開 発と評価」では毎年、学生達による総 合博物館オリジナルのミュージアムグ ッズが企画開発されています。2020年 度のこの授業では4つの新しいグッズ を開発し、ミュージアムショップぽと ろとオンラインショップで販売されて います。

トートバッグ「Go-to Museum Tote 2020 ミュージアムぜんぶのせ」は、 黒地に博物館の各種標本をコラージュ したデザイン。昆虫,植物,古生物, 魚類などモチーフには展示されている 標本も多く、総合博物館が扱う分野の 幅広さを伝えています。2017年度の授 業で開発されて人気商品となった総合 博物館の建物と北海道の動物たちをモ チーフにした生成りのトートバッグに 続くシリーズです。

サコッシュは「オオバナノエンレイ ソウ」と「鈴木・宮浦クロスカップリ ング」の2種類です。前者は総合博物 館の首藤光太郎助教が採取したオオバ ナノエンレイソウの腊葉標本を受講生 がスケッチして, サコッシュ本体に配 しました。生成りの布地に細密なスケ

ッチが映える仕上がりです。後者はノ ーベル化学賞を受賞された鈴木 章名 誉教授の鈴木・宮浦クロスカップリン グの代表的な反応式とその実験で用い られる器具を実験手順に沿ってデザイ ンました。黒地にグレイの図柄のコン トラストが効いています。

「アインシュタインドーム・レリー フ豆皿」は、ショップに並ぶ初めての 豆皿であり、総合博物館3階の印象的 な空間アインシュタインドームに掲げ られた朝・昼・夕・夜を意味するレリ ーフをモチーフとした4枚1セットで す。手作りのため、風合いが1枚ごと に異なり, 豆皿の裏には「学生企画」 のロゴも焼かれています。

以上の4製品いずれにも、受講生に よるモチーフに関する解説シートが付 されています。

■Go-to Museum Tote 2020 ミュージ アムぜんぶのせ

サイズ他: 高さ(持ち手含む) 600mm 幅357mm 底マチ110mm 内 ポケットなし

価格:1,100円(税込)

■サコッシュ オオバナノエンレイソ ウ/鈴木・宮浦クロスカップリング

サイズ他:B5判大 中央スナップ留 め 内ポケットなし

価格:1,001円(税込)

■アインシュタインドーム・レリーフ 豆皿

サイズ: 直径 約7cm

価格: 4枚1セット 2.223円 (税込)

2020年度理学院専門科目·大学院共通 科目「博物館コミュニケーション特論 ミュージアムグッズの開発と評価」 担当学生:アフィファ・マフド (生命 科学院), 岡田えみり (文学院), 片岡美菜・高田健太郎(理学 院), 小宮山葵・張元昊・宮本 瑛子 (工学院)

監修:サコッシュ/オオバナノエンレ イソウ;首藤光太郎(総合博物 館)、サコッシュ/鈴木・宮浦 クロスカップリング;山本靖典 (工学研究院)

協力:豆皿;障がい者就労支援事業所 いるげ28

指導;湯浅万紀子(総合博物館)

(総合博物館)



Go-to Museum Tote 2020 ミュージアムぜんぶのせ



サコッシュ/鈴木・宮浦クロスカップリング



サコッシュ/オオバナノエンレイソウ



アインシュタインドーム・レリーフ豆皿

# スラブ・ユーラシア研究センターで2021年度公開講座「メロドラマ するロシア:アジアとの比較から考える大衆文化の想像力 | を開催

スラブ・ユーラシア研究センターで は、10月4日(月) から22日(金) にかけて全6回の公開講座「メロドラ マするロシア: アジアとの比較から考 える大衆文化の想像力」を開催しまし た。当初2020年度に予定されていたこ の講座も新型コロナウイルス感染症拡 大の影響を免れず, 今年度に延期し, 時期も例年の5月から10月に変更、受 講料無料とするなど工夫を重ね、Zoom ウェビナーを使ったセンター初のオン ライン公開講座として開講しました。

第1回では、講座の背景や目的、学 習内容についての説明の後、フランス で流行したメロドラマ演劇が19世紀の ロシアで受け入れられた経緯やその後 の歴史を概観しました。

第2回は中国の文学・演劇・映画に おけるメロドラマの系譜をたどり、そ こで女性の身体が果たしている役割に ついて, 『「救国の妓女」幻想』をキ ーワードに解説しました。

第3回では、当初は悲劇的な結末だ ったバレエ「白鳥の湖」が、ソ連時代 になるとハッピーエンディングのメロ ドラマへと改変された過程に、社会主 義文化の影響を指摘しました。

ソ連の話題は第4回に続き、メロド ラマ映画を背景となる住宅様式の変化 を踏まえながら分析し、住居空間の細 部が人間関係や社会問題を強調して見 せる点でハリウッド映画と似ているこ とを示しました。

第5回は現代インドに場所を移し, 女性をめぐる様々な社会問題を論じた 後. ネット配信のドラマ『Made in Heaven』に見られる女性の新しい生 き方について考察しました。

最終回となる第6回では、帝政期口 シアのメロドラマ映画と日本の新派映 画の比較を行い、ロシアの文芸作品が 日本で再解釈されてメロドラマ映画へ と「越境」する多様な姿を観ながら講 座は幕を閉じました。

従来のメロドラマ研究が欧米中心に 偏ってきたのに対し, 本講座は勧善懲 悪劇から恋愛映画まで、これまであま り知られてこなかったロシアのメロド ラマに光を当て、日本・中国・インド と比較して考える貴重な機会となりま した。メロドラマが同時代のアクチュ アルな問題と結びついて実に多様な形 をとりながら, 各地域の文化や社会の 特徴を反映していることを学びまし た。若手・中堅世代の一流の講師陣に よる, 最新の研究成果に基づきながら も双方向的でわかりやすい講義はとて も好評で、チャットやマイクを使った 質疑応答も盛り上がりました。受講者 数は最大で90名を超え、延べ385人の 方にご参加いただくなど、 札幌市民と 他地域の住民の交流の場を札幌発で提 供する,新しい市民講座のモデルを示 すことができました。

(スラブ・ユーラシア研究センター)



第1回講師の安達大輔准教授



講義の様子

# 低温科学研究所が「サイエンスレクチャー2021 宇宙にも氷がある って知ってた?~暗黒星雲に浮かぶ氷微粒子とその役割~」を開催

10月23日(土), 低温科学研究所 は、読売新聞北海道支社との連携講座 「サイエンスレクチャー2021」を低温 科学研究所講堂にて開催しました。

本講座では、コロナウイルス感染拡 大防止のため人数制限を行い、抽選で 選ばれた小中高校生25名とその保護者 の方々は対面で、抽選にもれた方はオ ンラインで参加しました。

開会式では、読売新聞北海道支社次 長の渡辺 亮氏から「北海道大学は国 内でも有数の教育機関であり、研究機 関でもある。そこで行われている研究 の一端を感じてほしいと思う。ぜひ今 回の講座を通じ、宇宙や科学への興味 を楽しみながら深めてもらいたい。」 との挨拶があり、続いて増田隆夫理 事・副学長から「自分の知識だけでは 分からない、見えていない知識や科学 が世の中にはたくさんある。それを知 る喜びを,本講座を通じて感じてもら

えると非常に嬉しい。」と挨拶があり ました。

その後、渡部直樹教授による「宇宙 の氷 | をテーマとした講座が開かれま した。参加者との対話を交えながらリ ラックスした雰囲気のもと、宇宙の極 低温領域で形成する氷微粒子の話や、 その氷微粒子が宇宙空間においてどの ような役割を果たすのか等の講演が行 われました。続いて、講演で話題に上 がった宇宙空間の極低温や真空に関す る理解を深めるため、液体窒素や特殊 な装置等を用いた実験も行われまし た。参加者は目の前で起こる現象を興 味深く観察し、素朴な疑問を発した り、ときには専門的なやりとりも交わ しながらいきいきした表情で参加して いました。閉会式では、福井 学低温 科学研究所長より参加者に認定証書が 手渡されました。

講座終了後は、希望者のみ、普段は

見ることができない研究室の様子や氷 点下50度の低温実験室が体験できる施 設見学を行いました。研究室で使われ ている最先端の機器や普段の生活では 体験できないような寒さを体験し、楽 しそうに参加する様子が見られまし

終了後のアンケートでは、「図鑑を 読むだけでは暗黒星雲の役割について 理解しきれなかったが、今回の講座で 理解できるようになった」、「とても 分かりやすく, 宇宙により興味を持っ た」, 「今回の経験を通じ, 北大に入 学して自分を成長させたいと感じた」 等, 宇宙や本学への関心が高まったと の声が多く、本講座への満足度が高か ったことが伺えました。

(低温科学研究所)



渡辺支社次長による挨拶





渡部教授による講演



実験の様子を熱心に観察する参加者

# 低温科学研究所が山口大学中高温微生物研究センターと連携協定を締結

10月27日(水), 低温科学研究所は 山口大学中高温微生物研究センターと 連携協定を締結しました。当協定は、 これまで長年にわたり培ってきた研究 協力関係を基盤として、より緊密で組 織的な連携関係を構築することによ り, 低温科学及び微生物学分野の研究 を発展させることを目的としています。 低温科学研究所で行われた調印式に おいて,福井 学低温科学研究所長は

化に伴う諸問題への微生物の活用や. 生活に密着した微生物についても研究 されており、協力して研究を進めるこ とで社会貢献が期待できる。相互の能 力及び人材を活かして総合力を発揮す ることにより、低温科学及び微生物分 野の研究と教育の発展に重要な役割を 果たしたい。」と抱負を述べました。

また、山田 守中高温微生物研究セ ンター長は、「当センターでは気候変動 も取り扱っており、特に中高温環境に

かかる研究においては、比較として低 温環境の研究も重要になってくるため, 低温科学研究所との連携を強化できる のは大変ありがたい。双方の研究所の 強みを活かして緊密な連携を行うこと により、今後より発展的な研究成果を 出していきたい。」と発言されました。

今後、双方の研究交流がますます活 発に行われることが期待されます。

(低温科学研究所)



「中高温微生物センターでは地球温暖

調印後の山田センター長(左)と福井所長(右)



調印式における関係者集合写真

# 人獣共通感染症国際共同研究所が山口大学中高温微生物 研究センターと連携協定を締結

人獣共通感染症国際共同研究所は. 10月27日(水),山口大学中高温微生物 研究センターと連携協定を締結しまし た。当協定は、人獣共通感染症に係る 様々な事業について、互いに連携・協 力を推進し、相互の研究開発能力及び 人材を活かして総合力を発揮すること により、わが国の学術研究と教育の発 展,科学技術の向上に,新たな重要な 役割を果たすことを目的としています。

人獣共通感染症国際共同研究所で 行われた調印式には, 山口大学から山 田 守中高温微生物研究センター長ら 4名, 当研究所からは鈴木定彦所長, 澤 洋文副所長ら4名が出席しまし た。調印式では、双方の得意分野を活 かして共同研究. 人材交流. 人材育成 等を推進することで、 相乗効果によ り、人獣共通感染症の研究・教育を発 展させていきたい旨、意見交換がなさ

れ、今後、研究者セミナーの開催等に より、交流の活性化を進めていくこと とされました。

今後、双方の研究活動の発展が期待 されるとともに、引き続き当研究所で は,人獣共通感染症の克服のため,国 内外の研究者との交流及び連携の促進 を図ってまいります。

(人獸共通感染症国際共同研究所)



調印後の山田センター長(左)と鈴木所長(右)



調印式における関係者集合写真

# 脳科学研究教育センターシンポジウム 第19回 「記憶・睡眠研究の最前線」を開催

脳科学研究教育センターは、10月19 日(火)に,第19回脳科学研究教育セ ンターシンポジウム「記憶・睡眠研究 の最前線 | (世話人代表:薬学研究院 教授 南 雅文)を開催しました。脳 科学研究教育センターには医学,薬 学, 理学, 工学, 保健科学, 文学, 教 育学など学内12部局の約30名が基幹教 員として参画しており、脳科学研究の 推進と、大学院講義、実習、合宿研修 などを柱とした教育活動を行っていま す。また、毎年、学内外の脳科学研究 者が参加するシンポジウムを開催して います。

今回のシンポジウムでは、「記憶と 睡眠」をテーマとし、最先端の脳科学 では睡眠中の神経活動が記憶の固定や 消去に重要な役割を果たしていること が明らかになってきておりホットな研 究領域となっています。シンポジスト は、最近、新しい研究環境に異動しPI として研究室を立ち上げつつある新進 気鋭の4名にお願いしました。大学の BCPレベルが「2」であったため、昨 年度に引き続きオンライン開催となり ました。

渡辺雅彦脳科学研究教育センター長 (医学研究院) による挨拶を皮切り に、下記のとおり講演が行われました。

◆乘本裕明 准教授(北海道大学医学 研究院)

講演「ドラゴンの徐波睡眠の神経機 構 |

…爬虫類であるAustralia dragon (以 下,ドラゴン)がレム睡眠と徐波 睡眠をとること, ドラゴンの徐波 睡眠の特徴としてsharp waveが 見られること, sharp wave発生 場所である背側脳室隆起前部が哺 乳類の前障 (claustrum) にあた ることが示され, 睡眠研究におけ るドラゴンの有用性を議論。

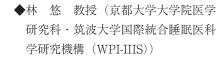
◆野村 洋 寄付講座教授(名古屋市 立大学大学院医学研究科)

講演「記憶の想起を促進させる神経 メカニズム」

- …記憶想起の神経機構に脳内ヒスタ ミン神経系が重要な役割を果たし ていること, 特に, 嗅周皮質神経 の自発活動を増大させることが重 要であることを紹介。
- ◆大川宜昭 准教授(獨協医科大学先 端医科学統合研究施設)

講演「エングラム細胞による記憶の 脳内処理過程」

…エングラム細胞とそれ以外の細胞 の活動を区別しながら個々の神経 細胞の活動を観察できる新たな実 験手法を用い、エングラム細胞が 作る複数のグループ活動の一部 が、新奇エピソード経験中のみな らず経験後の学習時や想起時に再 活動することでエピソード記憶情 報を脳内で処理, 固定化, 表現し ていることを示す研究成果を紹介。



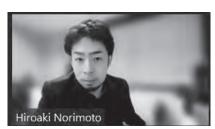
講演「なぜ動物は眠るのか?脊椎動 物と無脊椎動物の双方からのア プローチ

…レム睡眠を操作できるマウスを用 いた研究, 脳血流に注目したイメ ージングによる研究, 線虫での遺 伝学的アプローチによる研究を紹

最後に、渡辺センター長の講評があ り活況のうちに閉会となりました。教 員・学生71名の参加があり、オンライ ン上でも活発な質疑応答があり、大変 盛り上がりました。今回のシンポジウ ムが参加者の皆様の興味を満たすとと もに、学内外の研究の新しい展開につ ながっていくことを願っております。

センターのホームページ: http://www.hokudai.ac.jp/recbs/

(脳科学研究教育センター)



乘本准教授(北海道大学)



大川准教授 (獨協医科大学)



野村教授 (名古屋市立大学)



林教授(京都大学・筑波大学)

# ■諸会議の開催状況

### **役員会**(令和3年10月11日)

議 案・新たなポジティブアクション制度について

協議事項・全学運用教員の措置について

報告事項・令和4年度概算要求(財務省要求)について

### 教育研究評議会(令和3年10月20日)

議 題・総長選考会議委員の選出方法について

・「北海道大学大学院における研究指導に係る基本方針」の策定等について

報告事項・北海道大学ホームカミングデー2021の実施報告について

- ・大学間交流協定の改定等について
- ・令和4年度概算要求(財務省要求)について
- ・令和2事業年度財務諸表の承認について

#### **役員会**(令和3年10月25日)

案・ベンチャーキャピタルの設置について

- ・令和3年度国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況の報告について
- ・PI人件費制度の導入について

報告事項・時間外労働実績について

※規程の制定、改廃については、「学内規程」欄に掲載しています。

# ■学内規程

# 北海道大学北極域研究センター規程の一部を改正する規程

(令和3年10月29日海大達第148号)

北極域研究センター長に事故があるときの副センター長による代理の取扱いを明記することに伴い、所要の改正を行った ものです。

#### 北海道大学における講座等に関する規程の一部を改正する規程

(令和3年11月1日海大達第149号)

令和3年10月31日付けで、大学院医学研究院に置く寄附分野の存続期間が満了することに伴い、所要の改正を行ったもの です。

#### 北海道大学附属図書館規程の一部を改正する規程

(令和3年11月1日海大達第150号)

附属図書館の業務運営をより効率的に行うため、副館長の任期を改めることに伴い、所要の改正を行うとともに、併せて 規定の整備を行ったものです。

# ■研修

# 高等教育研修センターにて研修会を開催

高等教育推進機構高等教育研修センターでは、5~9月に以下のとおり研修会を開催しました。

#### オンライン授業実践におけるお悩み相談会 参加者:24名

開催日:令和3年5月7日(金)

開催方式:Zoomセミナー

受講対象者: 高等教育機関の教職員

開催概要:本セミナーは、オンライン授業実践に関する情報交換を行い、悩みを

打ち明け、互いにその解決策について考える事を目的として開催し た。分野や機関を異にするさまざまな方が参加し、授業改善に対する

ヒントを共有した。



オンライン授業実践におけるお悩み相談会

#### 画面越しのコミュニケーションにおける話し方研修 参加者:56名

開催日:令和3年8月5日(木)

開催方式:Zoomセミナー

受講対象者:高等教育機関関係者

研修概要: 本セミナーは、オンライン授業や会議において、画面越しの相手と上

手くコミュニケーションが取れない、対面よりも言いたいことが伝わ っていないと感じている方を対象に、画面越しの相手により伝わる話 し方のコツを学ぶために開催した。講義と実践を通じ、相手を動かす

話し方, 説明力の高め方, 印象を上げる映り方等を伝えた。



画面越しのコミュニケーションにおける話し方研修

#### 教育における異文化コミュニケーション 参加者:8名

**開催日**: 令和3年9月30日(木)

開催方式:Zoomセミナー

受講対象者: 高等教育機関の教職員

開催概要:本セミナーは、効果的な異文化コミュニケーションスキルを身に付

け、異文化を理解する上で注意しなければならないポイントや教員や 学生が抱える共通の問題 (カルチャーショックなど) 等の対処方法を 学ぶために開催した。参加者が抱える実際の悩み等についても議論し

ながら解決策を探った。



教育における異文化コミュニケーション

(高等教育推進機構)

# ■表敬訪問

# 海外

年月日	来 訪 者	来訪目的
3 .10. 8	駐日フィンランド大使館 Niina Väisänen一等書記官	両国の交流に関する懇談
3 .10.15	駐日インドネシア共和国大使館 Heri Akhmadi特命全権大使	両国の交流に関する懇談
3 .10.27	駐日ウクライナ大使館 Sergiy Korsunsky特命全権大使	両国の交流に関する懇談



Niina Väisänen 駐日フィンランド大使館一等書記官(中央右)



Heri Akhmadi 駐日インドネシア共和国特命全権大使(中央右)



Sergiy Korsunsky 駐日ウクライナ特命全権大使(左から2人目)

(国際部国際連携課)

# ▮人事

# 令和3年11月1日付発令

新 職 名(発令事項)	氏		名	,	旧職名(現職名)
【部局長・施設長等】 附属図書館北図書館長 (期間:令和4年3月31日まで)	稲	葉		睦	大学院獣医学研究院教授
【教授】 大学院理学研究院教授 サステイナビリティ推進機構教授	, .	井藤	••	樹悟	神戸大学准教授 (採用)

# 新任教授紹介

### 令和3年11月1日付



理学研究院教授に

雅樹 氏 松井

化学部門 無機・分析化学分野

生年月日

昭和51年12月4日

最終学歴

首都大学東京大学院都市環境科学研究科博士後期課程修了(平成20年3月) 博士(工学)(首都大学東京)

専門分野

無機材料化学、固体イオニクス材料、蓄電池、電析



サステイナビリティ推進機構 教授に

加藤

SDGs事業推進本部

生年月日 昭和44年7月9日

最終学歴

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了(平成9年3月) 博士(学術) (東京大学)

専門分野

環境学

# ■計報

# 特任准教授 久保 直樹 氏 (享年58歳)



特任准教授 久保直樹 氏は,令和 3年9月18日にご逝去されました。こ こに生前のご功績を偲び、謹んで哀悼 の意を表します。

先生は、昭和57年3月に北海道倶知 安高等学校を卒業後、同年4月に北海 道大学医学部附属診療放射線技師学校 に進学されました。同学校を卒業後. 同60年4月には、同大学医学部附属病 院放射線部エックス線助手に採用され ました。同病院放射線部診療放射線技 師, 同大学医療技術短期大学部助手, 医学部助手, 大学院保健科学研究院助 教を経て、平成23年4月にアイソトー プ総合センター准教授に昇任、同26年 4月から安全衛生本部特任准教授とし て採用されました。

先生のご専門は画像診断、とりわけ

ラジオアイソトープを用いた核医学機 能画像診断の領域です。心電図同期心 筋血流SPECT検査というのが、現在 臨床で広く利用されていますが、久保 先生はこの手法を利用し心臓ファント ムを用いて心機能の定量的解析ができ ることを早くから証明し、一流誌に掲 載しました。その成果が認められて平 成14年に博士(医学)を取得されまし た。その後も研究を推進させており、 北海道大学が先駆的に推進した先端融 合領域イノベーション拠点形成のプロ グラムの中では、複数の特許を取得 し. 大学の知的財産としての成果を着 実に残されました。

アイソトープ総合センター准教授に 着任された後、放射性物質の取扱と管 理、放射線計測に関する実習や講義を 企画し、学部学生、大学院生に対して これらの教育を実践されました。留学 生に対する英語での放射線教育におけ る久保先生の貢献は特筆すべきものが あります。また、放射線取扱主任者試 験に関する解説書を執筆するなど、社 会的な教育活動にも積極的に携わられ ました。さらに、福島の原子力発電所 事故の際には、避難地域への一時帰宅 を支援するための放射線測定に参加 し、社会的にも大きな貢献をされまし た。研究に関しても, 放射線計測・イ

メージングに関する最新の研究成果を 学会・専門誌に発表するなど、放射線 利用法の開発と普及に貢献されまし

その後, 安全衛生本部に着任され, 放射線同位元素等管理委員会やアイソ トープ総合センターと連携し、放射線 障害の防止. 放射性物質の取扱い及び 放射線施設の安全管理等の業務に従事 されました。特に「全学放射線安全管 理および教育体制の強化と構築, とり わけ学内放射線施設に対する調査点検 と優良施設の表彰, 外国人を対象とし た教育訓練とe-learning 教育体制の構 築. 放射線管理システムを用いた全学 安全管理の一元化」が大学等放射線施 設協議会から特色ある放射線安全管理 の取り組みとして認められ、平成29年 に第1回森川記念賞(優良放射線事業 者表彰) が授与されたことは、先生の ご尽力の賜であります。また、平成30 年度に発行した「安全の手引(第2 版)」の全面改定に主導的な役割を発 揮されました。

先生の長年にわたるご貢献に感謝 し、ここに謹んでお悔やみを申し上 げ、先生のご冥福を心よりお祈りいた します。

(安全衛生本部)

# ■資料

### **在籍学生数**(令和3年10月1日現在)

(注) 1 ( ) 内は女子の内数, 〈 〉内は女子の比率。

2 [ ] 内は2年次編入学定員で外数。 3 [ ] 内は3年次編入学定員で外数(工学部は高専卒業者の受入れ)。 4 以下の表は、すべて外国人留学生数を含む。

### ■学部

学部等名	入学定員			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	E 籍	者	数		研究生	聴講生	科目等	特別	合 計
子即守石	八子疋貝	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計	彻 先生	邢神生.	履修生	聴講学生	百 司
文学部	185人[人]	一人	192人	188人	225人	一人	一人	605人 (253〈41.8%〉)	54人	4人	3人	人	666人 (286〈42.9%〉)
教育学部	50 (10 )	_	51	60	67	_	_	178 (70(39.3 \)	24	1	1		204 (90(44.1 ))
法学部	200 [10 ] (10 )	_	219	221	247	_	_	687 (205 (29.8 \( \) )				3	690 (205 (29.7 ))
経済学部	190	_	200	206	213	_	_	619 (120(19.4 ))	23			2	644 (134(20.8 ))
理学部	300	_	308	320	374	_	_	1,002 (216(21.6 ))			1	1	1,004 (216(21.5 ))
医学部	287 [5]	_	298	312	283	121	106	1,120 (498(44.5 \( \))	4				1,124 (498(44.3 \( \))
歯学部	53	_	48	54	54	56	44	$\begin{array}{c} 256 \\ (109\langle 42.6  \rangle) \end{array}$	1				257 (109\langle42.4 \rangle)
薬学部	80	_	80	82	78	30	30	300 (132(44.0 \( \rangle ))	3		3		306 (133(43.5 ))
工学部	670 (10 )	-	666	720	792	ı	_	$ \begin{array}{c} 2,178 \\ (275\langle 12.6 \hspace{0.1cm} \rangle) \end{array} $				8	2,186 (277(12.7 ))
農学部	215	_	212	220	229	_	_	661 (256 (38.7 ))	2	2			665 (256 (38.5 ))
獣医学部	40	_	44	43	42	42	40	$\begin{array}{c} 211 \\ (115\langle 54.5  \rangle) \end{array}$					211 (115 \langle 54.5 \rangle)
水産学部	215	_	215	218	219	_	_	652 (170(26.1 \( \))	11			1	664 (171 (25.8 ))
現代日本学 プログラム課程	_	_	20	16	12		_	48 (29(60.4 ))					48 (29(60.4 ))
総合教育部	-	2,654		_	_			$\begin{array}{c} 2,\!654 \\ (781\langle 29.4  \rangle) \end{array}$				121	2,775 (861 (31.0 ))
	2,485 [15 ] (30 )	2,654	2,553	2,660	2,835	249	220	11,171 (3,229(28.9 ))	122	7	8	136	11,444 (3,380(29.5 ))

※学部の入学定員は、学生が第2年次に進級した場合の入学定員である。

### ■研究所等

1012 0771 13							
研 究 所 等 名	研究生	特別研究学生	特別聴講学生	日本語・日本文化 研修生	日本語研修生	合	計
人獣共通感染症リサーチセンター	3人	人	人	人	人	3人	(1( 33.3))
量子集積エレクトロニクス研究センター	1			_		1	$(0\langle 0.0\rangle)$
アイヌ・先住民研究センター	1			_	_	1	(0( 0.0))
低 温 科 学 研 究 所				_		0	$(0\langle 0.0\rangle)$
電 子 科 学 研 究 所	1			_	_	1	(1(100.0))
遺伝子病制御研究所	4			_	_	4	(3( 75.0))
触 媒 科 学 研 究 所	1			_	_	1	$(0\langle 0.0\rangle)$
スラブ・ユーラシア研究センター	1			_		1	$(1\langle 100.0\rangle)$
情報基盤センター	4			_	_	4	(1 < 25.0 >)
総 合 博 物 館	1					1	$(0\langle 0.0\rangle)$
北方生物圏フィールド科学センター	8			_	_	8	(2( 25.0))
高等教育推進機構	6		55	31	35	127	(70( 55.1))
合 計	31	0	55	31	35	152	(79( 52.0))

### ■大学院

(注) 法学研究科の専門職学位課程の上段は3年課程、下段は2年課程の学生数。 生命科学院の博士課程の上段は3年制博士後期課程、下段は4年制博士課程の学生数。 医学院の修士課程1年次の上段は公衆衛生学1年コースの学生数。

7 ( 3 170		br 1.5H:	如 /床 1.:	公田/					11珍工訊性 1	1 平の					年コースの	7子生 研	. 奴。	科	特	特	
TIT als \$1 fa	7 334		程(博士		7 335		専門職学		#L	7 334	博士:		注後期》 左 答			-	40	当	特別研	別睡	A =1.
研究科名	入学		在籍		入学	1 1 1 1	_	籍者		入学	1 1 1 1	_	在籍	者数		究	講	履修	研究学生	聴講学生	合 計
-1. W. B-1.	定員	1年次	2年次	小 計 200人	定員		2年次		小 計	定員			3年次		小 計 100人	生	生	修生			308人
文 学 院	90人	92人	108人	( 111 (55.5%))	一人	一人	一人	一人	一人	35人	29人	45人	26人	一人	( 45(45.0%))	Д	2人	1人	. 1人	4人	( 160( 51.9%))
文 学 研 究 院	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	11					( 4( 36.4_))
文 学 研 究 科	_	_	4	( 2(50.0 4))	_	_	_	_	_	_	1	0	66	_	( 33(49.3 ))						( 35( 49.3 ))
法 学 研 究 科	20	19	22	( 21(51,2 ))	50	22 16	11 12	10	71 ( 23(32.4 ))	15	7	2	17	_	( 9(34.6 ))	14				5	( 66 ( 42.0 ))
情報科学院	179	195	198	( 39( 9.9 ))	_	_	_	_		43	40	36	34	_	( 21(19.1 ))				1	2	506 ( 60( 11.9 ))
情報科学研究院	_	_	_	-	_	_	_		_	_	_	_	_	_		10					10
情報科学研究科	_	_	4	4			_		_				29	_	29	10					( 3( 30.0 ))
			4	( 0( 0.0 ))											( 3(10.3 ))						( 3( 9.1 ))
薬 学 研 究 院	_		_	225	_		_		_	_	_	_	_		57						287
水産科学院	114	118	107	( 61(27.1 ))	_	_	_		_	19	17	13	27	_	( 15(26.3 ))				5		( 76\langle 287 ( 76\langle 26.5 \rangle)
水産科学研究院	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	4					( 3( 75.0 4))
環 境 科 学 院	159	157	174	( 106(32.0 ))	–	-	_	_	_	63	54	35	82	_	171 ( 57(33.3 ))				1	3	( 165( 32.6 ))
地球環境科学研究院	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	21					( 12( 57.1 ))
理 学 院	127	120	141	261 ( 57(21.8 ))	_	_	_	_	_	55	41	37	63	_	( 31 (22.0 ))				4		406 ( 88( 21.7 ))
理 学 研 究 院	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	- 31\22.0 //	14					14
農学院	142	195	165	360	_	_	_	_	_	36	39	37	75	_	151				2		( 6( 42.9 ))
	- 172	130		( 125(34.7 ))						30	0.0	01	-		( 44(29.1 ))	10			-		( 171 ( 33.3 )) 18
		-	-	254			_			44	52	38	56		165	18			<u> </u>		( 11( 61.1 )) 423
生 命 科 学 院	132	124	130	( 88(34.6 ))	_	_	_	_	_	6	5	6	2	6	( 50(30.3 ))				4		( 139( 32.9 ))
先端生命科学研究院	_	_	_	- 00	_	_	_		_	_		_		_	- 100	3					( 1( 33.3 ))
教 育 学 院	45	43	50	93 ( 53(57.0 ))	_	_	_	_	_	21	11	22	67	_	( 49(49.0 ))			2		1	( 105 ( 53.6 ))
教育学研究院	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	1					( 1(100.0 ))
国際広報メディア・ 観 光 学 院	47	49	54	( 73(70.9 ))	_	_	_	_	_	12	14	14	46	_	74					2	( 112( 62.6 ))
メディア・コミュニケーション研究院	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	34					( 23( 67.6 ))
保健科学院	40	54	60	114 ( 61(53.5 ))	_	_	_	_	_	10	21	18	16	_	( 20(36.4 55)						( 81 ( 47.9 ))
保健科学研究院	_	_	_	- 01\00.0 //	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		16					16
工 学 院	326	391	374	765	_	_	_		_	69	73	59	105	_	237				7	9	( 6( 37.5 ))
	020	001	- 011	( 108(14.1 ))					_	_		_	_		( 41(17.3 ))	33			<u> </u>	-	( 154( 15.1 ))
	100	104	1.10	313						20	40	F0		_	157	00			- C		( 7( 21.2 )) 476
総合化学院	129	164	149	( 63(20.1 )) 78		_	_		35	38	48	53	56		(41(26.1))				6		( 107( 22.5 )) 139
経済学院	35	35	43	( 41 (52.6 ))	20	15	20	_	( 6(17.1 ))	8	9	7	10		( 9(34.6 ))						( 56( 40.3 ))
経済学研究院	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_						
経済学研究科	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	5	_	( 0( 0.0 5)						( 0( 0.0 5))
医 学 院	20	1 24	21	( 23(50.0 ))	_	_	_	_	_	90	105	84	110	118	417 ( 102(24.5 ))		1		5		( 126( 26.9 ))
医 学 研 究 院	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	14					( 8( 57.1 ))
医 学 研 究 科	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	3	40	( 9(20.9 ))						( 9( 20.9 ))
歯 学 院	_	_	_	_	_	_	_	_	_	40	31	50	33	40	154 ( 60(39.0 ))						( 60 \langle 39.0 \rangle)
歯 学 研 究 院	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	- ( 60(39.0 /)	8					8 1
歯 学 研 究 科		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	1	1						( 4( 50.0 ))
							_	_		16	11	6			( 0( 0.0 ))						( 0( 0.0 )) 42
獣 医 学 院			_	_	_	_			_				13	12	( 13(31.0 ))		_		-		( 13( 31.0 8)
獣医学研究院		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_		8					( 0( 0.0 0))
獣医学研究科		_	_	-	_	_	_	_	_	_	_	_	_	2	( 1(50.0 ))						( 1( 50.0 ))
医 理 工 学 院	12	12	14	( 3(11.5 ))	_	_	-	_	_	5	4	5	9	_	( 0( 0.0 ))						( 3( 6.8 ))
国際感染症学院	_	-	_		_	_	_	-	_	12	18	7	9	15	( 21(42.9 ))				13	L	( 30( 48.4 ))
国際食資源学院	15	16	18	( 20(58.8 ))	_	_	_	-	_	6	9	1	6	_	( 9(56.3 ))						( 29( 58.0 ))
公共政策学教育部	_	_	_		30	32	38	_	( 19(27.1 ))	_	_	_	_	_	-		2	4			76 ( 20( 26.3 ))
公共政策学連携研究部	_	_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	_	_	_	6					6
合 計	1,632	1,809	1,836	3,645 (1,055 \(28.9\)	100	85	81	10	176 ( 48(27.3 ))	643	639	575	965	234	2,413 ( 721 (29.9 ))	215	5	7	49	26	( 4( 66.7 )) 6,536
H H	1,002	1,000	1,000	(1,055(28.9 ))	100	00	01	10	(48(27.3 ))	V 10	707	010	200	201	[( 721(29.9 ))	210	V		13	20	(1,962( 30.0 ))

(学務部学務企画課)

# 広報 誌等 一覧

令和3年10月調査結果

剖	ß 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
	企画課	北海道大学近未来戦略150 (英語·日本語併記版)	不定期	H26年8月	北海道大学創基150年に向けた近未来戦略	冊子
		ビジュアルブック	不定期	H30年9月	色彩豊かで伝統と趣のあるキャンパス風景を 四季ごとに紹介	冊子
		北海道大学概要	年1回	R3年度版	本学の沿革,組織,職員数等,大学の概要を 掲載	冊子,HTML 版,PDF版
		北海道大学概要(英語版)	年1回	R3年7月	本学の沿革,組織,職員数等,大学の概要を 掲載	冊子,PDF版
		リテラポプリ	年2回	R3年9月	北海道大学の新たなプロジェクトや変革,教育研究.及び緑豊かなキャンパス等を紹介	冊子,PDF版
		リテラポプリ (英語版)	年2回	R3年6月	北海道大学の新たなプロジェクトや変革、教育研究、及び緑豊かなキャンパス等を紹介	冊子, PDF版
		北大時報	月1回	R3年10月	その月の大学や部局のニュース, お知らせ等 を掲載	冊子,PDF版
		キャンパスガイドマップ	年1回	R3年6月	札幌キャンパスのマップと主な施設等を紹介	冊子, PDF版
事		Campus Guide Map (キャンパスガイドマップ 英語版)	年1回	R3年7月	札幌キャンパスのマップと主な施設等を紹介	PDF版
		Campus Guide Map (キャンパスガイドマップ 簡体字版)	年1回	R3年7月	札幌キャンパスのマップと主な施設等を紹介	PDF版
	広報課	Campus Guide Map (キャンパスガイドマップ 韓国語版)	年1回	R3年7月	札幌キャンパスのマップと主な施設等を紹介	PDF版
		北大フロンティア基金活動報告書	年1回	R3年10月	北大フロンティア基金の年度毎の活動状況を 報告	冊子,PDF版
		Tackling Global Issues	年1回	R2年3月	世界の課題解決を目指す北海道大学の先端研究を紹介	冊子, PDF版, ウェブ版
		Spotlight on Research	不定期	R2年3月	北海道大学の多彩な研究成果(該当年の英文 プレスリリースから10本程度掲載)	冊子, PDF版
		HU At a Glance	不定期	H31年3月	一目でわかる北海道大学の概要	冊子、PDF版
		Portable Paper Clark	不定期	H30年12月	英文SNSの紹介	フライヤー
		ACADEMIC FANTASISTA 国民との科学・技術対話事業	年1回	H30年度版	北海道大学における「国民との科学・技術対 話」推進に関する研究支援事業の紹介	冊子,PDF版
		Strategy for Making Innovation 理の社会実装を目指して	不定期	H29年度版	北海道大学の研究者の紹介と、産学・地域協働を支えるシステムの紹介	冊子,PDF版
務		Reach アウトリーチイベントの つくりかたハンドブック	不定期	H28年3月	教職員を対象としたアウトリーチのイベント 企画のためのハンドブック	冊子,PDF版
333		大地と森と海と 一農林水産学の発展をめざして一	不定期	H31年 3 月	札幌農学校時代から140年以上受け継がれた、北海道大学の農林水産学の「今」を紹介するフォトブック。	冊子,PDF版
	主計課財務管理室	北海道大学財務報告書	年1回	R3年9月	従来の「財務レポート」を大幅にリニューアルし、「財務報告書」として発行。内容を財務情報に限らず、本学のビジョン・戦略、取組・実績、ガバナンスなどの非財務情報まで加えることで、本学の現状をステークホルダーへわかりやすく伝えることを目指している。	冊子,PDF版
		新渡戸カレッジ (学部教育コース) パンフレット	年1回	R3年9月	新渡戸カレッジ(学部教育コース)の概要を 掲載	冊子
		新渡戸カレッジ(学部教育コース) パンフレット(企業向け)日本語版	不定期	R3年3月	新渡戸カレッジの概要を掲載(企業向け)	冊子
		新渡戸カレッジ(学部教育コース) パンフレット(企業向け)英語版	不定期	R3年4月	新渡戸カレッジの概要を掲載(企業向け)	冊子
		新渡戸カレッジ(学部教育コース) 募集チラシ	年1回	R3年2月	新渡戸カレッジ(学部教育コース)の募集案 内	チラシ
局	教育推進課	北海道大学新渡戸カレッジ 同窓会ネット ワーク誌「ACROSS」	年1回	R3年9月 (2号)	新渡戸カレッジ修了生及び北海道大学同窓生 向けに新渡戸カレッジの概要又は修了生の近 況等を掲載	冊子
		北海道大学新渡戸カレッジ 同窓会ネット ワーク誌「ACROSS」英語版	年1回	R2年10月 (1号)	新渡戸カレッジ修了生及び北海道大学同窓生 向けに新渡戸カレッジの概要又は修了生の近 況等を掲載	PDF版
		新渡戸カレッジ (大学院教育コース) パンフレット	年1回	R3年2月	新渡戸カレッジ(大学院教育コース)の概要 を掲載	冊子
		新渡戸カレッジ(大学院教育コース) 大学院合格者対象広報チラシ	年2回	R3年7月	新渡戸カレッジ(大学院教育コース)の募集 案内	チラシ
		大学院教育コースポスター	不定期	R3年1月	新渡戸カレッジ(大学院教育コース)の概要 を掲載	ポスター
		えるむ	年2回	R3年4月	学生向けに学内行事・ニュース・お知らせ等 を掲載	冊子,HTML)
	₩ tr → rω =m	北大元気プロジェクト実施報告書	年1回	R3年2月	北大元気プロジェクトの活動報告を掲載	PDF版
	学生支援課	学生生活の案内	年1回	R3年4月	学部学生向けの学生生活案内	冊子
		学生相談総合センターの広報チラシ (日本語版)	年1回	R3年4月	学生相談総合センターの案内	チラシ

音	邓 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形態
		学生相談総合センターの広報チラシ (英語版)	年1回	R3年4月	学生相談総合センターの案内	チラシ
		北大生のための相談先お助けガイド (日本語版)	年1回	R3年4月	学内のサポート機関の紹介及びフローチャー トを用いた相談先の紹介	パンフレット・ PDF版
		北大生のための相談先お助けガイド (英語版)	年1回	R3年4月	学内のサポート機関の紹介及びフローチャートを用いた相談先の紹介	パンフレット・ PDF版
	学生支援課	北海道大学学生相談総合センター年報 第1号(2018年度,2019年度)	不定期	R3年3月	学生相談総合センターの活動報告	冊子
	子生又拨誅	とっても北大生	4年に1回	H30年9月	学生生活実態調査の結果を元に北大生の学生 生活を紹介	冊子,PDF版
		北海道大学学生寮入寮案内 – 恵迪寮 –	年1回	R3年1月	学生寮(恵迪寮)の概要・入寮出願手続き等 を掲載	PDF版
		北海道大学学生寮入寮案内-霜星寮-	年1回	R3年1月	学生寮(霜星寮)の概要・入寮出願手続き等 を掲載	PDF版
		北海道大学学生寮入寮案内 – 北大インター ナショナルハウス北23条 2 号棟 –	年1回	R3年1月	学生寮(北大インターナショナルハウス北23 条2号棟)の概要・入寮出願手続き等を掲載	PDF版
事		Be ambitious(大学案内)	年1回	R3年7月	大学・学部・研究等の紹介, 入試・教育・学 生生活の紹介等	冊子, デジタル版
		オンラインオープンキャンパスリーフレット	年1回	R3年7月	オンラインオープンキャンパスの実施概要を 掲載	紙媒体, デジタル版
		フロンティア入試案内	年1回	R3年4月	フロンティア入試の概要について掲載	冊子, デジタル パンフレット
		入学者選抜要項	年1回	R3年7月	入学者選抜に関する概要	冊子, PDF版
	入試課	北大キャンパスビジットプロジェクト北大ぐるぶらマップ	不定期	H30年7月	北大キャンパスビジットプロジェクト概要紹介,キャンパス案内	冊子
		知のフロンティア - 北海道大学の研究者は、いま-	不定期	H30年 1月	本学教員の研究内容紹介	冊子
		外国人留学生のための北海道大学案内	年1回	R3年4月	学部・学科及び大学院等、入試、学生生活等の外国人留学生向けの本学紹介	冊子,PDF版
		INTERNATIONAL STUDENT PROSPECTUS (『外国人留学生のための北海道大学案 内』の英語版)	年1回	R3年4月	学部・学科及び大学院等,入試,学生生活等の外国人留学生向けの本学紹介	冊子,PDF版
		DEGREE PROGRAMS IN ENGLISH	年1回	R3年4月	英語で修得できる外国人留学生向け学位プロ グラムの紹介	PDF版
		Modern Japanese Studies Program (MJSP) パンフレット	年1回	R3年4月	外国人留学生向けプログラム「現代日本学プログラム」の概要を掲載	冊子,PDF版
務		Integrated Science Program(ISP) パンフレット	年1回	R3年4月	外国人留学生向けプログラム「インテグレイ テッドサイエンスプログラム」の概要を掲載	冊子,PDF版
		Modern Japanese Studies Program (MJSP) 動画	不定期	R3年3月	外国人留学生向けプログラム「現代日本学プログラム」の説明、学生・卒業生の声等を紹介する動画の再生リスト	YouTube
	教育推進課 · 入試課	Integrated Science Program(ISP)動画	不定期	R3年3月	外国人留学生向けプログラム「インテグレイ テッドサイエンスプログラム」の説明、学生・ 卒業生の声等を紹介する動画の再生リスト	YouTube
		Modern Japanese Studies Program			外国人留学生向けプログラム「現代日本学プ ログラム」の入試情報、キャンパスや学生の	Facebook Twitter
		(MJSP) SNS			様子、本学の情報等を紹介するSNS	Instagram
					外国人留学生向けプログラム「インテグレイ	Facebook
		Integrated Science Program (ISP) SNS			テッドサイエンスプログラム」の入試情報, キャンパスや学生の様子. 本学の情報等を紹	Twitter
					介するSNS	Instagram
局	キャリア支援課 (キャリアセンター名義 で発行)	キャリア通信	年2~3回	R3年4月	キャリアセンター利用案内,各種就職ガイダンス・セミナー情報,インターンシップ情報等を掲載(発行時期により内容は異なる)	冊子,PDF版
•		HANDBOOK FOR INTERNATIONAL STUDENTS	年1回	R3年8月	在学中の留学生に必要な手続き及び生活情報 を提供	冊子,PDF版
		Exchange Possibilities at Hokkaido University	年1回	R1年12月	本学の交換留学プログラムの紹介	冊子
		Hokkaido University Short-Term Exchange Program	年1回	R 2 年12月	北海道大学短期留学プログラムHUSTEPの 紹介及び開講科目の授業内容等を掲載	冊子,PDF版
		JAPANESE LANGUAGE AND CULTURE STUDIES PROGRAM (JLCSP)	年1回	R 2 年12月	北海道大学短期留学プログラムJLCSPの紹介 及び開講科目の授業内容等を掲載	冊子,PDF版
	国際交流課	日本語・国際教育研究紀要	年1回	R3年3月	研究論文、研究ノート、実践報告、調査報告	冊子, PDF版 (HUSCUP配信)
		北海道大学国際教育研究部ブックレット	不定期	R3年3月	留学生・日本人学生の共修教育における大学 と地域の連携	冊子,PDF版
		国際教育研究部日本語科目案内 国際教育研究部多文化交流科目案内	不定期	R3年3月	日本語科目と多文化交流科目の紹介	紙媒体,PDF版
		「一般日本語コース」受講生募集チラシ	年1回	R3年1月	一般日本語コース受講生募集について	紙媒体,PDF版
		北海道大学日本語スタンダーズ2019年度版	不定期	H31年3月	日本語教育におけるレベル別言語行動目標, Can-Do Listなど	冊子,PDF版

			<u> </u>		T	
吉	吊 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
		北海道大学一般日本語コース授業ガイド (日英両言語版)	不定期	H31年3月	北大留学生向け日本語コース紹介	冊子,PDF版
		多文化交流科目リーフレット	年1回	R2年3月	多文化交流科目についての案内と2019年度開 講科目一覧など	冊子,PDF版
		北大生のための留学ハンドブック	年1回	R3年3月	北大生のための留学情報提供誌	冊子,PDF版
		全学教育科目 一般教育演習 (フレッシュマンセミナー) グローバル・キャリア・デザイン [通称:ファースト・ステップ・プログラム (FSP)]	不定期	R2年3月	FSP概要	冊子,PDF版
		国際インターンシップ	不定期	R2年3月	国際インターンシップ概要	冊子
		海外短期語学研修(サマープログラム/ スプリングプログラム)	不定期	R2年3月	海外短期語学研修概要	冊子,PDF版
事		海外ラーニング・サテライトリーフレット	不定期	H30年10月	海外ラーニング・サテライト概要	リーフレット
	同數方法細	Hokkaidoサマー・インスティテュート リーフレット(英語版のみ)	年1回	R 2 年12月	HSIプログラム概要	リーフレット
	国際交流課	Hokkaidoサマー・インスティテュート ポスター(日本語版・英語版)	年1回	R 2 年12月	HSIプログラム概要	紙媒体
		Hokkaidoサマー・インスティテュート 三つ折りリーフレット(日本語・英語併記)	年1回	R 2 年12月	HSIプログラム概要	リーフレット
務		Hokkaidoサマー・インスティテュート 学部学生用リーフレット	年1回	R 2 年12月	HSIプログラム概要	紙媒体
		Hokkaidoサマー・インスティテュート 全科目紹介(日本語・英語併記)	年1回	R 2 年12月	HSIプログラム概要	冊子
		Hokkaidoサマー・インスティテュート 全科目紹介(英語)	年1回	R 2 年12月	HSIプログラム概要	冊子
		Hokkaidoサマー・インスティテュート 科目担当教員インタビューパンフレット	年1回	R3年3月	HSIプログラム概要	リーフレット
局		RJE3リーフレット (日本語・英語・ロシア語)	不定期	R3年3月	RJE3プログラム概要	リーフレット
		PAREリーフレット(日本語・英語)	不定期	R3年3月	PAREプログラム概要	リーフレット
		歴史的資産ガイドマップ	不定期	H31年3月	北海道大学の歴史的資産(建造物等)をマップと写真で紹介	冊子,PDF版
	施設整備課	HISTORIC HERITAGE VISITOR GUIDE AND MAP(歴史的資産ガイドマップ 英 語版)	不定期	H31年3月	北海道大学の歴史的資産 (建造物等) をマップと写真で紹介	冊子,PDF版
	国際企画課	Hokkaido Universal Campus Initiative Tackling Global Issues(日英併記)	不定期	R1年11月	「スーパーグローバル大学創成支援事業」の 採択構想である「Hokkaidoユニパーサルキャ ンパス・イニシアチブ(HUCI)」取組紹介	冊子
		HaRPリーフレット(日本語・ロシア語)	不定期	R2年5月	HaRPプログラム概要	冊子
	国際連携課	HaRPアニュアルレポート (日本語・ロシア語)	年1回	R2年度版	R2年度における事業の活動紹介	冊子(日本語版 のみ)・PDF版
		情報セキュリティ及びネットワークの 手引き HINES-WORLD	不定期	H30年4月	北海道大学情報ネットワーク利用案内,情報 セキュリティの手引き,規定集	冊子,PDF版
青報	環境推進本部	情報セキュリティ及びネットワークの 手引き HINES-WORLD (英語版)	不定期	H30年10月	北海道大学情報ネットワーク利用案内,情報 セキュリティの手引きを英文で掲載	冊子,PDF版
		情報セキュリティガイド(改訂版) (リーフレット)	不定期	R2年2月	情報セキュリティの手引き	リーフレット, PDF版
	上級人材育	S-cubic通信	不定期	R3年3月	DC・PDを対象とした進路選択のガイドブック	冊子,PDF版
	成ステーション	S-cubicフライヤー	不定期	R2年9月	S-cubicの紹介	PDF版
	S-cubic	Hi-Systemフライヤー	不定期	R2年3月	博士研究者の社会活躍をサポートするWeb サイトの紹介	フライヤー
	I-HoP	Career Management Guide for the Doctorates	不定期	R3年3月	外国人英語コース博士のためのキャリアマネ ジメントガイド	冊子
人材	連携型博士 研究人材育 成推進室	科学技術人材育成のコンソーシアム構築事業 連携型博士研究人材総合育成システムの構築	不定期	R3年9月	コンソーシアム事業の紹介	PDF版
育		KNITパンフレット	不定期	R2年3月	科学技術人材育成費補助事業の紹介	冊子
成木		異分野meetup week 2020要旨集	不定期	R2年12月	異分野meetup week 2020での発表ポスター の紹介	冊子
本部	ダイバーシティ	ニュースレター	不定期	R3年2月	異分野meetup week 2020, KNIT a Network の紹介	チラシ
	研究環境推進室	Ree-Dフライヤー	不定期	R3年2月	ダイバーシティ研究環境推進室の活動紹介	フライヤー
	烂玉	ダイバーシティ研究環境実現 イニシアティブ(牽引型)活動報告書	不定期	R3年3月	文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (牽引型)」2019~2020年度の活動紹介	冊子
		全国ダイバーシティネットワーク組織 北海道ブロック活動報告書	不定期	R3年3月	全国ダイバーシティネットワーク組織北海道 ブロック2018~2020年度の活動紹介	冊子
		創成ニューズレター CRIS TIMES	不定期	H28年度版	創成研究機構の活動紹介	冊子,PDF版
MI - P -	TTTb 15tc t-+-	北海道大学 創成研究機構	不定期	H28年1月	創成研究機構の組織紹介	冊子,PDF版
訓成	研究機構	北海道大学 創成研究機構 (DVD)	不定期	H23年9月	創成研究機構の紹介DVD(改訂版)	DVD
		Global Facility Center Hokkaido University	不定期	R3年1月	グローバルファシリティセンターの紹介(日本語版)	冊子,PDF版

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
	Global Facility Center Hokkaido University (English ver.)	不定期	R3年3月	グローバルファシリティセンターの紹介 (英語版)	冊子,PDF版
	北海道大学グローバルファシリティセンター	不定期	R2年10月	グローバルファシリティセンターの紹介	チラシ, PDF版
	北海道大学グローバルファシリティセンター (英語版)	不定期	R2年7月	グローバルファシリティセンターの紹介	チラシ
	"ひらめきをカタチにするパートナー" 今すぐ使える北大GFC	不定期	R1年5月	グローバルファシリティセンターの紹介 (学外向け)	チラシ,PDF版
	北海道大学オープンファシリティ料金表	不定期	R3年10月	オープンファシリティ利用料金一覧(学内・ 学外用)	冊子,PDF版
	先端技術のオープンステーション 北海道大学 オープンファシリティ	不定期	H27年12月	オープンファシリティの紹介DVD (日本語版)	動画(Web版)
	Cutting-edge Open Station Hokkaido University Open Facility	不定期	H27年12月	オープンファシリティの紹介DVD (英語版)	動画(Web版)
	第8回オープンファシリティシンポジウム 報告書	年1回	R3年3月	オープンファシリティシンポジウム開催報告	冊子,PDF版
	北海道大学創成研究機構グローバルファシ リティセンター機器分析受託サービス	不定期	R3年7月	グローバルファシリティセンター機器分析受 託部門の紹介	冊子
	機器分析受託サービス分析料金表(学外)	不定期	R1年10月	分析料金一覧 学外料金(日本語版)	チラシ, PDF版
	Price List (Outside Campus)	不定期	R1年10月	分析料金一覧 学外料金 (英語版)	チラシ, PDF版
	機器分析受託サービス分析料金表(学内)	不定期	R1年10月	分析料金一覧 学内料金(日本語版)	チラシ, PDF版
創成研究機構	Price List (Within Campus)	不定期	R1年10月	分析料金一覧 学内料金 (英語版)	チラシ, PDF版
	北海道大学創成研究機構グローバルファシ リティセンター機器分析受託サービス	不定期	H30年7月	グローバルファシリティセンター機器分析受 託部門の紹介	冊子
	機器分析受託サービス分析料金表(学外)	不定期	R1年10月	分析料金一覧 学外料金(日本語版)	チラシ, PDF版
	Price List (Outside Campus)	不定期	R1年10月	分析料金一覧 学外料金(英語版)	チラシ、PDF版
	機器分析受託サービス分析料金表(学内)	不定期	R1年10月	分析料金一覧 学内料金(日本語版)	チラシ, PDF版
	Price List (Within Campus)	不定期	R1年10月	分析料金一覧 学内料金(英語版)	チラシ, PDF版
	Frice List (Within Campus)	小足规	K1 平10万		7 7 2, FDF/IX
	GFC Tutorial サービス利用登録申請	不定期	R1年11月	GFC総合システムのサービス利用登録方法 を説明する動画	動画(Web版)
	GFC Tutorial 利用料金のお支払いと利用 実績の報告	不定期	R2年7月	GFC総合システムの利用料金の支払方法と 利用実績の報告方法を説明する動画	動画(Web版)
	GFCについて	不定期	R3年3月		動画(Web版)
	原子・分子の顕微イメージングブラットフォーム	不定期	R2年7月	文部科学省:先端研究基盤共用促進事業(共 用ブラットフォーム形成支援プログラム) 「原子・分子の顕微イメージングプラット フォーム」事業の紹介及び利用募集	冊子
	同位体顕微鏡	不定期	H25年4月	文部科学省:先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業「安定同位元素イメージング技術による産業イノベーション」事業における圦本教授のインタビュー(リテラポブリ29号を元に作成)	冊子
	拠点概要パンフレット(英語版)	不定期	H31年2月	拠点概要説明,拠点長メッセージ,拠点の特 徴,主任研究者一覧,拠点の研究概要,アク セス情報	冊子,PDF版
	拠点概要パンフレット (日本語版)	不定期	R1年6月	拠点概要説明,拠点長メッセージ,拠点の特 徴,主任研究者一覧,拠点の研究概要,アク セス情報	冊子,PDF版
	リクルート用冊子 React With Us (英語版)	不定期	R2年2月	主任研究者と研究概要説明、研究者の声(8名)、拠点で保有している器機説明、研究者向けサポート制度の説明、北海道と札幌市の紹介、拠点概要説明	冊子,PDF版
化学反応 創成研究拠点	ニュースポストカード (日英)	毎月	R2年9月	論文発表があった研究を毎月一編紹介。研究 に関連する画像、論文情報、QRコード(オンライン上の情報・プレスリリースなど)を 掲載。	ポストカード
	Annual report(年次報告書・英語版)	毎年	R2年8月	化学反応創成研究拠点の年間の活動報告書。 拠点長メーッセージ, 人員構成, 研究進捗, 活動内容を紹介。	冊子,PDF版
	ニュースポスター「The CATALYST」 (英語版)	年4回	R2年8月	化学反応について分かりやすく紹介する冊子。スペシャルトピック,研究者紹介,拠点ニュース,拠点概要情報を掲載。	PDF版
	ニュースポスター「カタリスト」 (日本語版)	年4回	R2年8月	化学反応について分かりやすく紹介する冊子。スペシャルトピック,研究者紹介,拠点ニュース,拠点概要情報を掲載。	ポスター, PDF版
	高等教育ジャーナル -高等教育と生涯学習 -	年1回	R3年3月	広く高等教育に関する論文・報告等を公開	冊子, PDF
	ニュースレター	年3回	R3年10月	高等教育推進機構の活動を報告	冊子, PDF
	ラーニングサポート室リーフレット	不定期	H29年4月	ラーニングサポート室の利用に関する案内	冊子
高等教育推進機構	アカデミック・マップ	年1回	R3年4月	進級、学部移行の参考として各学部学科等の 研究内容等を掲載	PDF版
	ラーニングサポートレター	不定期	R 2 年12月	初年次学生の修学状況とラーニングサポート 室で実施する学習サポートやセミナーの利用 状況を掲載	PDF版

CoSTEPリーフレット	部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形態
# とクターリンフレット			年1回	R3年3月	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	冊子
# 1 目   R2 年 3 月   フェア及フェアコントンコンド			不定期	R2年3月		冊子
ATT	\$ <b>等教育</b> 推准機構		年1回	R2年3月	ウェア及びオープンエデュケーションセン	冊子
でいかは1 Hokudai	高等教育推進機構	教育情報システム(ELMS)リーフレット	年1回	R3年4月		WEB掲載
CoSTEP PR		CoSTEPリーフレット	年1回	R3年3月	CoSTEPの活動を紹介	パンフレット
大学の		いいね!Hokudai	週4回	R3年10月	北大の日々を紹介するWebマガジン	,
特別		CoSTEP PR	不定期	R3年10月	スタッフや受講生の日常を紹介	
			年2回	R3年8月	文・報告・ノートを掲載。HUSCAPで閲覧	
北極遊大学 研究シーズ集Vol5		産学官連携の手引き	不定期	H29年8月		冊子,PDF版
コード& メディカルイノベーション   日間軽差がフレット   不定期   日31年 4月   アード& メディカルイノベーション   国際連合   日子・Web版   「食と健康の違人」拠点パンフレット   不定期   日31年 2月   北海道大学COI「食と健康の違人」拠点の活動が   日子・Web版   一定を健康の違人」拠点の活動が   大幅道大学COI「など健康の違人」拠点の活動が   大幅道大学COI「など健康の違人」拠点の活動が   大幅道大学COI「など健康の違人」拠点の活動が   大幅道大学COI「など健康の違人」拠点の活動が   大幅道大学COI「など健康の違人」拠点が   世子・Web版   全見沢市×北海道大学のフリーマガジン   Tive (ライブ)」   日本に (ライブ)			不定期	R2年10月		
国際拠点パンフレット			不定期	H30年3月		冊子,電子ブック
		1	不定期	H31年4月	(FMI国際拠点) の紹介	冊子・Web版
常会 (中央)		「食と健康の達人」拠点パンフレット	不定期	H31年2月	動紹介	冊子・Web版
		笑顔プロジェクト	不定期	R2年7月	紹介(HPにて公開)	web版
###   ###			不定期	H31年4月	査」の活動紹介・ご案内	冊子
#連進機構	<b>空</b>		不定期	H31年2月	域と課題、情報を共有するフリーペーパー	冊子·Web版
上海道大学 研究シーズ集Webサイト   不定期   R1年10月   出・学術コンサルティング) の制度組介   Web版   北海道大学 研究シーズ集Webサイト   不定期   R1年10月   在学連携に関わるイベント (研究や様々な情報を関すていただくためのセミナーや勉強   上海道大学産学連携メールマガジン   不定期   R1年10月   在学連携に関わるイベント (研究や様々な情報を関すていただくためのセミナーや勉強   上海道大学産業育成基金リーフレット   不定期   R1年10月   R1年1	産字・地域協働 推進機構		不定期	H29年11月	校生と共に地域と課題、情報を共有するフ	冊子
北海道大学 産学・地域協働推進機構 不定期 R1年10月 産学・地域協働推進機構について活動紹介・ Web版		共同研究等契約形態紹介リーフレット	不定期	H31年4月		リーフレット
本海道大学産学連携メールマガジン   不定期   R1年10月   ご案内   で案内   で表内   で表内   で表内   で表内   で表   で表   で表		北海道大学 研究シーズ集Webサイト	不定期	R1年10月	北海道大学の研究シーズを分野別に紹介	Web版
北海道大学産学連携メールマガジン   不定期   R1年10月   報を知っていただくためのセミナーや勉強会、企業と研究者とのマッチングイベントなとので案内   DEMOLA HOKKAIDO   不定期   R1年10月   DEMOLA HOKKAIDOについて活動紹介・ご案内   R1年10月   DEMOLA HOKKAIDOについて活動紹介・ご案内   R1年12月   基金要項。申込方法等の掲載。ご支援のお願   リーフレット   日本語版、韓国語版)   不定期   R3年1月   韓国ソウルオフィス及び北海道大学の紹介   冊子   出海道大学留学案内ガイド(韓国語版)   不定期   R3年1月   中国人留学生向けの入学案内   一		北海道大学 産学・地域協働推進機構	不定期	R1年10月		Web版
DEMOLA HOKKAIDO   小・ご案内   水・ご案内   水・ご案内   水・ご案内   水・ご案内   北海道大学起業家育成基金リーフレット   不定期   R1年12月   基金要項、申込方法等の掲載、ご支援のお願   リーフレット   (日本語版、韓国語版)   不定期   R3年1月   韓国ソウルオフィス及び北海道大学の紹介   冊子   北海道大学留学案内ガイド(韓国語版)   不定期   R3年1月   韓国ソウルオフィス入の北海道大学の紹介   冊子   北海道大学留学案内ガイド(中国語版)   不定期   R3年1月   R1年1月   R1年1		北海道大学産学連携メールマガジン	不定期	R1年10月	報を知っていただくためのセミナーや勉強 会,企業と研究者とのマッチングイベントな	E-mail
大田田大学庭来系育成基室リーブレット   不定期   R3年1月		DEMOLA HOKKAIDO	不定期	R1年10月		Web版
(日本語版)韓国語版)		北海道大学起業家育成基金リーフレット	不定期	R1年12月		リーフレット
北海道大学留字条内ガイト (韓国語版)   不定期   R3年1月   (発行:韓国ソウルオフィス)   脚子     北海道大学留学案内ガイド (中国語版)   不定期   R3年4月   中国人留学生向けの入学案内   一部   (発行:中国北京オフィス)   一部   日本留学海外拠点連携推進事業   不定期   R7年度版   R元年度版   R元年度における活動紹介   冊子   R7年度版   R7年度版   R7年度版   R7年度版   R7年度版   R7年度版   R7年度版   R7年度における活動紹介   冊子   R7年度版   R7年度における活動紹介   冊子   R7年度版   R7年度が表す。   日本留学海外拠点連携推進事業   サンサンカ・アフリカ地域) 事業条内   日本留学海外拠点連携推進事業   サンサンカ・アフリカ地域) 事業条内   日本留学海外拠点連携推進事業   サンサンカ・アフリカ地域) 事業条内   R3年3月   日本留学海外拠点連携推進事業   サンサンカ・アフリカ地域   事業の案内   日本留学海外拠点連携推進事業   サンナンカ・アフリカ地域   事業の案内   日本留学海外拠点連携推進事業   サンナンカ・アフリカ地域   事業の案内   日本留学海外拠点連携推進事業   サンナンカ・アフリカ地域   事業の案内   日本留学海外拠点連携推進事業   サント・PDF版   日本留学海外拠点連携推進事業   サント・PDF版   日本留学海外域に関連する教育研究活動やエネル   世子・ル等の使用量の状況を掲載   田子、PDF版   日本での環境に配慮した活動等をまとめ、2019   日本での環境に関連する教育研究活動やエネル   日本での環境に関連する教育研究活動やエネル   田子、PDF版   日本での環境に関連する教育研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育の研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育の研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育の研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育の研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育の研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育の研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育の研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育の研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育の研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育の研究活動やエネル   日本の環境に関連する教育の研究活動を用意しまする。   日本の環境に関連する教育の研究活動を用意しまする。   日本の環境に関連する   日本の環境に関連する教育の研究活動を用意しまする。   日本の環境に関連する   日本の環境に関連する   日本の環境に対域に関連する   日本の環境に対域に関連する   日本の環境に対域に対域に関連する   日本の環境に関連する   日本の環境に対域に対域に関連する   日本の環境に対域に関連する   日本の環境に関連する   日本の環境に関連する   日本の環境に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に対域に			不定期	R3年1月	韓国ソウルオフィス及び北海道大学の紹介	冊子
国際連携機構 日本留学海外拠点連携推進事業 (ロシア・CIS地域)成果報告書 不定期 R元年度版 R元年度における活動紹介 冊子 (発行:中国北京オフィス) 冊子・PDF版 R3年3月 (発行:中国北京オフィス) 冊子・PDF版 R3年3月 アフリカルサカオフィス リーフレット 不定期 R1年8月 アフリカルサカオフィスの紹介 冊子 中子・PDF版 日本留学海外拠点連携推進事業 (サブサハラ・アフリカ地域)事業案内 不定期 R3年3月 日本留学海外拠点連携推進事業 (サブサハラ・アフリカ地域)事業条内 不定期 R3年3月 日本留学海外拠点連携推進事業 (サブサハラ・アフリカ地域)事業条内 不定期 R3年3月 日本留学海外拠点連携推進事業 (サブサハラ・アフリカ地域)事業条内 不定期 R3年3月 日本留学海外拠点連携推進事業 (サブサハラ・アフリカ地域)事業条内 下定期 R3年3月 日本留学海外拠点連携推進事業 (サブサハラ・アフリカ地域)事業条内 下定期 R3年3月 日本留学海外拠点連携推進事業 (サブサハラ・アフリカ地域)事業の案内 日本留学海外拠点連携推進事業 (サブサハラ・アフリカ地域)事業を内 レット・PDF版 年度の環境に関連する教育研究活動やエネル 井子・水等の使用量の状況を掲載 冊子、PDF版 HTML版 「サステイナビリティレポートと020 日本留版を表教育研究活動やエネル ドー・水等の使用量の状況を掲載 田子、PDF版 HTML版 Sustainability Report 2020 年1回 R2年9月 年度の環境に関連する教育研究活動やエネル ドー・水等の使用量の状況を掲載 田子、PDF版 HTML版 「サステイナビリティレポート2020の日本語版 中子、PDF版 HTML版 FILE P2年10月 サステイナビリティレポート2020の日本語版 FILE P2年10月 サステイナビリティレポート2020 FILE P2年10月 サステイナビリティレポート2020 FILE P2年10月 サステイナビリティレポート2020 FILE P2年10月 サステイナビリティレポート2020の日本語版 FILE P2年10月 サステイナビリティレポート2020 FILE P2年10月 サステイナビリティレポート2020 FILE P2年10月 サステイナビリティレポート2020 FILE P2年10月 F2年10月 F2年10		北海道大学留学案内ガイド(韓国語版)	不定期	R3年1月	(発行:韓国ソウルオフィス)	冊子
国際連携機構 (ロンア・CIS地域) 成果報告書			不定期	R3年4月		冊子
(英語版)	国際連携機構	(ロシア・CIS地域) 成果報告書	不定期	R元年度版	R元年度における活動紹介	冊子
(サブサハラ・アフリカ地域) 事業案内       不定期       R3年3月       ラ・アフリカ地域) 事業の案内       世ア・アフリカ地域) 事業の案内       世ア・アフリカ地域) 事業の案内       世ア・アフリカ地域) 事業の案内       日本留学海外拠点連携推進事業 (サブサハラ・アフリカ地域) 事業の案内       コント・PDF版         サステイナブル キャンパスマネジ メント本部       エー・大学の使用量の状況を掲載       毎日期間に関する教育研究活動やエネル 中子、PDF版         サステイナビリティレポート2020 フロンティアへの挑戦       年1回       R2年9月       本学の環境に配慮した活動等をまとめ、2019 年度の環境に関連する教育研究活動やエネル ギー・水等の使用量の状況を掲載       冊子、PDF版 HTML版         Sustainability Report 2020       年1回       R2年9月       本学の環境に関連する教育研究活動やエネル ギー・水等の使用量の状況を掲載       冊子、PDF版 HTML版		(英語版)	不定期	R1年8月		冊子
(サブサハラ・アフリカ地域)事業案内         不定期         R3年3月         ラ・アフリカ地域)事業の案内         レット・PDF版           環境報告書2019 あなたの緑とわたしの緑         年1回         R1年9月         本学の環境に配慮した活動等をまとめ、2018年度の環境に関連する教育研究活動やエネルギー・水等の使用量の状況を掲載         冊子、PDF版、HTML版           サステイナブルキャンパスマネジメント本部         毎日         R1年10月日         R1年10月日         環境報告書の日本語版を海外向けに編集した報告書         冊子、PDF版 年度の環境に関連する教育研究活動やエネルギー・水等の使用量の状況を掲載         冊子、PDF版 HTML版           Sustainability Report 2020         年1回日         R2年9月日         本学の環境に関連する教育研究活動やエネルギー・水等の使用量の状況を掲載         冊子、PDF版 HTML版		(サブサハラ・アフリカ地域) 事業案内	不定期	R3年3月	ラ・アフリカ地域) 事業の案内	
サステイナブル キャンパスマネジ メント本部       環境報告書2019 あなたの縁とわたしの縁 年1回 R1年9月 年度の環境に関連する教育研究活動やエネル ドー・水等の使用量の状況を掲載 HTML版         サステイナブル キャンパスマネジ メント本部       年1回 R1年10月 保1年10月 保2年9月 年度の環境に配慮した活動等をまとめ、2019 年度の環境に関連する教育研究活動やエネル ドー・水等の使用量の状況を掲載 HTML版         サステイナビリティレポート2020 フロンティアへの挑戦       F1回 R2年9月 中ステイナビリティレポート2020の日本語版         Sustainability Report 2020       F1回 R2年10日 ア2年10日 サステイナビリティレポート2020の日本語版			不定期	R3年3月	ラ・アフリカ地域) 事業の案内	
# ステイナブル キャンパスマネジ メント本部		環境報告書2019 あなたの緑とわたしの緑	年1回	R1年9月	年度の環境に関連する教育研究活動やエネル	
メント本部       サステイナビリティレポート2020       年1回       R 2 年 9 月       本学の環境に配慮した活動等をまとめ、2019 年度の環境に関連する教育研究活動やエネル ギー・水等の使用量の状況を掲載       冊子, PDF版, HTML版         Sustainability Report 2020       年1回       P 2 年 10 目 P 3 年 10 目 P	サステイナブルキャンパスマネジ	1 - 1	年1回	R 1 年10月		冊子,PDF版
			年1回	R2年9月	年度の環境に関連する教育研究活動やエネル	
			年1回	R2年10月		冊子,PDF版

部 局 名	広報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
	ACTIVITY REPORT 2020	年1回	R2年3月	サステイナブルキャンパスマネジメント本部 が施行したサステイナブルキャンパス構築の ための活動を掲載	冊子,PDF版
サステイナブル キャンパスマネジ メント本部	サステナビリティレポート2021 「知」の探求と挑戦が未来を拓く	年1回	R3年9月	本学の環境に配慮した活動等をまとめ、2020 年度の環境に関連する教育研究活動やエネル ギー・水等の使用量の状況を掲載	冊子,PDF版, HTML版
	Sustainability Report 2021 TBD	年1回	R3年10月	環境報告書の日本語版を海外向けに編集した 報告書	冊子,PDF版
	法学部案内 Be Ambitious	年1回	R3年6月	法学部での学生生活,学修内容や教員等の紹 介	冊子,PDF版
	北大法学論集	年6回	R3年9月	文献の論説, 資料の紹介及び判例研究を掲載	冊子, PDF版
	北大法政ジャーナル	年1回	R2年12月	法学研究科の「秀」及び「優」に相当する修 士論文及びリサーチベーパー,並びに法科大 学院修了者が修了の次年度1月末までに提出 し「秀」及び「優」相当の修士論文と同等の 水準を有すると認められた論文	冊子
法学研究科· 法学部	附属高等法政教育研究センター NewsLetter j-mail	不定期	H28年 9 月	主催シンポジウムの報告,所属教員・研究会の研究内容等を掲載	PDF版
	大志ある法曹をめざして (法科大学院パンフレット)	年1回	R3年3月	法科大学院の教育プログラム,教員の紹介, 入試制度等を掲載	冊子,PDF版
	自己点検評価・外部評価報告書	不定期	H26年11月	法学研究科・法学部の自己点検・評価報告書 法学研究科・法学部の外部評価報告書	冊子,PDF版
	自己点検・評価報告書評価資料集	不定期	H26年11月	法学研究科・法学部の自己点検・評価に関す る資料集	冊子
	知的財産法政策学研究	年3回	R3年9月	知的財産法政策学研究に関する研究報告	冊子,PDF版
	北海道大学大学院水産科学研究院 · 水産科学院 · 水産学部概要	年1回	R3年8月	沿革,組織,講座等の紹介(一般向け)	冊子,PDF版
	北海道大学水産学部 PR誌 aQua	年1回	R3年8月	学部,学院,各学科及び各専攻の紹介(学生 向け)	冊子,PDF版
	北海道大学水産学部附属練習船おしょろ丸	不定期	H27年1月	附属練習船おしょろ丸の概要紹介	冊子
	北海道大学水産学部附属練習船うしお丸	不定期	H14年3月	附属練習船うしお丸の概要紹介	冊子
水産科学院 · 水産科学研究院 ·	北海道大学水産科学研究彙報(Bulletin of Fisheries Sciences, Hokkaido University)	年2回	R3年8月	英文・和文で書かれた報文, 短報等をまとめたもの	PDF版
水産学部	Memoirs of the Faculty of Fisheries Sciences, Hokkaido University(北海道大 学大学院水産科学研究院紀要)	年1回	H29年12月	学術的価値を有し、まとまった研究成果を公表する報文、特定の分野に従来の研究を総合的にまとめた総合論文 (レビュー) 等を掲載	PDF版
	Data Record of Oceanographic Observations and Exploratory Fishing(海洋調査漁業試験要報)	年1回	R3年3月	本学部練習船を用いて行った海洋観測, 生物 調査, 漁業試験結果の紹介	PDF版
	学生寮入寮案内 - 北晨寮	不定期	R3年8月	学生寮(北晨寮)の概要・入寮手続き等を掲載(WEB版)	PDF版
環境科学院·	北海道大学大学院環境科学院の紹介	年1回	R3年度版 (R3年4月)	学院の組織, 各専攻の紹介等, 環境科学院の 概要を掲載	冊子
地球環境科学研究院	英文リーフレット	年1回	R3年度版 (R3年4月)	学院の組織, 各専攻の紹介等, 環境科学院の 概要を掲載	冊子, PDF版
	北海道大学理学部 学部案内	年1回	R3年10月	理学部の学科紹介および概要	冊子, PDF版
	北海道大学理学部広報誌「彩」	年2回	R2年2月	理学部各学科を特集で紹介、理学部OB・OG 紹介、識者による理学と理学部への期待、学 生受賞情報、理学部の歴史等を掲載	冊子,PDF版
	北海道大学理学部広報誌「彩」 90周年特別号		R3年3月	理学部創立90年の歩みを振り返り、10年後に 迎える100周年へのスプリングボードとする	冊子,PDF版
	International Course in Graduate School of Science(理学院パンフレット)	年1回	R3年4月	理学院の紹介 (英文)	冊子,PDF版
	Faculty of Science (理学研究院パンフレット)	不定期	R3年4月	理学研究院の紹介 (英文)	冊子,PDF版
	北海道大学理学部数学科・理学院数学専攻 パンフレット	年1回	R3年6月	数学科・数学専攻のスタッフ一覧,専門分野 の紹介,履修,進路等について掲載	冊子,PDF版
理学院・	Hokkaido Mathematical Journal(紀要)	年3回	R3年10月	研究論文	冊子
理学研究院· 理学部	数学科目ガイド (平成23年度以降の入学者向け)	不定期	H30年 4 月	数学科の学部学生向け科目案内(全学教育科 目,専門科目)	WEB (PDF版)
	数学科目ガイド (令和2年度以降の入学者向け)	不定期	R 2 年12月	数学科の学部学生向け科目案内(全学教育科 目,専門科目)	WEB (PDF版)
	Hokkaido University Preprint Series in Mathematics	不定期	R3年8月	研究論文速報 (HPにて公開)	WEB(HUSCAP)
	Hokkaido University Technical Report Series in Mathematics	不定期	R3年7月	研究集会,特別講演等,本学で講演されたも ののアブストラクト集	WEB(HUSCAP), 冊子
	北海道大学理学部化学科パンフレット	不定期	R3年9月	化学科の研究室・研究内容等の紹介	パンフレット
	Annual Report2020(化学部門)	年1回	R3年7月	各研究室の研究業績・外部資金獲得状況等の 紹介,各種大学院教育プログラム実績の紹介	WEB (PDF版)
	物理学部門年次報告書	年1回	R3年4月	部門の活動一覧、各研究グループの成果報告	WEB
	北海道大学理学部物理学科パンフレット	不定期	H29年 4 月	カリキュラム, 研究室等の紹介	

部局名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版発行年月	掲 載 内 容 等	形態
	北海道大学理学部生物科学科(生物学) 学科案内	不定期	R2年9月	高校生・一般向け講座紹介,入学から卒業までの過程,授業内容,卒業実習について,大学院への進学,卒業後の進路掲載,教員名簿	PDF版 (WEBで も公開)
	北海道大学理学部生物科学科(生物学) 広報	不定期	R3年10月	高校生・一般向け講座紹介、教員紹介、研究動画・生き物紹介、研究トピックス、各種お知らせ、入学から卒業までの過程、授業内容等を掲載(HPにて公開)	WEB
	北海道大学理学部生物科学科 (高分子機能学) パンフレット	年1回	R1年7月	学科内容, 研究室紹介	パンフレット
	北海道大学理学部生物科学科 (高分子機能学) 「高分子図鑑」	不定期	2018年3月	主に個人インタビューに焦点を当てた学科内 容,研究室紹介	WEB (youtube)
	北海道大学理学部生物科学科 (高分子機能学) 広報	不定期	R3年9月	学科内容, 研究室紹介, 留学・国際交流, 卒 業生の声,動画・高分子図鑑など	WEB
理学院 · 理学研究院 ·	理学部SDGsチャネル	不定期	R2年9月	理学部のSDGsの取り組みの広報	デジタルサイ ネージ (理学部 2号館玄関)
理学部	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻 概要	年1回	H28年 5 月	専攻の組織, カリキュラム, 講座紹介・教員 紹介等を掲載	
	北海道大学理学部地球惑星科学科 パンフレット	不定期	H29年 4 月	学科内容の紹介、教員紹介	
	北海道大学地球物理学研究報告	年1回以上	R3年3月	研究論文の発表	WEB (HUSCAP)
	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻 地球惑星ダイナミクス講座	不定期	R 2 年10月	ダイナミクス講座の研究教育活動及び構成員 名簿を掲載	パンフレット
	北海道大学大学院理学院自然史科学専攻 地球惑星システム科学分野	不定期	H28年3月	システム科学講座の研究教育活動及び構成員 名簿を掲載	パンフレット
	北海道大学大学院理学研究院附属 地震火山研究観測センター	不定期	R3年4月	学部学生を対象として、沿革、分野の紹介 等、センターの概要を掲載	パンフレット
	The Institute of Seismology and Volcanology Faculty of Science, Hokkaido University	不定期	H24年3月	外国人研究者及び留学生等を対象として,沿 革,分野の紹介等,センターの概要を掲載	パンフレット
	北海道大学大学院理学研究院附属 地震火山研究観測センター年報	年1回	H30年8月	センターとしての活動・研究活動・教育活動 及び構成員名簿を掲載	WEB (PDF版), 冊子
薬学研究院・薬学部	生命科学の最先端へ	隔年	R3年7月	学部紹介パンフレット	冊子
	北海道大学大学院農学研究院 · 大学院農学院 · 農学部概要	年1回	R3年9月	農学研究院・農学院・農学部の沿革等の概要 を掲載(和文・英文併記)	冊子,PDF版
	北海道大学大学院農学研究院邦文紀要	年1回	R2年3月	農学研究院・農学部の学術研究論文誌	冊子,PDF版
	Journal of the Research Faculty of Agriculture, Hokkaido University(北海道 大学大学院農学研究院欧文紀要)	年1回	R2年3月	農学研究院・農学部の学術研究論文誌	冊子,PDF版
農学院 · 農学研究院 ·	北海道大学大学院農学研究院邦文紀要別冊 「農経論叢」	年1回	R 2 年12月	農業経済に関する学術研究論文誌	冊子,PDF版
農学部	Insecta Matsumurana	年1回	R2年10月	昆虫学に関する学術研究論文誌	冊子,PDF版
	農学部学部案内	不定期	R3年8月	各学科・附属施設の内容紹介 (冊子)	冊子,PDF版
	20th Anniversary Commemorative Bulletin of the Special Post Graduate Program in English Graduate School of Agriculture Hokkaido University: 1997-2017	不定期	H29年11月	農学院英語コース20周年記念誌	冊子,PDF版
	北海道大学大学院農学院(リーフレット)	不定期	R2年9月	農学院の内容紹介	冊子,PDF版
	北海道大学大学院先端生命科学研究院パンフレット	不定期	H26年3月	構成,研究活動,連携,支援体制,人材育成,研究室紹介	
	先端生命科学研究院リーフレット	不定期	R3年7月	構成, 研究活動, 産学連携, 支援体制, 人材育成, 研究室紹介	リーフレット, PDF版(デジタ ル版)
	先端生命科学研究院リーフレット 英語版	不定期	R3年7月	構成, 研究活動, 産学連携, 支援体制, 人材育成, 研究室紹介	リーフレット, PDF版(デジタ ル版)
	Faculty of Advanced Life Science "Faculty Booklet"	不定期	R3年6月	研究者紹介	冊子, PDF版 (デジタル版)
	先端生命科学研究院 広報	不定期	R3年4月	研究活動, 研究室紹介	WEB
生命科学院・	次世代物質生命科学研究センター Annual Report 2019年度	年1回	R 2 年12月	研究活動,研究業績,研究資金, 設備紹介	冊子,PDF版
先端生命科学研究院	次世代物質生命科学研究センター Annual Letter 2020年度	年1回	R3年12月	研究者紹介、トピックス、研究業績	冊子, PDF版 (デジタル版)
	次世代物質生命科学研究センター 広報	不定期	R3年4月	構成,研究活動,研究業績,研究資金,設備紹介	WEB
	北海道大学大学院生命科学院パンフレット	年1回	2021年度版	大学院受験生への学院紹介, 研究概要, 入試 概要, 施設・設備紹介	冊子,PDF版
	北海道大学薬学部 大学院生命科学院 生命科学専攻 生命医薬科学コース 臨床薬学専攻 パンフレット	隔年	R3年7月	薬学部、生命医薬科学コース、臨床薬学専攻の概要、カリキュラム、研究活動、施設・設備紹介	冊子
	北海道大学大学院生命科学院生命科学専攻 生命融合科学コース パンフレット	不定期	H24年 5 月	コース概要	冊子
	北海道大学大学院生命科学院生命科学専攻 生命融合科学コース 研究室紹介	不定期	R3年6月	コース概要,研究室紹介	冊子, デジタル版

	部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
### 460×7×14年71-7×1		生命科学専攻 生命融合科学コース 広報	不定期	R3年4月	研究活動,研究室紹介	冊子, WEB
金分子の子科学コース   小の回   名号中級   日子   日子   日子   日子   日子   日子   日子   日			不定期	R3年度版	コース概要、研究室紹介(日本語)	PDF版
生命シタテムをかつース	生命科学院・		不定期	R3年度版	コース概要,研究室紹介(英語版)	PDF版
カース・	先端生命科学研究院		不定期	R3年3月	コース概要,研究室紹介(英語版)	冊子
			不定期	R3年6月	コース概要,研究室紹介	
		1017/27 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	不定期	R3年4月	研究活動, 研究室紹介	冊子, WEB
数字等所能。 北海水子/下水(株) 中水(大) 中水(大		北海道大学教育学部案内	3年に1回	R3年3月		冊子, PDF版
世の祖人子や大学院教育学院が認及社会 年 2 回 R 3 年 5 日 財政の成及を確立として複数 田子 7 PDF版 地帯遠大学大学院開放に様メディア・		北海道大学大学院教育学院入学案内	3年に1回	R3年3月	各研究室を紹介	冊子,PDF版
## 2		北海道大学大学院教育学研究院紀要	年2回	R3年6月	研究の成果を論文として掲載	冊子, PDF版
報光学院案内   サーリー   15月1年 月   アジの日本   和成 現代以中級条を到象   サーナ・DF版   開発学院   R 2 年10月   月   アジの日本   和成 現代以中級条を到象   サーナ・DF版   開発学院   R 2 年10月   月   日間広 根 ア イ ア・製売学院   R 2 年10月   R 3 年 4 月   学生の研究 R 3 年 4 月   R 3 年 4 月   学生の研究 R 3 年 4 月   学生の研究 R 3 年 4 月   学生の研究 R 3 年 5 月   日 2 年 7 月   日 2 年 8 年 8 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 8 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 9 月   日 2 年 8 年 9 月   日 2 年 9	7 H 7 H 7	北海道大学教職課程年報	年1回	R3年3月		冊子, PDF版
照常の様々メイア - 現分学院 - 製売学シャーナル - 株2 回 R 3 年 4 月 安全の研究基文 - サンション研究院 - 製売学院 - 製売学院 - 製売学シャーナル - 株2 回 R 3 年 4 月 安全の研究基文 - サンション研究院 - 製売学院   関係の課メディア・製売学院   関係の課メディア・製売学院   関係の課メディア・製売学院   関係の課メディア・製売学院   関係の課メディア・製売学院   関係の課メディア・製売学院   関係の課メディアの製文   年 1 回 R 3 年 3 月 次イスア・調えまニケーション研究   年 1 回 R 3 年 3 月 次イスア・調えまニケーション研究   年 1 回 R 3 年 3 月 次月の研究基文   サンドンア・調査学院   関係の課外ディアの製文   東子・PDF版   R 3 年 5 月 日   日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2 日 2			年1回	H31年4月	学院の沿革、組織、職員数等の概要を掲載	冊子, PDF版
照水学院。			臨時発行	R2年10月		PDF版
## 7. PDF版 製化学院 国際公職 メディア・ 製化 201 (19 つレット)	国際広報メディア・ 観光学院, メディア・フミュニ	国際広報メディア・観光学ジャーナル	年2回	R3年4月		冊子, PDF版
自己点検・評価報告書 外部評価報告書 外部評価報告書 水空期   R3年3月   自己点検・評価報告 外部評価報告   冊子   PDF版   保養科学院・医学部保養学科の変元 組織、販食力・学生成等の機変学   冊子   PDF版   接続 (東文年等)   東2回   R3年4月   中のニュース・トピックス。 お知らせ等を利   冊子   PDF版   表演式学大学院保養科学研究院は報   年2回   R3年4月   中のニュース・トピックス。 お知らせ等を利   冊子   PDF版   表演式学大学院保養科学研究院は報   年1回   R1年6月   保養科学院・医学部保養学科・サンフレット   年1回   R1年6月   保養科学院・医学部保養学科・サンジを制象   R2年3月   北海道大学大学院保養科学院・大学院保養科学院・大学院保養科学院・大学院保養科学院・大学院保養科学院・大学院保養科学院・大学院保養科学院・大学院保養科学院・大学院保養科学院・大学院保養科学院・大学院保養科学院・大学院保養科学院・大学院保養科学院・大学院保養科学院・大学院保養科学科・中期日標・中期計画・研究・力・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・対・	メディア・コミューケーション研究院	観光学院 国際広報メディア専攻	年1回	R1年10月	学院の紹介,入試日程概要	冊子,PDF版
北海道大学大学院保健科学研究院・大学院 年1回 R3年度版 保健科学研究院・保健科学院・医学部保健学 冊子、PDF版 北海道大学及学部保健学科(大) マンフレット 年1回 R3年 月 医学部保健学科(英) 田子、PDF版 保健科学院 医学部保健学科(大) アレット 展年 R3年 月 医学部保健学科(大) アレット 展年 R3年 月 日本 治学、研究体のメッセージを掲載 アレア 保健科学院 医学部保健学科(大) アレット 展年 R3年 月 日本 治学、研究体験 中元・アン・ 1 日本 2 中元 2 中		メディア・コミュニケーション研究	年1回	R3年3月	教員の研究報告	冊子, PDF版
日本語		自己点検·評価報告書 外部評価報告書	不定期	R3年3月	自己点検・評価報告、外部評価報告	冊子
北海道大学大学院保健科学研究院広報			年1回	R3年度版	科の沿革,組織,職員数,学生数等の概要を	冊子,PDF版
北海道大学大学院保健科学院パンフレット   Rf			年2回	R3年4月	保健科学研究院・保健科学院・医学部保健学 科のニュース,トピックス,お知らせ等を掲	冊子,PDF版
保健科学院・ 保健科学院 (安学部保健科学研究院・大学院 保健科学研究院・大学院 保健科学院 (安学部保健学科) 年報 年1回 R3年10月 沿革、組織、研究活動、教育活動等を掲載 2年1月 沿車・ (東京体制)と将来構想、中間・ (東海武大学大学院保健科学院 (安学部保健学科) 年報 R2年1月 用書、沿車・ (東京体制)と将来構想、中間・ (東海武大学大学院保健科学院 (安学部保健学科) 年報 R2年1月 用書、伊工・ (東京体制)と将来構想、中間・ (東京体制)と称えた。 (東京体制)と称えた。 (東京体制)と称えた。 (東京体制)と称えた。 (東京体制)と称えた。 (東京体制)と称えた。 (東京体制)と称えた。 (東京体制学研究院・工学院保健科学研究院・工学院保健科学院・大学院保健科学研究院・工学院の研究院・工学院保健科学院・大学院保健科学研究院・工学院の「 (東京体) (東京体制学研究院・工学院保健科学院・大学院保健科学研究院・工学院の (東京体)		北海道大学医学部保健学科パンフレット	年1回	R1年6月		冊子, PDF版
保健科学院 (医学部保健学科) 年報 平1回 R3 平10月		北海道大学大学院保健科学院パンフレット	隔年	H30年6月		冊子, PDF版
北海道大学大学院保障科学院   北海道大学工学部の東空   中国   中国   市   東京   中国   市   東京   中国   市   東京   中国   市   東京   中国   中国   市   東京   中国   中国   市   東京   中国   中国   市   東京   中国   中国   中国   中国   中国   中国   中国   中	保健科学院・		年1回	R3年10月	沿革,組織,研究活動,教育活動等を掲載	PDF版
R2年9月	<b>不</b> 使伴子训 九	北海道大学大学院保健科学院 北海道大学医学部保健学科	不定期	R2年1月	期目標・中期計画,研究,教育,社会貢献活動,国際交流,管理運営等,施設,共同利用・共同研究拠点等の自己点検・評価を報告	PDF版
H27年 6 月   大学院保健科学研究院フロアガイド   一		外部評価報告書	不定期	R2年9月	究体制と将来構想,中期目標・中期計画,研究,教育,社会貢献活動,国際交流,管理運営等,施設,共同利用・共同研究拠点等の評	PDF版
工学部概要(和文・英文)			不定期	H27年 6 月	院・大学院保健科学研究院フロアガイド(日	冊子,PDF版
広報誌「えんじにあRing」         R3年8月         を掲載         PDF版           工学高数			年1回	R3年7月	沿革,組織,職員数等,工学研究院・工学院・工学部の概要を掲載	冊子,PDF版
リーフレット (和文/英文併記)			年3回	R3年8月		
エ学院・ 工学院・ 工学研究院・ 工学部  R3年3月 ログラムで提供している e ラーニングに関す			不定期	R3年3月		冊子
工学院・ 工学研究院・ 工学部       北大フロンティアプログラム(留学生就職 促進プログラム)パンフレット       不定期       R2年3月       北大フロンティアプログラムの概要、カリ キュラム、コンソーシアム企業などを紹介       パンフレット         北海道大学工学部のすべて 2021・2022 (学部紹介パンフレット)       隔年       R3年7月       工学部への入学を目指す高校生等を対象に、 工学部の概要、特に4学科15コースの内容を 中心に紹介       冊子、PDF版         Girls, Be ambitious!       不定期       H28年3月       工学部への入学を目指す女子学生を対象に、 工学部を紹介するパンフレット       冊子、PDF版         就職に強い!工学部       不定期       R3年7月       工学部・工学系大学院の就職状況を紹介       冊子、PDF版         english engineering education PROGRAM       不定期       H31年3月       グローバル工学人材養成プログラム (e3) の 概要紹介       冊子・PDF版         北海道大学工学部 情報エレクトロニクス       毎1回       P3年4月       工学部情報エレクトロニクス学科の紹介       冊子、PDF版			不定期	R3年3月	ログラムで提供しているeラーニングに関す	パンフレット
<ul> <li>工学部</li> <li>北海道大学工学部のすべて 2021・2022 (学部紹介パンフレット)</li> <li>隔年 R3年7月 (ア部の概要,特に4学科15コースの内容を 中心に紹介</li> <li>Girls, Be ambitious! 不定期 H28年3月 (工学部への入学を目指す女子学生を対象に、工学部を紹介するパンフレット 元学部を紹介するパンフレット</li> <li>就職に強い!工学部 不定期 R3年7月 (工学部・工学系大学院の就職状況を紹介 冊子,PDF版 中の場合を 中ののと 中ののと 中ののと 中ののと 中ののと 中ののと 中ののと 中のの</li></ul>	工学院 · 工学研究院 ·		不定期	R2年3月		パンフレット
T字部を紹介するパンフレット   ボデ・PDF版   京職に強い!工学部   不定期   R3年7月   工学部を紹介するパンフレット   ボデ・PDF版   R3年7月   工学部・工学系大学院の就職状況を紹介   冊子・PDF版   中間に対している。   中部・アルス   中の・アルス   中の・アルス   中の・アルス   中の・アルス   中の・アルス   中の・アルス   中の・アルス   中の	工学部		隔年	R3年7月	工学部の概要、特に4学科15コースの内容を	冊子,PDF版
english engineering education PROGRAM 不定期 H31年 3 月 グローバル工学人材養成プログラム (e3) の 概要紹介 北海道大学工学部 情報エレクトロニクス 年 1 回 P 3 年 4 日 丁学報情報エレクトロニクス学科の紹介 冊子 PDF版		Girls, Be ambitious!	不定期	H28年3月		冊子,PDF版
english engineering education PROGRAM 不定期 H31年3月 概要紹介		就職に強い!工学部	不定期	R3年7月	工学部・工学系大学院の就職状況を紹介	冊子, PDF版
		english engineering education PROGRAM	不定期	H31年3月		冊子・PDF版
			年1回	R3年4月	工学部情報エレクトロニクス学科の紹介	冊子,PDF版

	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形	態
	E.O	不定期	R3年4月	工学部情報エレクトロニクス学科の紹介	冊子,	PDF版
□学院・ □学研究院・	北海道大学大学院工学研究院附属エネル ギー・マテリアル融合領域研究センター パンフレット(和文・英文)	隔年	R1年6月	センターの沿革, 組織, 研究内容, 業績等統 計を掲載	冊子	
工学部	大学院工学研究院附属エネルギー・ マテリアル融合領域研究センター 複合量子ビーム超高圧顕微解析研究室	不定期	H30年10月	超高圧電子顕微鏡及び周辺機器の仕様, 研究 例, 沿革等を掲載	冊子	
	北海道大学大学院総合化学院概要 (英語併記)	不定期	R3年3月	沿革,組織,総合化学院の概要,研究室紹介 等を掲載	冊子,	PDF版
念合化学院	ANNUAL REPORT 2019	年1回	R3年3月	総合化学院の特色ある教育活動, 学生状況, 分野 (研究室) の教育研究活動を掲載	冊子,	PDF版
	北海道大学大学院総合化学院紹介ポスター(パネル)	不定期	H27年 4 月	総合化学院の概要等を紹介	ポスタ	_
	北海道大学大学院経済学研究院·大学院 経済学院·経済学部概要	年1回	R2年4月	経済学研究院・経済学院・経済学部の沿革, 組織, 学生数, 職員数等の概要を掲載	冊子,	PDF版
	北海道大学大学院経済学院 (紹介パンフレット)	不定期	H29年 4 月	経済学院への入学を目指す方を対象に、研究 科の構成、入試情報、研究内容等を紹介	冊子,	PDF版
経済学院・ 経済学研究院・	北海道大学アカウンティングスクール (紹介パンフレット)	不定期	H29年 4 月	会計専門職大学院への入学を目指す方を対象 に、入試情報、講義科目等を紹介	冊子,	PDF版
圣済学部	経済学部のすべて(紹介パンフレット)	不定期	H29年 4 月	経済学部への入学を目指す方を対象に, 学部の 構成, 授業科目, 入試情報, 学生生活等を紹介	冊子,	PDF版
	経済学研究(紀要)	年2回	R3年6月	経済学研究院・経済学院所属の教員・大学院 生の研究論文を掲載	冊子,	PDF版
	地域経済経営ネットワーク研究センター 年報	年1回	R3年3月	経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究 センターの研究成果を発信	冊子,	PDF版
	北海道大学大学院医学研究院·大学院 医学院·医学部医学科概要(日本語版)	年1回	R3年10月	医学研究院・医学院・医学部の沿革,組織, 職員数,学生数等の概要を掲載	冊子,	PDF版
	北海道大学大学院医学研究院 · 医学院 · 医学部医学科概要 (英語版)	年1回	R2年12月	医学研究院・医学院・医学部の沿革,組織,職員数,学生数等の概要を掲載(英文)	冊子,	PDF版
	北海道大学大学院医学研究院·大学院 医学院·医学部医学科広報	年3回	R3年7月	医学研究院・医学院・医学部医学科のニュース, トピックス, お知らせ等を掲載	冊子,	PDF版
	北海道大学大学院医学研究院·大学院 医学院·医学部医学科紹介DVD	不定期	H29年7月	入学志願者,一般向けにカリキュラム,医学研究院・医学院・医学部医学科の特色等を紹介	DVD	
	北海道大学医学部医学科紹介動画 (日本語版)	不定期	H30年10月	入学志願者,一般向けに医学部医学科の特色 等を紹介	YouTu	ıbe動画
	北海道大学医学部医学科紹介動画 (英語版)	不定期	H30年10月	入学志願者,一般向けに医学部医学科の特色 等を紹介	YouTu	ıbe動画
	北海道大学医学部医学科案内	年1回	R3年6月	入学志願者, 一般向け医学科案内	冊子,	PDF版
ミ学院・ ミ学研究院・	VIS-Voice of the International Students- 国際連携部門だより(英語版)	年3回	R2年6月	留学生(大学院生・交換留学生), 医学科学 生の意見, 国際交流イベントの紹介・参加者 の感想等を掲載	冊子,	PDF版
<b>医学部</b>	北海道大学 大学院医学院 修士課程案内 (日本語版)	年1回	R3年5月	入学志願者、一般向け医学院修士課程案内	冊子,	PDF版
	北海道大学 大学院医学院 修士課程案内 (英語版)	年1回	R3年7月	入学志願者,一般向け医学院修士課程案内 (英文)	冊子,	PDF版
	北海道大学 大学院医学院 修士課程公衆 衛生学コース 学生募集チラシ	不定期	H30年5月	入学志願者向けに募集案内	チラシ	
	北海道大学 大学院医学院 修士課程公衆 衛生学コース 学生募集チラシ (英語版)	不定期	R3年3月	入学志願者向けに募集案内 (英文)	チラシ	
	北海道大学 大学院医学院 博士課程案内 (日本語版)	年1回	R3年5月	入学志願者、一般向け医学院博士課程案内	冊子,	PDF版
	北海道大学 大学院医学院 博士課程案内 (英語版)	年1回	R3年7月	入学志願者,一般向け医学院博士課程案内 (英文)	冊子,	PDF版
	北海道大学大学院医学研究院 連携研究センター「フラテ」概要	年1回	R3年3月	センターの組織, 研究概要, セミナー, 研究 業績等を掲載	冊子,	PDF版
	北海道大学医学部保健学科案内	年1回	H29年度版	受験生向け保健学科案内		
歯学院・	北海道大学大学院歯学研究院・大学院 歯学院・歯学部概要	年1回	R3年9月	沿革,組織等,研究院・学院・学部の概要を 掲載	冊子,	PDF版
当II 龙陀	北海道大学歯学部学部紹介	年1回	R3年9月	歯学部を志願する高校生向けの学部案内	冊子,	PDF版
	北海道大学大学院歯学院紹介	年1回	R3年7月	歯学院の志願者向けの大学院案内	冊子,	PDF版
		不定期	R1年6月	獣医学部案内	冊子	
	光れる北を	71.VCV0				
	THe Japanese Journal of Veterinary Research	年4回	R1年8月	欧文による研究論文の発表、広報	冊子,	PDF版
哲学部	THe Japanese Journal of Veterinary		R1年8月 H30年2月	欧文による研究論文の発表, 広報 獣医学研究院・獣医学部の沿革・組織・職員 数等の概要を掲載	冊子,	PDF版
育学研究院・ 育学部	THe Japanese Journal of Veterinary Research 大学院獣医学研究院・大学院獣医学院・	年4回		獣医学研究院・獣医学部の沿革・組織・職員	冊子	PDF版 PDF版
京学部 	THe Japanese Journal of Veterinary Research 大学院獸医学研究院·大学院獸医学院· 獸医学部 概要(日本語·英語版)	年4回 不定期	H30年2月	獣医学研究院・獣医学部の沿革・組織・職員 数等の概要を掲載 研究院の概要、組織、研究活動、教育活動等	冊子	
学部   	THe Japanese Journal of Veterinary Research 大学院獣医学研究院・大学院獣医学院・ 獣医学部 概要(日本語・英語版) 大学院獣医学研究院・獣医学部 年報	年 4 回 不定期 2 年 に 1 回	H30年2月 R2年9月	獣医学研究院・獣医学部の沿革・組織・職員 数等の概要を掲載 研究院の概要,組織,研究活動,教育活動等 を掲載	冊子,	

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形態
	自己点検評価報告書	6年に1回	H27年6月	獣医学研究科・獣医学部の点検・評価事項を 公表	冊子(外部評価 報告書に同梱), PDF版
獣医学院・	One Healthフロンティア卓越大学院 プログラム(パンフレット日本語版)	1回	H31年2月	One Healthフロンティア卓越大学院プログラムの概要を掲載	冊子,PDF版
獣医学研究院· 獣医学部	WISE Program for One Health Frontier Graduate School of Excellence (パンフレット英語版)	1回	H31年2月	One Healthフロンティア卓越大学院プログ ラムの概要を掲載	冊子,PDF版
	One Healthフロンティア卓越大学院 プログラムNEWS LETTER Vol.1	年2回	R1年6月	プログラムの特徴, 学生支援制度, イベント案内, 活動報告, 教員・学生のメッセージを掲載	冊子,PDF版
医理工学院	北海道大学 大学院医理工学院 修士・博士後期課程案内(日本語版)	年1回	R3年4月	医理工学院修士課程・博士後期課程案内	冊子,PDF版
<u> </u>	北海道大学 大学院医理工学院 修士·博士後期課程案内(英語版)	年1回	R3年4月	医理工学院修士課程·博士後期課程案内(英文)	冊子,PDF版
国際感染症学院	北海道大学 大学院国際感染症学院 設置案内(日本語·英語版)	不定期	H28年8月	大学院国際感染症学院の開設・カリキュラム 案内	冊子,PDF版
	北海道大学大学院国際食資源学院 入学希望者向けガイドブック	年1回	R3年7月	国際食資源学院の紹介	冊子,PDF版
国際食資源学院	北海道大学大学院国際食資源学院概要	年1回	R1年7月	国際食資源学院の沿革等の概要を掲載(和 文・英文併記)	冊子,PDF版
	北海道大学大学院文学研究院・文学部概要	年1回	R2年8月	文学部の沿革,歴代学部長,組織運営等の概要を掲載	PDF版
	北海道大学大学院文学院案内	年1回	R3年6月	文学院の特徴,学院の担当教員や専攻・研究 室紹介,学生生活、授業内容,入試情報,進 路・就職情報等を掲載	冊子,PDF版
	北海道大学文学部案内	年1回	R3年7月	学部の担当教員や履修コース紹介, 学生生活, 授業内容, 留学情報, 入試情報, 進路・ 就職情報等を掲載	冊子,PDF版
	北海道大学文学部学外評価委員会報告書	不定期	H27年12月	外部評価報告書	冊子
	北海道大学文学研究院紀要	年3回	R3年7月	文学研究院専任教員の研究成果を論文として掲載	ジトリ)
	北海道大学大学院文学院研究論集	年1回	R3年3月	文学院・文学研究科大学院学生の研究成果を論文として掲載	WEB(機関リポ ジトリ)
	北海道大学大学院文学研究科研究叢書	年1~3回	H30年11月	文学研究科専任教員の研究成果や共同研究の公表	冊子
	Journal of the Faculty of Humanities and Human Sciences	年1回	R3年3月	文学研究院教員及び文学院・文学研究科大学 院学生の研究成果を英文論文として掲載	冊子, WEB (機 関リポジトリ)
	北海道大学大学院文学研究院ライブラリ	年1~2回	R3年3月	文学研究院専任教員の研究成果や共同研究の 成果,公開講座のテクストを掲載	冊子
文学研究院 · 文学院 ·	北海道大学大学院文学院 若手研究者支援リーフレット	不定期	R3年3月	文学研究院が大学院生向けに実施している独 自の支援事業の概要を紹介するリーフレット	冊子
文学部	文学院紹介動画	不定期	H30年6月	2019年4月設置の文学院の特徴を紹介する動画	動画
	北大人文学カフェ紹介ダイジェスト動画	不定期	R3年7月	文学研究院の研究を紹介する双方向型イベント北大人文学カフェの第1回〜第26回のダイジェスト動画	動画
	プラス 1 ピースの読書会・動画版	不定期	R3年4月	文学研究院・書香の森で行っていたプラス1  ピースの読書会の動画版	動画
	文学院大学院進学説明会配付資料 (教養深化プログラム)	不定期	R1年6月	2019年4月開設の教養深化プログラムの特徴 を紹介するリーフレット	冊子,PDF版
	文学院大学院進学説明会配付資料	年1回	R3年6月	文学院の入試情報、カリキュラム、支援情報、進路情報、学位論文題目などを掲載 (R2年度は進学説明会をオンライン開催のため、冊子体は制作せずPDF版を配付)	PDF版
	Faculty of Humanities and Human Sciences/ Graduate School of Humanities and Human Sciences/ School of Humanities and Human Sciences	不定期	R1年7月	文学研究院・文学院・文学部の海外向け英文 パンフレット、文学研究院・文学院・文学部 の概要をコンパクトにまとめて掲載	冊子,PDF版
	北海道大学大学院 文学院紹介リーフレット	不定期	H29年10月	2019年4月設置の文学院の特徴を紹介するリーフレット	
	留学ガイドブック	年1回	R2年3月	部局間協定校へ留学を希望する,文学研究 科・文学部の学生向けガイドブック	冊子
	北海道大学大学院情報科学院パンフレット	年1回	R3年4月	情報科学院の研究内容等に関する紹介	冊子,PDF版
情報科学院 · 情報科学研究院	北海道大学大学院情報科学院 (日本語・英語併記リーフレット)	年1回	R3年4月	情報科学院の紹介	冊子,PDF版
	IST NEWS	年4回	R3年10月	情報科学院・情報科学研究院のニュースを掲載	冊子,PDF版
	外部評価委員会評価報告書	不定期	R1年5月	公共政策学連携研究部・教育部の外部評価報 告書	冊子,PDF版
公共政策学	年報公共政策学	年1回	R3年3月	公共政策に関する研究論文 2010年度開催 HODS 文 理 副 今 ト こ ト 。 3 に	冊子, PDF版
教育部 · 公共政策学	HOPS BOOKLET 2020 HOPS文理融合 ルネッサンス―先端的政策課題のゆくえ―	不定期	R2年9月	2019年度開催 HOPS文理融合セミナーシリーズ (全6回) の記録   ***********************************	冊子
連携研究部	大学院案内(日本語版)	年1回	R3年6月	本大学院の特色、カリキュラム、学修環境等を紹介	冊子,PDF版
	リーフレット	不定期	H28年 3 月	本大学院の特色,カリキュラム,学修環境等 を簡略に紹介	リーフレット

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形態
	北海道大学病院概要	年1回	R3年8月	診療実績等の概要を掲載	冊子, PDF版
	北海道大学病院 医師臨床研修パンフレット	年1回	R3年5月	医師臨床研修プログラムを掲載	冊子,PDF版
	北海道大学病院 医師臨床研修プログラム	年1回	R3年4月	医師臨床研修プログラムを掲載	冊子, PDF版
	北海道大学病院 歯科医師臨床研修プログラム	年1回	R3年4月	歯科医師臨床研修プログラムを掲載	冊子,PDF版
	北海道大学 臨床研修センター Resident NEWS letter「AMBITION」	年4回 R3.1以降, 休刊中	R3年1月	当院医師臨床研修に係る最新情報を掲載	紙媒体, PDF版
	北海道大学病院 内科専門研修プログラム	不定期	R3年8月	当院内科領域の専門研修に係る情報を掲載	リーフレット, PDF版
北海道大学病院	北海道大学病院 外科専門研修プログラム	不定期	R3年8月	当院外科領域の専門研修に係る情報を掲載	リーフレット, PDF版
	北海道大学病院 地域医療連携福祉 センター NEWS LETTER	年2回	R3年6月	各診療科外来診療等紹介や院内の最新情報等 を掲載	冊子,PDF版
	北海道大学病院 腫瘍センターNEWS	不定期	H26年11月	腫瘍センターの活動やがん診療に関する情報 を掲載	PDF版
	北海道大学病院 看護部キャリア支援室 だより「つながり」	年3回	R3年8月	当院看護師の成長支援に繋がる情報を掲載	冊子,PDF版
	北大病院 薬剤部NEWS	年4回	R 2 年12月	薬剤師業務及び医薬品に係る情報を掲載	冊子,PDF版
	北海道大学病院 薬剤部概要	不定期	R 2 年12月	当院薬剤部業務の概要を掲載	PDF版
	北海道大学病院 臨床研究開発センター News	年12回	R3年10月	医療・ヘルスサイエンス研究開発機構に係る 情報を掲載	PDF版
	北海道大学低温科学研究所概要	隔年	R2年9月	研究所の沿革,組織,職員数等の概要を掲載	冊子
	北海道大学低温科学研究所 年次自己点検評価報告書 – 年報 –	年1回	R3年9月	研究所の活動状況,研究成果,自己点検評価 の結果を掲載(年報)	冊子
低温科学研究所	北海道大学低温科学研究所 外部点検評価報告書	不定期	R2年3月	研究所の組織及び運営, 教員人事, 研究活動, 大学院教育及び社会教育等の外部評価を掲載	冊子
以価件子切九別	低温研ニュース	年2回	R3年6月	研究紹介, シンポジウム報告, 共同研究, 人 事異動等を掲載	冊子
	環オホーツク観測研究センター リーフレット (日本語版・英語版)	不定期	H26年9月	環オホーツク観測研究センターの研究内容を 紹介	冊子
	北海道大学低温科学研究所 [ダイジェストガイド]	不定期	H29年1月	研究所の歴史, 最新の研究内容, 組織を紹介	冊子
<b>奉了利兴丽亦</b> 武	北海道大学電子科学研究所 (概要)	隔年	H31年4月	研究所の概要の紹介用パンフレット (日本語 と英語の併記)	冊子
電子科学研究所	研究活動 - 点検評価報告書 -	毎年	R2年11月	研究所の研究教育活動の年次報告	冊子
	第6回 外部評価報告書	不定期	R3年3月	研究所の研究教育活動の外部評価報告	冊子
	北海道大学遺伝子病制御研究所概要	隔年	R3年2月	目的と使命,沿革,歴代所長・施設長及び名 誉教授,機構,職員・学生,研究活動,附属 施設,教育活動,代表論文,北海道大学配置 図を掲載	冊子,PDF版
遺伝子病制御研究所	北海道大学遺伝子病制御研究所年報	年1回	R3年3月	総論、機構,管理運営,社会貢献,附属施設,予算規模等,研究成果,教育活動,共同利用・共同研究拠点,研究活動,施設・設備,各種委員会等を掲載	冊子,PDF版
ነህ! ቻጌ/ሃ	北海道大学遺伝子病制御研究所 外部評価報告書	不定期	H26年8月	理念・目標、沿革、研究体制と将来構想、中期目標・中期計画、研究、教育、社会貢献活動、国際交流、管理運営等、施設、共同利用・共同研究拠点、附属施設、各分野における研究概要と成果等を掲載	
	IGM News Letter	年1回	R3年3月	トピックス, お知らせ, 共同研究採択課題一 覧, 研究業績紹介, 新任教員紹介等を掲載	冊子,PDF版
触媒科学研究所	触媒科学研究所概要	年1回	R3年5月	研究所の沿革,組織,研究概要を掲載 (英文 併記)	冊子
加级水平于一种无例	触媒科学研究所年報	年1回	R3年8月	沿革,組織,研究活動状況,教育活動状況を 掲載	冊子
	北海道大学 人獸共通感染症 国際共同研究所 (日本語·英語版)	2年に1回	R1年7月	人獣共通感染症国際共同研究所の概要を掲載	冊子
人獸共通感染症 国際共同研究所	人獸共通感染症国際共同研究所年報	年1回	R2年3月	研究所の概要,組織,研究活動,教育活動等 を掲載	冊子
	外部評価報告書	6年に1回	H27年3月	外部評価委員による, 人獣共通感染症国際共 同研究所の研究業績・施設・設備等の評価を 公表	冊子
人獣共通感染症 国際共同研究所	自己点検評価報告書	6年に1回	H27年3月	人獣共通感染症国際共同研究所の点検・評価 事項を公表	冊子 (外部評価 報告書に同梱)
	北海道大学附属図書館年報	年1回	R3年9月	附属図書館の活動のトピックス紹介, 統計, 組織, 人事往来等を掲載	PDF版
附属図書館	北海道大学附属図書館本館利用案内 / HOKKAIDO UNIVERSITY LIBRARY GUIDE for CENTRAL LIBRARY (リー フレット) 日英併記版	不定期	R 2 年12月	附属図書館本館の利用に関する案内等を掲載	冊子

接近五大学科学園の旅港田園の海田町町   本の原   東京中の月   関係回動を認め着の利用に関する業別を   中子   日子   日子   日子   日子   日子   日子   日子	į.	部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形態
指している。				不定期			冊子
おいっとでは、			Hokkaido University North Library Guide	不定期	R2年9月		冊子
Scale Collection	附属	図書館	北海道大学附属図書館北方資料概要	不定期	H30年6月		冊子
1				不定期	H30年3月		冊子
##OKRAIDO UNIVERSITY (機変)			楡蔭 (北海道大学附属図書館報)	年2回	R3年10月		PDF版
				不定期	H28年10月		冊子
# 5. 《法海波/学スラブ・ユーラン (不定期 R2 年 1月 R2			ターニュース	年4回	R3年6月		冊子,PDF版
スクラル			する(北海道大学スラブ・ユーラシア研究	不定期	R2年3月		冊子,PDF版
ステナ・ユーラシア (				年1回	R2年11月	投稿論文を欧文で掲載 (レフェリー制)	冊子,PDF版
スクブ・ ユーシンア (研究センター			スラヴ研究 (和文学術雑誌)	年1回	R3年9月	投稿論文を和文で掲載 (レフェリー制)	冊子,PDF版
□ スーランア			スラブ・ユーラシア研究報告集	不定期	R 2 年12月	研究報告会等での報告抄録等を掲載	冊子,PDF版
日本学校の大学学校の大学学校の大学学校の大学学校の大学学校の大学学校の大学学校の大	ユー	ラシア	Slavic-Eurasian Research Center News	年1回	R3年3月		冊子,PDF版
# 1 18   K-2-10   点級度   19   19   19   19   19   19   19   1	19/176		Slavic Eurasian Studies(欧文論集)	不定期	H30年8月	シンポジウムのペーパー等を欧文で掲載	冊子,PDF版
# 早 1 回   R 3 年 3 月   元彩成   に関する柱腐剤文を和文で掲載 (レ			Eurasia Border Review	年1回	R2年10月	点形成」に関する報告抄録等を掲載	冊子,PDF版
大型			境界研究	年1回	R3年3月	点形成」に関する投稿論文を和文で掲載(レ	冊子,PDF版
ステケ・ユーランア研究センター(SRC) 不定期 R3年10月 いて掲載 アルマガンクーの行事や研究会の予定、募集等について掲載 田子、PDF版 情報基盤センター概要 年1回 R2年8月 センターの治事、組織、研究概要を掲載 田子、PDF版 情報基盤センター概要 (英語版) 隔年 R2年10月 センターの治事、組織、研究概要を掲載 田子、PDF版 元素的対象の表面 (正本語数別) 日本の表面が表面 (正本語数別) 日本の表面を表面 (正本語数別) 日本の表面を表面 (正本語数別) 日本の表面を表面 (正本語数別) 日本の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面の表面を表面を表面の表面を表面の表面を表面を表面を表面の表面を表面の表面を表面を表面を表面を表面を表面の表面を表面を表面を表面の表面を表面の表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面の表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面の表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表			スラブ・ユーラシア研究者名簿	不定期	H24年3月	スラブ・ユーラシア地域研究者の名簿	冊子
Twitter				月1回	R3年9月		メールマガジン
情報基盤センター 情報基盤センター報要(英語版) 隔年 R2年10月 センターの沿革、組織、研究所要を英文で掲 調子、PDF版 情報基盤センター報報 年1回 R2年11月 センターの沿革、組織、研究活動状況、教育 調子、PDF版 情報基盤センター報 年1回 R2年11月 センターの沿革、組織、研究活動状況、教育 調子、PDF版 大型計算機システム(iiCHPC)ニュース 年2回 R3年3月 大型計算機システムに関する情報提供 調子、PDF版 アイソトープ総合センター利用マニュアル 不定期 R1年9月 岩倫散と力かりやすく掲載 調子 PDF版 上が資子学売業を 利用に関する規程等、利用に関する機程を 利用に関する機程を 利用に関する情報を 1分かりですく掲載を 1分を発表 1分を発表を 1分を発表を 1分を発表を 1分を発表を 1分を発表を 1分を発表を 1分を発表を 1分を発表を 1分を表表を 1分を表表を表表を 1分を表表を 1分を表表を 1分を表表を 1分を表表を 1分を表表を表表を 1分を表表を 1分を表表を 1分を表表を 1分を表表を 1分を表表を 1分を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表を表表				不定期	R3年10月		twitter
情報基盤センター 情報基盤センター報数 年1回 R2年11月			情報基盤センター概要	年1回	R2年8月	センターの沿革, 組織, 研究概要を掲載	冊子,PDF版
情報基盤センター年報	准规	甘船はいた	情報基盤センター概要(英語版)	隔年	R2年10月		冊子,PDF版
センター機要   隔年   R3年2月   センターの施設案内, 沿車等を掲載   冊子   アイソトーブ総合センター利用マニュアル   不定期   R1年9月   七ンターの利用に関する規程等、利用に関する規程等、利用に関する規程等に対している情報をわかりやすく掲載   冊子   北海道大学アイソトーブ総合センター自己   年1回   R3年7月   七ンターの利用状況、共同研究一覧、活動戦   冊子   七ンターニュース (CIS NEWS)   年1回   R3年7月   七ンターの最散機器の紹介、講義、講習会の   冊子   上海道大学量子集積エレクトロニクス研究   七ンターの最新機器の紹介、講義、講習会の   上海道大学量子集積エレクトロニクス研究   七ンターの目的、組織、研究内容等を掲載   版   HTML (PDF)   版   上海道大学量子集積エレクトロニクス研究   七ンターの目的、組織、研究内容等を掲載   版   HTML (PDF)   版   上海道大学量子集積エレクトロニクス研究   七ンターの目的、組織、研究内容等を掲載   版   M   M   M   M   M   M   M   M   M	月刊	<b>基盤センター</b>	情報基盤センター年報	年1回	R2年11月		冊子,PDF版
アイソトーブ総合センター利用マニェアル 不定期   R1年9月   古標をわかりやすく掲載   世子   北海道大学アイソトーブ総合センター自己   年1回   R3年7月   七ンターの利用状況、共同研究一覧。活動報   世子   七ンターの最新機器の紹介。講義。講習会の   世子   七ンターの最新機器の紹介。講義。講習会の   お知らせ等のニュスを掲載   世子   七ンターの目的。組織。研究内容等を掲載   日本海道大学量子集積エレクトロニクス研究   七ンターの目的。組織。研究内容等を掲載   七本ター (展要・和文)   七ンターの目的。組織。研究内容等を掲載   七本ター (展要・和文)   七ンターの目的。組織。研究内容等を掲載   七本ター (展要・和文)   七ンターの目的。組織。研究内容等を掲載   七本ター (展要・和文)   世帯道大学量子集積エレクトロニクス研究   七ンターの目的。組織。研究内容等を掲載   七本ター (展学・教育エレクトロニクス研究   七ンターの目的。組織。研究内容等を掲載   七本ター (展学・教育エレクトロニクス研究   年1回   R3年6月   七ンターの研究目的。組織。研究内容。施設・設備と、研究活動及「研究成果の報告   世子   日記点検評価書   日記高記が見いたが表しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま			大型計算機システム(iiC-HPC)ニュース	年2回	R3年3月	大型計算機システムに関する情報提供	冊子,PDF版
アイソトープ   総合センター   1			センター概要	隔年	R3年2月	センターの施設案内,沿革等を掲載	冊子
総合センター  北海道大学アイントープ総合センター自己 点検・評価報告書 センターニュース(CIS NEWS) 年 1 回 R 3 年 7 月 センターの最新機器の紹介、講義、講習会の お知らせ等のニュースを掲載 世ンターの足が機器の紹介、講義、講習会の お知らせ等のニュースを掲載 世ンターの優別、表述 は海道大学量子集積エレクトロニクス研究 で定期 H26年 4 月 センターの目的、組織、研究内容等を掲載 版 W HTML (PDF) 版 T を 1 回 R 3 年 6 月 センターの目的、組織、研究内容等を掲載 版 W T M T M T M T M T M T M T M T M T M T	アノ	ソトープ	アイソトープ総合センター利用マニュアル	不定期	R1年9月		冊子
お知らせ等のニュースを掲載   お知らせ等のニュースを掲載   地では   お知らせ等のニュースを掲載   地では   お知らせ等のニュースを掲載   お知らせ等のによる。				年1回	R3年7月		冊子
世ンター (概要・和文)			センターニュース (CIS NEWS)	年1回	R3年3月		冊子
センター (概要・英文)			センター (概要・和文)	不定期	H26年4月	センターの目的、組織、研究内容等を掲載	版
研究センター			センター (概要・英文)	不定期			
自己点検評価書			(研究報告)	年1回			
北方生物         本の画調整室         本の画調整室         本の画調整室         本の画調整室         本の一般要         本の一般要         本の一般要         本の一般要         本の一般要         中の一般要         中の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上の上			自己点検評価書	年1回	R3年6月	研究・教育活動成果に基づく自己点検評価書	
北方佐生物     センター年報     年1回     R1年9月     覧。施設の利用状況等を掲載     PDF版       北海道大学北方生物圏フィールド科学センター News Letter     年数回     R3年7月     センターの活動紹介、イベントなどのお知らせ、ショートエッセイ等を掲載     PDF版       満習林研究報告     不定期     R1年5月     森林科学関連分野及び森林圏ステーション関連の研究論文(和文)を掲載。国内外の関係機関等にも送付     冊子       森林圏ステーション     本林圏ステーション年度報告     年1回     R3年3月     森林圏ステーション管理面の資料を掲載     PDF版       北方森林保全技術     年1回     R3年1月     森林圏ステーション技術系職員が試験年報報告告会で発表した論文等を掲載。国内の関係機関等にも送付     HUSCAP、PDF版       森林圏ステーション概要     不定期     H30年3月     施設の紹介     印刷発行			センター概要	不定期	R1年2月		PDF版
演習林研究報告   不定期   R1年5月   連の研究論文 (和文) を掲載。国内外の関係   冊子   機関等にも送付   Eurasian Journal of Forest Research   不定期   R1年11月   「演習林研究報告」の英語論文分冊。国内外   HUSCAP	北方	企画調整室	センター年報	年1回	R1年9月	覧, 施設の利用状況等を掲載	PDF版
演習林研究報告   不定期   R1年5月   連の研究論文 (和文) を掲載。国内外の関係   冊子   機関等にも送付   Eurasian Journal of Forest Research   不定期   R1年11月   「演習林研究報告」の英語論文分冊。国内外   HUSCAP	生物層			年数回	R3年7月	せ、ショートエッセイ等を掲載	PDF版
ド科学 と	イ 1 ル		演習林研究報告	不定期	R1年5月	連の研究論文(和文)を掲載。国内外の関係 機関等にも送付	冊子
タ 1     北方森林保全技術     年1回     R3年1月     告会で発表した論文等を掲載。国内の関係機関等にも送付     HUSCAP, PDF版       森林圏ステーション概要     不定期     H30年3月     施設の紹介     印刷発行	ド科学	木井區	Eurasian Journal of Forest Research	不定期	R1年11月	の関係機関等にも送付	
タ 1     北方森林保全技術     年1回     R3年1月     告会で発表した論文等を掲載。国内の関係機関等にも送付     HUSCAP, PDF版       森林圏ステーション概要     不定期     H30年3月     施設の紹介     印刷発行	子 セ		森林圏ステーション年度報告	年1回	R3年3月		PDF版
	タ	737	北方森林保全技術	年1回	R3年1月	告会で発表した論文等を掲載。国内の関係機	
森林圏ステーション概要(英語版) 不定期 H31年1月 施設の紹介 印刷発行			森林圏ステーション概要	不定期	H30年3月	施設の紹介	印刷発行
			森林圏ステーション概要(英語版)	不定期	H31年1月	施設の紹介	印刷発行

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
-11.	北海道大学北方生物圏フィールド科学セン ター植物園 (概要パンフレット) 英語併記	不定期	H29年8月	植物園の沿革、組織等の概要を掲載	冊子
北方生物圏フィー	植物園だより(リーフレット)	年6回	R3年9月	ウドの解説	チラシ, PDF
	北海道大学植物園(リーフレット) 日本語版	年1回	R2年4月	植物園内の解説	リーフレット, PDF
	北海道大学植物園(リーフレット) 英語版	年1回	R2年4月	植物園内の解説	リーフレット, PDF
ル	北海道大学植物園(リーフレット) 中国語版	年1回	R2年4月	植物園内の解説	リーフレット, PDF
ド科学センタ	北海道大学植物園(リーフレット) 韓国語版	年1回	R2年4月	植物園内の解説	リーフレット, PDF
9	北大植物園技術報告·年次報告	年1回	R3年6月	植物園の活動内容	冊子, PDF
1	北大植物園研究紀要	年1回	R1年5月	研究報告	冊子, HUSCAI
	北大植物園資料目録	不定期	H28年2月	資料目録	冊子, PDF
規光学高等研究 センター	CATS パンフレット	年1回	R3年6月	観光学高等研究センターの紹介	PDF版
	アイヌ・先住民研究センター案内 (パンフレット日本語版)	不定期	R3年6月	アイヌ・先住民研究センターの役割,特徴及 び同センターで実施するプロジェクトを日本 語で紹介	冊子
	アイヌ・先住民研究センター案内 (パンフレット英語版)	不定期	H31年4月	アイヌ・先住民研究センターの役割,特徴及 び同センターで実施するプロジェクトを英語 で紹介	冊子
	アイヌ・先住民研究センター案内 (パンフレット中国語版)	不定期	H31年4月	アイヌ・先住民研究センターの役割, 特徴及 び同センターで実施するプロジェクトを中国 語で紹介	冊子
	アイヌ・先住民研究センター案内 (パンフレットロシア語版)	不定期	H31年4月	アイヌ・先住民研究センターの役割,特徴及 び同センターで実施するプロジェクトをロシ ア語で紹介	冊子
	日本国憲法と先住民族であるアイヌの人び と(北海道大学アイヌ・先住民研究セン ターブックレット1号)	不定期	H25年 2 月	アイヌ・先住民研究センターが2011年10月に 主催した講演会の講演内容を紹介	冊子
	トンコリの世界(北海道大学アイヌ・先住 民研究センターブックレット2号)	不定期	H26年 3 月	アイヌの伝統的楽器トンコリ伝承者の富田友 子氏に対するインタビューをまとめて楽曲だ けでなくトンコリの作り方なども紹介	冊子
	The Ainu: Indigenous People of Japan (北海道大学アイヌ・先住民研究センター ブックレット 3 号)	不定期	H29年 3 月	ワシントンD.C.での国際シンポジウムにおける報告をまとめ、現代のアイヌ民族の活動等を海外に向けて英文で紹介	冊子
	花とイナウ一世界の中のアイヌ文化一 (北海道大学アイヌ・先住民研究センター ブックレット 4 号)	不定期	H31年3月	アイヌ民族の信仰や儀式等において用いられ るイナウの意味や特徴を各国のイナウとも比 較しながら紹介	冊子
	台湾の原住民族政策―民族認定と博物館― (北海道大学アイヌ・先住民研究センター ブックレット5号)	不定期	H27年4月	アイヌ・先住民研究センターが2012年と2014 年に主催した台湾の原住民族政策に関するシ ンポジウムの講演内容を紹介	冊子
アイヌ・先住民 研究センター	古川アシンノカルの生涯―新冠地方の故事 と伝承―(北海道大学アイヌ・先住民研究 センターブックレット6号)	不定期	H28年 3 月	北海道日高郡新ひだか町在住の狩野義美氏が 書き記した文章の中から大叔父の古川アシン ノカル氏らに係るものを集成	冊子
	The World of Tonkori (北海道大学アイヌ・先住民研究センター ブックレット7号)	不定期	H29年3月	アイヌの伝統的楽器トンコリ伝承者の富田友 子氏に対するインタビューをまとめて楽曲 だけでなくトンコリの作り方なども紹介した ブックレット2号の英語版	冊子
	An Introduction to Ainu Studies (北海道大学アイヌ・先住民研究センター ブックレット8号)	不定期	H30年3月	アイヌ・先住民研究センターの研究内容を海 外に向けて英文で紹介	冊子
	Flowers and Inaw-Ainu Culture in the World- (北海道大学アイヌ・先住民研究センターブックレット 9 号)	不定期	H30年 3 月	アイヌ民族の信仰や儀式等において用いられるイナウの意味や特徴を各国のイナウとも比較しながら紹介したブックレット 4 号の英語版	冊子
	アイヌ・先住民研究センターの10年 -2007~2017-	不定期	H30年 9 月	アイヌ・先住民研究センターの10年間の研究 の成果と今後の展開について主要なプロジェ クトごとにとりまとめた報告書	冊子
	アイヌ・先住民研究2021	年1回	R3年3月	アイヌ民族・先住民族研究を対象とした査読 付き学術雑誌	冊子
	民族のあり方と先住民族政策-台湾平埔族 の原住民族認定をめぐって- (北海道大学アイヌ・先住民研究センター ブックレット11号)	不定期	H31年4月	ブックレット第5号に続く、台湾平埔族をめ ぐる原住民族政策の新しい展開についての報 告書	冊子
	2008年北海道アイヌ民族生活実態調査報告 書 現代アイヌの生活と意識	不定期	H24年 1 月	アイヌ・先住民研究センターが2008年に実施 した北海道アイヌ民族生活実態調査(アン ケート調査)に関する報告書	冊子
	2009年北海道アイヌ民族生活実態調査報告 書 現代アイヌの生活の歩みと意識の変容	不定期	H24年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2009年に実施 した北海道アイヌ民族生活実態調査 (インタ ビュー調査) に関する報告書	冊子
	2008年北海道アイヌ民族生活実態調査報告 書 現代アイヌの生活と意識の多様性	不定期	H26年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2008年に実施 した北海道アイヌ民族生活実態調査の結果を 再分析した報告書	冊子

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形態
	2014年アイヌ民族多住地域住民調査報告書 地域住民のアイヌ政策への評価とアイヌの 人々との社会関係	不定期	H27年 9 月	アイヌ・先住民研究センターが2014年に札幌市とむかわ町で実施したアイヌ民族多住地域住民調査の結果に関する報告書	冊子
	Report on the 2008 Hokkaido Ainu Living Conditions Survey	不定期	H23年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2008年に実施 した北海道アイヌ民族生活実態調査に関する 報告書の英語版	冊子
	2017年アイヌ民族多住地域調査報告書 帯広市におけるアイヌ民族の現状と地域住民	不定期	H30年 6 月	アイヌ・先住民研究センターが2017年に帯広 市で実施したアイヌ民族多住地域住民調査の 結果に関する報告書	冊子
	2018年アイヌ民族多住地域調査報告書 旭川におけるアイヌ民族の現状と地域住民	不定期	R1年7月	アイヌ・先住民研究センターが2018年に旭川 市で実施したアイヌ民族多住地域住民調査の 結果に関する報告書	冊子
	沖縄におけるガイドツアーの運営実態に 関する事例調査	不定期	H23年 3 月	アイヌ・先住民研究センターがエコツーリズム・プロジェクトの一環として実施した事例 調査の報告書	冊子
	世界のなかのアイヌ・アート	不定期	H28年 1 月	アイヌ・先住民研究センターが2011年に実施 した「先住民族アートプロジェクト」の研究 成果に関する報告書	冊子
	先住民族アート・プロジェクト報告書 アイヌ・アートが担う新たな役割 -米国先住民アートショーに学ぶ	不定期	H27年 4 月	アイヌ・先住民研究センターが2014年に国立 民族学博物館との共催で開催した国際シンポ ジウムの記録	冊子
	先住民文化遺産とツーリズム - アイヌ民族 における文化遺産活用の理論と実践	不定期	H28年 6 月	アイヌ・先住民研究センターが2011年に実施 した「先住民文化遺産とツーリズムプロジェ クト」の研究成果に関する報告書	冊子
	Indigenous Heritage and Tourism- Theories and Practices on Utilizing the Ainu Heritage-	不定期	H26年 1 月	クト」の研究成果に関する報告書の英語版	冊子
	teetasinrit tekrukoci 先人の手あと 北大所蔵アイヌ資料 – 受けつぐ技 –	不定期	H21年 2月	アイヌ・先住民研究センターと北大総合博物 館の企画展示の記録	冊子
	teetasinrit tekrukoci -The Handprints of our Ancestors- Ainu Artifacts Housed at Hokkaido University-Inherited Techniques	不定期	H24年 3 月	アイヌ・先住民研究センターと北大総合博物 館の企画展示の記録の英語版	冊子
	北海道新冠地方におけるアイヌ語地名の 調査と分析	不定期	H28年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2013年から 2015年に行ったアイヌ語地名調査の成果報告	冊子
アイヌ・先住民	にかほ市象潟郷土資料館所蔵森家旧蔵 「蝦夷方言藻汐草 全」翻刻・解題	不定期	H25年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2012年に実施 した「古文書プロジェクト」の研究成果に関 する報告書	冊子
研究センター	ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所 所蔵 田藩文庫旧蔵「東蝦夷彙考」翻刻・ 解題	不定期	H26年 5 月	ロシア科学アカデミー東洋古籍文献研究所所 蔵の和文写本の概要を日本で初めて紹介	冊子
	国立公文書館内閣文庫所藏 昌平坂学問所 旧蔵「蝦夷語集」 元·亨 影印·翻刻	不定期	H29年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2016年に実施 した「古文書プロジェクト」の研究成果に関 する報告書	冊子
	国立公文書館內閣文庫所藏 昌平坂学問所 旧蔵「蝦夷語集」 利・貞 影印・翻刻	不定期	H30年3月	アイヌ・先住民研究センターが2017年に実施 した「古文書プロジェクト」の研究成果に関 する報告書	冊子
	国立公文書館内閣文庫所蔵 昌平坂学問所旧蔵「蝦夷語集」索引 アイヌ語-日本語編	不定期	H31年3月	アイヌ・先住民研究センターが2018年に実施 した「古文書プロジェクト」の研究成果に関 する報告書	冊子
	国立公文書館内閣文庫所蔵 昌平坂学問所 旧蔵「蝦夷語集」索引 日本語-アイヌ語編	不定期	H31年3月	アイヌ・先住民研究センターが2018年に実施 した「古文書プロジェクト」の研究成果に関 する報告書	冊子
	藤山ハル口述・村崎恭子採録・著 樺太アイヌ語例文集 (2)	不定期	H28年 3 月	アイヌ・先住民研究センターが2015年に実施 した「アイヌ・先住民言語アーカイヴプロ ジェクト」の研究成果に関する報告書	冊子·CD付
	和田文治郎 樺太アイヌ説話集 4	不定期	H31年3月	アイヌ・先住民研究センターが2018年に実施 した「アイヌ・先住民言語アーカイヴプロ ジェクト」の研究成果に関する報告書	冊子
	アイヌ語調査資料のデータベース化に関する基礎的研究(10)	不定期	R3年3月	アイヌ・先住民研究センターが2020年に実施 した「アイヌ・先住民言語アーカイヴプロ ジェクト」の研究成果に関する報告書	冊子
	アイヌ語十勝方言例文集 1	不定期	H26年 3 月	アイヌ語十勝方言の研究に際して基礎となる 例文を提示し、言語学的研究の一助とする目 的で日常語例文を収録	冊子
	アイヌ語厚別方言語彙集	不定期	H29年2月	北海道日高町豊田に在住した松島トミ氏によるアイヌ語語彙と例文の記録	冊子
	アイヌ語十勝方言会話小辞典	不定期	H29年10月	アイヌ・先住民研究センターが行ったアイヌ 語十勝方言の言語調査で得られた資料を意味 分類に従って配列したもの	冊子
	アイヌ語浦河方言語彙集	不定期	H29年 5 月	アイヌ・先住民研究センターが行った調査に よるアイヌ語浦河方言の語彙集	冊子
	アイヌ叙景詩鑑賞 押韻法を中心に	不定期	H30年8月	アイヌ・先住民研究センターが2017年に実施 した「アイヌ・先住民言語アーカイヴプロ ジェクト」の研究成果に関する報告書	冊子

部 局 名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形 態
	アイヌ韻文の行頭韻	不定期	R2年6月	アイヌ・先住民研究センターが2019年に実施 した「アイヌ・先住民言語アーカイヴプロ ジェクト」の研究成果に関する報告書	冊子
	ナジェジダ・タンジナ伝承集	不定期	R2年3月	アイヌ・先住民研究センターが2019年に実施 した「アイヌ・先住民言語アーカイヴプロ ジェクト」の研究成果に関する報告書	冊子
アイヌ・先住民 研究センター	絵本・ラッコ パッコ	不定期	R2年6月	アイヌ・先住民研究センターが2019年に実施 した「アイヌ・先住民言語アーカイヴブロ ジェクト」の研究成果に関する報告書	冊子
	18世紀アイヌ押韻文	不定期	R3年3月	アイヌ・先住民研究センターが2020年に実施 した「アイヌ・先住民言語アーカイヴプロ ジェクト」の研究成果に関する報告書	冊子
	ニヴフ言語文化資料集6:ニナ・ニトクク 伝承集(CD付)	不定期	R3年3月	アイヌ・先住民研究センターが2020年に実施 した「アイヌ・先住民言語アーカイヴプロ ジェクト」の研究成果に関する報告書	冊子
社会科学実験研究 センター	北海道大学社会科学実験研究センター 自己点検評価	年1回	R3年6月	社会科学実験研究センターの概要,教育研究 活動の実績,組織構成を掲載(HPよりダウ ンロード可能)	冊子, PDF
	北海道大学社会科学実験研究センター案内 (パンフレット) 英語版	不定期	H27年8月	社会科学実験研究センターの概要,実験室等 の研究設備とその利用状況,研究成果を紹介	冊子
環境健康科学研究	北海道大学環境健康科学研究教育センター 年報	隔年	R2年6月	環境健康科学研究教育センターの概要, 部門 報告, 業績一覧, 委員会名簿等を掲載	冊子
教育センター	環境健康科学研究教育センターチラシ (英語版, 日本語版)	不定期	H28年3月	環境健康科学研究教育センターの組織, 概要,活動内容を分かりやすく掲載	リーフレット
北極域研究	北極域研究センターパンフレット (日本語版)	不定期	R3年10月	北極域研究センターの概要	冊子,PDF版
センター	北極域研究センターパンフレット (英語版)	不定期	R3年10月	北極域研究センターの概要	冊子,PDF版
広域複合災害	CNHR Newsletter	年4回	R3年10月	広域複合災害研究センター (CNHR) の活動 や所属メンバーの研究成果, 関係するイベン ト情報, 道内の自然災害の発生情報, セン ターメンバーの紹介	PDF版
研究センター	北海道大学広域複合災害研究センター	不定期	R3年9月	広域複合災害研究センターの紹介	フライヤー
	広域複合災害研究センター活動報告書	年1回	R3年3月	広域複合災害研究センターの年次活動報告 (研究,教育,アウトリーチ等)	冊子,PDF版
脳科学研究教育 センター	北海道大学脳科学研究教育センター概要	隔年	R3年5月	センターの組織,発達脳科学専攻 (バーチャ ル専攻) の概要等を掲載	冊子
外国語教育	HOKKAIDO UNIVERSITY CENTER FOR LANGUAGE LEARNING	不定期	H21年4月	外国語教育センターの紹介	冊子
センター	自己点検·評価報告書 外部評価報告書	不定期	R3年3月	自己点検・評価報告、外部評価報告	冊子
	数理・データサイエンス・AIセミナー	不定期	R3年9月	数理・データサイエンス・AIセミナー概要	PDF版
	寄附講座「ニトリみらい社会デザイン講座」	不定期	R3年5月	寄附講座「ニトリみらい社会デザイン講座」 概要	リーフレット, チラシ
	数理・データサイエンス教育研究センター シンポジウムリーフレット	不定期	R3年2月	数理・データサイエンス教育研究センターシンポジウム概要	リーフレット
数理·	数理・データサイエンス教育研究センター シンポジウムポスター	不定期	R3年2月	数理・データサイエンス教育研究センターシンポジウム概要	ポスター
データサイエンス 教育研究センター	ニトリみらい社会デザイン講座 研究公募チラシ	不定期	R3年2月	ニトリみらい社会デザイン講座 研究公募概 要	チラシ,PDF版
	ニトリみらい社会デザイン講座 研究公募ポスター	不定期	R3年2月	ニトリみらい社会デザイン講座 研究公募概 要	ポスター
	数理・データサイエンス教育研究センター パンフレット	不定期	R3年3月	数理・データサイエンス教育研究センターの 概要	冊子
	数理・データサイエンス教育研究センター リーフレット	不定期	H31年3月	数理・データサイエンス教育研究センターの 概要	冊子
	重要文化財札幌農学校第2農場 パンフレット(見学者配付用資料)	1回	H29年3月	重要文化財札幌農学校第2農場を見学者に紹 介	冊子
	総合博物館展示リーフレット (見学者配付用資料)	1回	H28年7月	総合博物館常設展示の各展示ゾーン紹介・利 用案内を見学者に紹介	冊子,PDF版
	An Introduction to The Hokkaido University Museum	1回	H28年7月	総合博物館常設展示の各展示ゾーン紹介・利 用案内を見学者に紹介 (リーフレット)	冊子,PDF版
総合博物館	北海道大学総合博物館外部点検評価報告書 (平成22年度~平成27年度)	不定期	H29年3月	外部点検評価委員会による総合博物館の評価	冊子
心口19470月	北海道大学総合博物館点検評価報告書 (平成22年度~平成27年度)	不定期	H28年12月	北海道大学総合博物館点検評価委員会委員に よる総合博物館の評価	冊子
	北海道大学総合博物館研究報告	不定期	H28年 3 月	研究報告 No.1 (2003.3) -No.8 (2016.3)	冊子
	北海道大学総合博物館年報	年1回	R3年6月	博物館及び博物館教員の活動記録 H16年度 H18·19年度 H20·21年度 H22·23年度 H24年度 H25年度 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 R元年度 R 2 年度	PDF版

部局名	広 報 誌 等 名	発行回数	最新版 発行年月	掲 載 内 容 等	形態
総合博物館	北海道大学総合博物館ニュース	年1~2回	R3年6月	博物館の活動状況・出来事・ニュース・特別寄稿等を掲載 No.1 (1999.7) -No.42 (2021.6)	冊子,PDF版
	Guidebook: Museum Meister Course, The Hokkaido University Museum	年1回	R3年度版	総合博物館ミュージアムマイスター認定コー スの案内	冊子,PDF版
	北海道大学大学文書館年報	年1回	R3年3月	研究論文, 資料紹介・目録, 業務記録等を掲 載	冊子,PDF版
	北海道大学大学文書館資料叢書	不定期	H22年3月	資料翻刻, 解説等を掲載	冊子,PDF版
	北海道大学大学文書館自己点検·外部評価 報告書	不定期	H30年3月	自己点検・外部評価報告書	冊子
上兴大事始	北海道大学大学文書館概要	年1回	R3年7月	大学文書館の概要, 案内図等を掲載	冊子
大学文書館	北海道大学大学文書館リーフレット	年1回	H31年1月	大学文書館の概要,所蔵資料の紹介,利用に 関する案内等を掲載	冊子
	北海道大学大学文書館利用案内	年1回	H31年1月	大学文書館の利用方法に関する案内を掲載	冊子
	北海道大学150年史編集室リーフレット	年1回	R3年4月	150年史編集室の概要,活動案内等を掲載	冊子,PDF版
	北海道大学150年史編集ニュース	年2回	R3年9月	150年史編集室の活動内容,北大史小話を掲載	冊子,PDF版
埋蔵文化財	北海道大学埋蔵文化財調査センターニュー スレター	年3回	R3年3月	構内の遺跡, 埋蔵文化財調査センターの活動 内容を紹介	冊子,PDF版
調査センター	北大構内の遺跡	年1回	R3年3月	北大構内(札幌キャンパス)における埋蔵文 化財の調査報告	冊子,PDF版
	GI-CoRE概要(英語・日本語表記)	不定期	H29年 6 月	国際連携研究教育局の概要,各グローバルス テーション(量子,人獣、食水土、ソフトマ ター、ビッグデータ、北極域)の紹介	パンフレット
	量子医理工学グローバルステーション外部 評価報告書(主に英語・一部日本語表記)	GS設置最終 年度1回	R2年7月	評価に係る詳細・評価委員による評価調書・ 自己点検成果報告書	冊子
	人獣共通感染症グローバルステーション外部 評価報告書(主に英語・一部日本語表記)	GS設置最終 年度1回	R2年7月	評価に係る詳細・評価委員による評価調書・ 自己点検成果報告書	冊子
国際連携 研究教育局	食水土資源グローバルステーション外部 評価報告書(主に英語・一部日本語表記)	GS設置最終 年度1回	R2年7月	評価に係る詳細・評価委員による評価調書・ 自己点検成果報告書	冊子
	ソフトマターグローバルステーション外部 評価報告書(主に英語・一部日本語表記)	GS設置最終 年度1回	R3年7月	評価に係る詳細・評価委員による評価調書・ 自己点検成果報告書	冊子
	ビッグデータ・サイバーセキュリティ グローバルステーション外部評価報告書 (主に英語・一部日本語表記)	GS設置最終 年度1回	R3年7月	評価に係る詳細・評価委員による評価調書・ 自己点検成果報告書	冊子
	北極域研究グローバルステーション外部 評価報告書(主に英語・一部日本語表記)	GS設置最終 年度1回	R3年7月	評価に係る詳細・評価委員による評価調書・ 自己点検成果報告書	冊子

### 編集メモ

#### ●イチョウ並木がライトアップ

10月30日 (土)、北大金葉祭実行委員会により、イ チョウ並木のライトアップが行われました。新型コロナ ウイルス感染症拡大防止のため、今年も事前告知なし・

非公開という形での実施となりました。ライトアップの 模様は、11月20日(土)からYouTubeでプレミア公開さ れていますので、ご自宅でぜひご鑑賞ください。



### ●古河講堂がパープルライトアップ

11月12日(金)及び13日(土),人材育成本部ダイ バーシティ研究環境推進室により, 古河講堂のパープル ライトアップが行われました。紫色は内閣府が主導する 「女性に対する暴力をなくす運動」のシンボルカラーで



す。本学もこの運動に強く賛同していることから、今回 のライトアップへと繋がりました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら行 われた点灯式では、学生によるデートDV防止に関する ショートトークも実施されました。





#### 裏表紙メモ

今月のキャンパス風景はイチョウ並木です。長さ約380メートルの道路の両側に、70本のイチョウが植えられています。葉 が落ちた歩道は、まるで金色の絨毯のよう。今年の黄葉の様子は本学公式Instagram (@hokkaidounivpr) でも紹介してい ます。

# キャンパス風景 20 <sub>イチョウ並木 (北区北13条西5~7丁目)</sub>

